
四万十町
子育て支援に関するアンケート調査
報告書

四万十町

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査の実施について	1
3. 有効回答件数及び回答率	1
4. 報告書の見方	1
II. 調査対象者の基本属性	2
1. 居住地域	2
2. 対象児童の年齢・学年、末子の年齢	3
3. 対象児童と同居人数	3
4. 調査票の回答者	3
5. 回答者の配偶関係	4
III. 就学前児童保護者調査の結果	6
1. 子どもの育ちをめぐる環境について	6
2. 保護者の就労状況について	10
3. 育児休業や短時間勤務制度について	18
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	23
5. 子どもが病気の際の対応について	33
6. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	40
7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	44
8. 地域子育て支援拠点事業の利用状況について	56
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について（子どもが5歳以上の方のみ）	64
10. 子育て全般について	72
11. 自由意見	76
IV. 小学生児童保護者調査の結果	78
1. 子どもの育ちをめぐる環境について	78
2. 保護者の就労状況について	83
3. 子どもが病気の際の対応について	93
4. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	98
5. 放課後の過ごし方について	106
6. 職場の両立支援制度等について	113
7. 子育て全般について	115
8. 自由意見	121

I. 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、第3期四万十町子ども・子育て支援事業計画の策定にあたって、本町における教育・保育事業や子育て支援事業の利用状況や希望を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施した。

2. 調査の実施について

・就学前児童の保護者

対象者	令和6年1月1日現在、町内に在住する就学前児童（0～5歳）の保護者
実施期間	令和6年2月28日～令和6年3月15日
実施方法	保育所を通しての配布回収。一部郵送による配布回収

・小学生の保護者

対象者	令和6年1月1日現在、町内に在住する小学1年生から6年生の保護者
実施期間	令和6年2月28日～令和6年3月15日
実施方法	小学校を通しての配布回収

3. 有効回答件数及び回答率

調査対象	標本数（配布数）	有効回収数	有効回収率
就学前児童の保護者	373	296	79.4%
小学生の保護者	455	373	82.0%

4. 報告書の見方

- （1）回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してある。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%を前後することがある。
- （2）複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超える。なお、複数回答を求める質問についての図表上の表記は、以下のとおりである。

「MA%」（Multiple Answer）

＝回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合

「2LA%」（2 Limited Answer）

＝回答選択肢の中からあてはまるものを2つ以内で選択する場合

「3LA%」（3 Limited Answer）

＝回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合

- （3）本文中のグラフや数表で、コンピュータの入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。

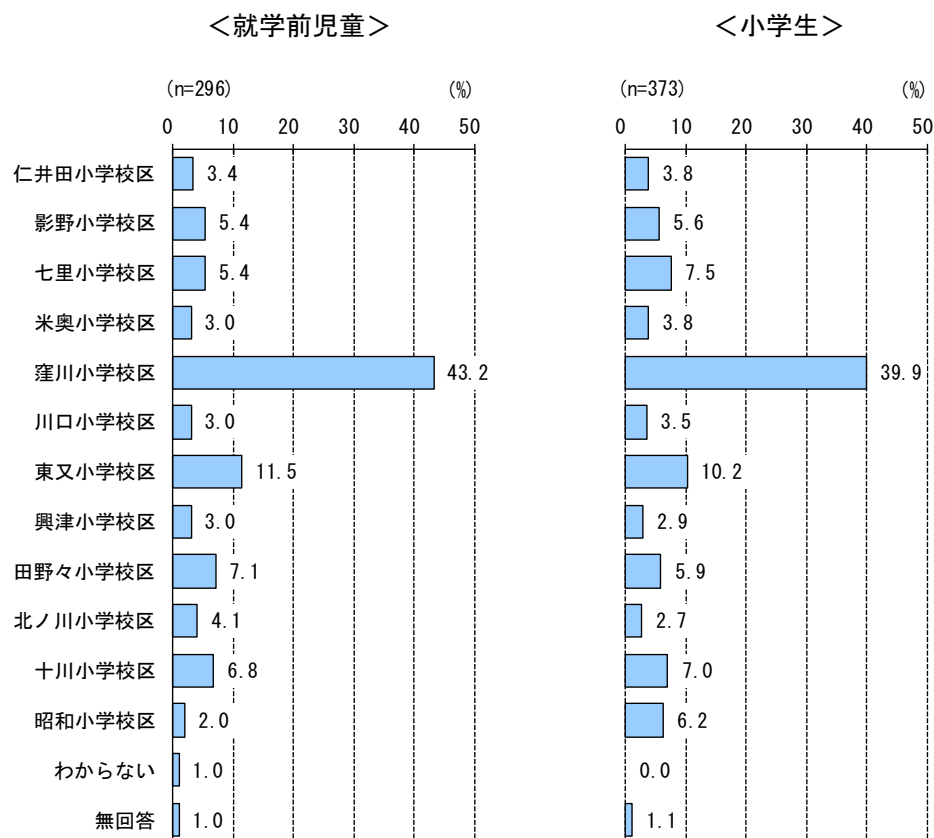
Ⅱ. 調査対象者の基本属性

1. 居住地域

回答者の居住地域は、就学前児童では「窪川小学校区」が 43.2%、「東又小学校区」が 11.5%、「田野々小学校区」が 7.1%となっている。

小学生では、「窪川小学校区」が 39.9%、「東又小学校区」が 10.2%、「七里小学校区」が 7.5%となっている。

【図 居住地区】

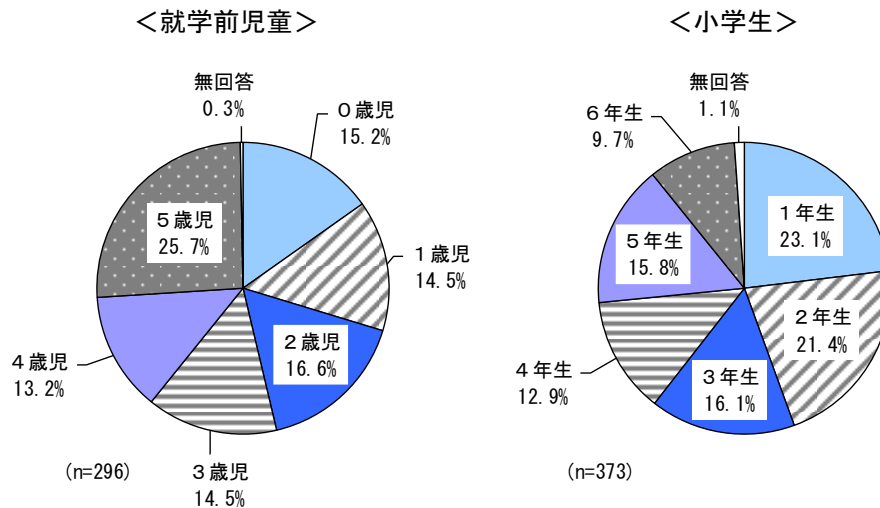


2. 対象児童の年齢・学年

対象児童の年齢について、就学前児童では「5歳児」が25.7%で最も多く、次いで「2歳児」が16.6%、「0歳児」が15.2%となっている。

小学生の学年は、「1年生」が23.1%で最も多く、次いで「2年生」が21.4%、「3年生」が16.1%となっている。

【図 調査対象児童の年齢】

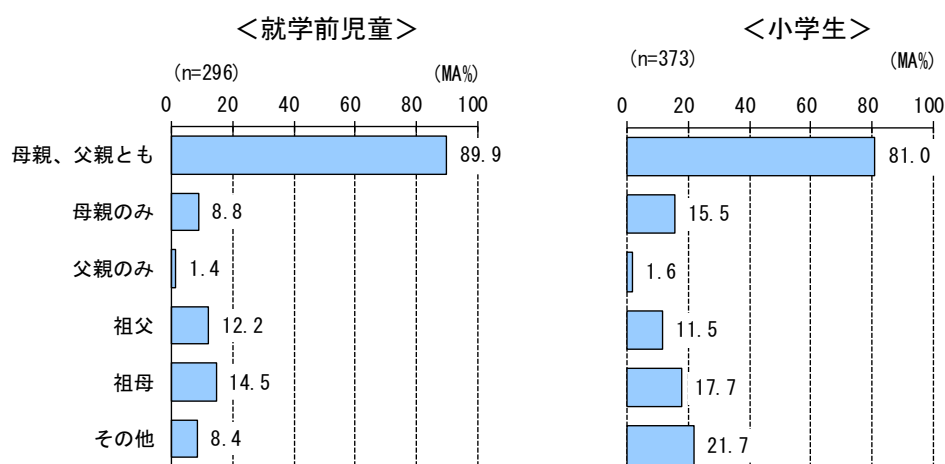


3. 対象児童の同居家族

同居家族について、就学前児童では「母親、父親とも」が89.9%と最も多く、次いで「祖母」が14.5%、「祖父」が12.2%となっている。

小学生では「母親、父親とも」が81.0%と最も多く、次いで「祖母」が17.7%、「母親のみ」が15.5%となっている。

【図 対象児童の同居家族】



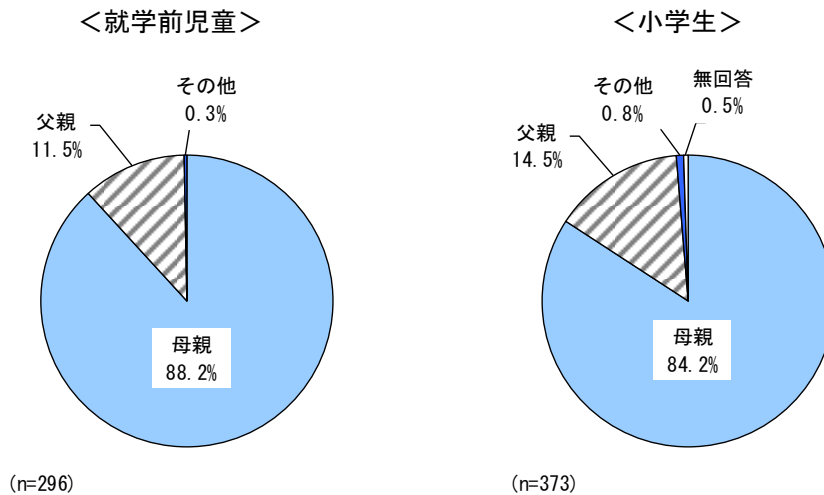
【その他】

兄弟姉妹／曾祖父母／おじ・おば／里親／いとか

4. 調査票の回答者

調査票の回答者は、「母親」が、就学前児童で 88.2%、小学生で 84.2%と多数を占めている。

【図 調査票の回答者】



【その他】

祖母／里親

5. 回答者の配偶関係

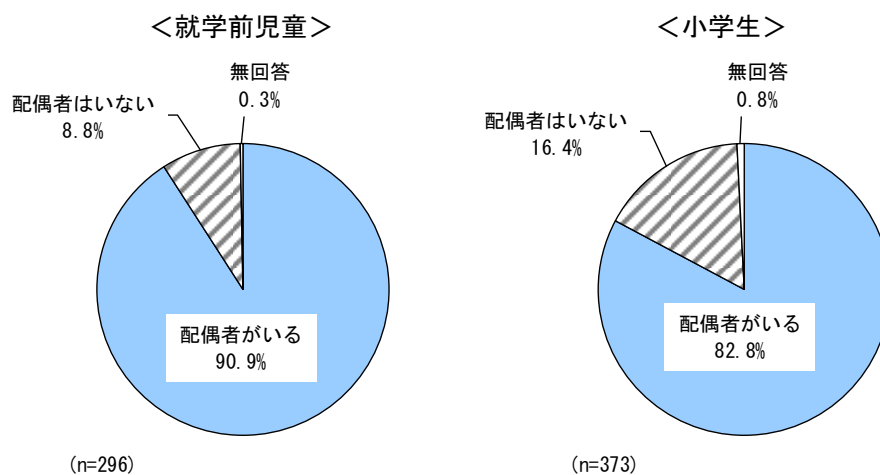
回答者の配偶関係について、就学前児童では「配偶者がいる」が 90.9%、「配偶者はいない」が 8.8%となっている。

年齢別でみると、「配偶者はいない」が 3～5 歳で 11.4%と他の年齢に比べて多くなっている。

小学生児童では、「配偶者がいる」が 82.8%で、「配偶者はいない」は 16.4%となっている。

年齢別でみると、「配偶者はいない」が高学年生（4～6 年生）で 21.7%と他の学年に比べて多くなっている。

【図 回答者の配偶関係】



【表 回答者の配偶関係】

			配偶者がいる	配偶者がいない	無回答	
		合計				
就学前全体		上段/実数 下段/%	296 100.0	269 90.9	26 8.8	1 0.3
年 齢	0 歳		45 100.0	42 93.3	3 6.7	－ －
	1 ・ 2 歳		92 100.0	87 94.6	5 5.4	－ －
	3 ～ 5 歳		158 100.0	139 88.0	18 11.4	1 0.6
	小学生全体	上段/実数 下段/%	373 100.0	309 82.8	61 16.4	3 0.8
学 年	低学年生（1 ～ 3 年生）		226 100.0	195 86.3	30 13.3	1 0.4
	高学年生（4 ～ 6 年生）		143 100.0	112 78.3	31 21.7	－ －

Ⅲ. 就学前児童保護者調査の結果

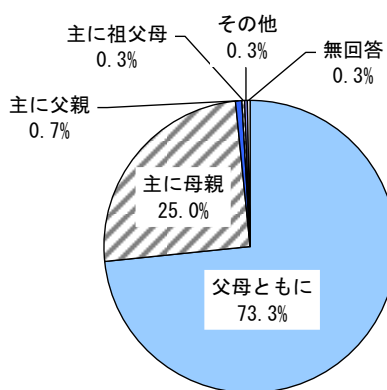
1. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育ての主体者

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。（あてはまる番号1つに○）

子育ての主体者は、「父母ともに」が73.3%と最も多く、次いで「主に母親」が25.0%、「主に父親」が0.7%となっている。

【図 子育ての主体者】



(n=296)

【表 子育ての主体者】

			父 母 と も に	主 に 母 親	主 に 父 親	主 に 祖 父 母	そ の 他	無 回 答
		合計	217	74	2	1	1	1
全体		296	73.3	25.0	0.7	0.3	0.3	0.3
		上段/実数						
		下段/%						
年 齢	0 歳	45	25	20	—	—	—	—
		100.0	55.6	44.4	—	—	—	—
	1・2 歳	92	73	18	—	1	—	—
		100.0	79.3	19.6	—	1.1	—	—
	3～5 歳	158	118	36	2	—	1	1
		100.0	74.7	22.8	1.3	—	0.6	0.6

【その他】

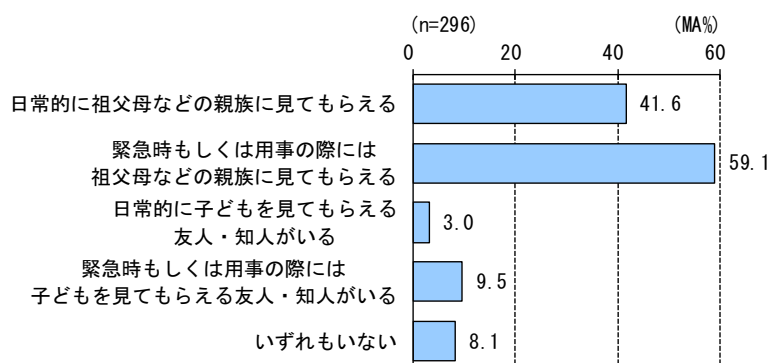
父のみ／送迎時見られない時は祖母

(2) 子どもを見てもらえる親族・知人の有無

問8 日頃、あて名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいらっしゃいますか。
(あてはまる番号すべてに○)

子どもを見てもらえる親族・知人について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族に見てもらえる」が59.1%と最も多く、次いで「日常的に祖父母などの親族に見てもらえる」が41.6%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」が9.5%となっている。

【図 子どもを見てもらえる親族・知人の有無】



【表 子どもを見てもらえる親族・知人の有無】

		合計	親族日常的に見て祖父母などの	緊急時には祖父母などの	日常的に友人・知人がいる	緊急時には友人・知人がいる	いずれもない
全体		296	123	175	9	28	24
		100.0	41.6	59.1	3.0	9.5	8.1
年齢	0歳	45	22	24	1	4	3
		100.0	48.9	53.3	2.2	8.9	6.7
	1・2歳	92	34	58	1	10	11
		100.0	37.0	63.0	1.1	10.9	12.0
	3～5歳	158	66	93	7	14	10
		100.0	41.8	58.9	4.4	8.9	6.3
家庭類型	ひとり親家庭	25	16	9	1	3	4
		100.0	64.0	36.0	4.0	12.0	16.0
	フルタイム×フルタイム	176	77	103	6	20	11
		100.0	43.8	58.5	3.4	11.4	6.3
	フルタイム×パートタイム	64	18	44	1	5	5
		100.0	28.1	68.8	1.6	7.8	7.8
	フルタイム×専業主婦・夫	15	6	9	—	—	2
		100.0	40.0	60.0	—	—	13.3
	パートタイム×パートタイム	1	—	1	—	—	—
		100.0	—	100.0	—	—	—
	パートタイム×専業主婦・夫	3	—	2	—	—	1
		100.0	—	66.7	—	—	33.3
	無職×無職	2	1	—	1	—	—
		100.0	50.0	—	50.0	—	—

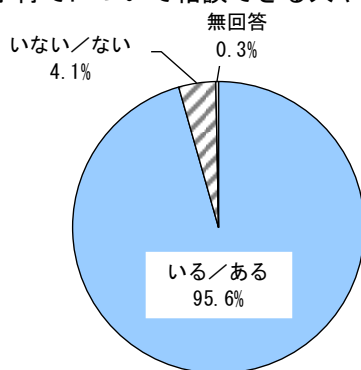
(3) 子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所

問9 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる先（人・場所など）はありますか。（あてはまる番号1つに○）

気軽に相談できる人や場所の有無について、「いる／ある」が95.6%と大半を占めており、「いない／ない」は4.1%となっている。

年齢別にみると、年齢が上がるほど「いない／ない」の割合が高くなる傾向がみられる。

【図 子育てについて相談できる人や場所の有無】



(n=296)

【表 子育てについて相談できる人や場所の有無】

			いる／ある	いない／ない	無回答
		合計			
全体		296	283	12	1
		上段/実数			
		下段/%	95.6	4.1	0.3
年齢	0歳	45	45	—	—
		100.0	100.0	—	—
	1・2歳	92	89	3	—
		100.0	96.7	3.3	—
家庭類型	3～5歳	158	148	9	1
		100.0	93.7	5.7	0.6
	ひとり親家庭	25	20	5	—
		100.0	80.0	20.0	—
家庭類型	フルタイム×フルタイム	176	173	3	—
		100.0	98.3	1.7	—
	フルタイム×パートタイム	64	61	2	1
		100.0	95.3	3.1	1.6
	フルタイム×専業主婦・夫	15	14	1	—
		100.0	93.3	6.7	—
	パートタイム×パートタイム	1	1	—	—
		100.0	100.0	—	—
家庭類型	パートタイム×専業主婦・夫	3	3	—	—
		100.0	100.0	—	—
家庭類型	無職×無職	2	2	—	—
		100.0	100.0	—	—

【その他】

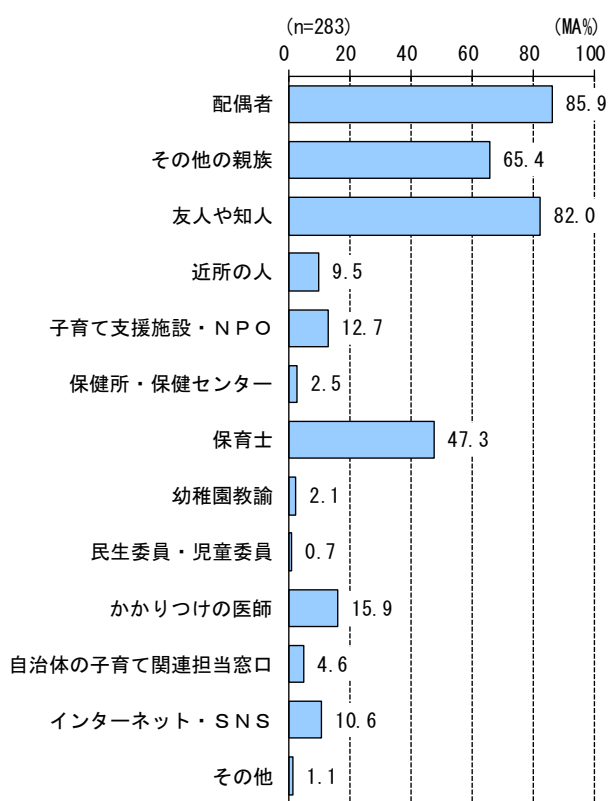
職場の人／四万十健康ホットライン／自分の母

問9で、「1. いる／ある」に○をつけた方のみ

問9-1 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に関する相談先をご記入ください。
（あてはまる番号すべてに○）

相談先について、「配偶者」が85.9%と最も多く、次いで「友人や知人」が82.0%、「その他の親族」が65.4%となっている。

【図 子育ての相談先】



2. 保護者の就労状況について

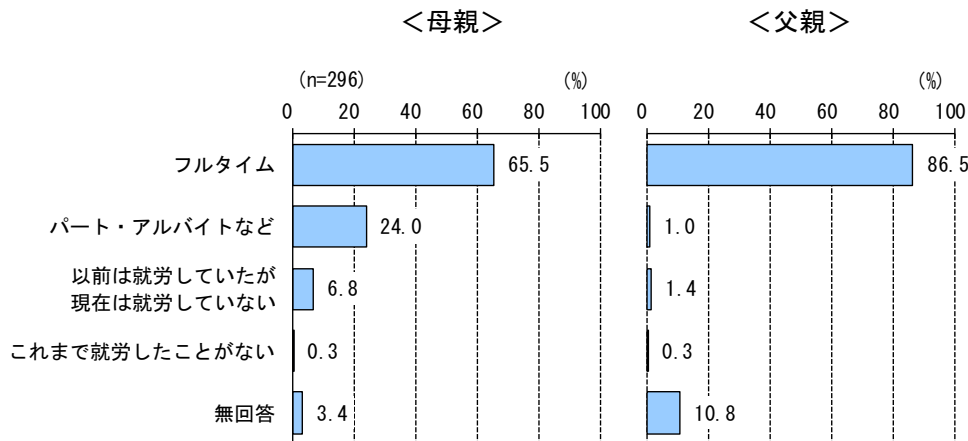
(1) 父母の就労状況

母子家庭の場合は「(1) 母親」、父子家庭の場合は「(2) 父親」のみご回答ください

問10 現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をご記入ください。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

母親の就労状況は、「フルタイム」が 65.5%で最も多く、次いで「パート・アルバイトなど」が 24.0%、「以前は就労していたが現在は就労していない」が 6.8%となっている。
父親の就労状況は、「フルタイム」が 86.5%で多数を占めている。

【図 父母の就労状況】



【表 父母の就労状況】

			合計	フルタイム (休業中含む)	パート・アルバイト等 (休業中含む)	就労していない	無回答
母親	全体		296	194	71	21	10
	上段/実数						
	下段/%		100.0	65.5	24.0	7.1	3.4
	年齢	0歳	45	29	7	7	2
			100.0	64.4	15.6	15.6	4.4
父親	年齢	1・2歳	92	61	21	8	2
			100.0	66.3	22.8	8.7	2.2
		3～5歳	158	103	43	6	6
	全体		100.0	65.2	27.2	3.8	3.8
		上段/実数	296	256	3	5	32
		下段/%	100.0	86.5	1.0	1.7	10.8
父親	年齢	0歳	45	39	-	1	5
			100.0	86.7	-	2.2	11.1
		1・2歳	92	82	1	2	7
	全体		100.0	89.1	1.1	2.2	7.6
		3～5歳	158	134	2	2	20
			100.0	84.8	1.3	1.3	12.7

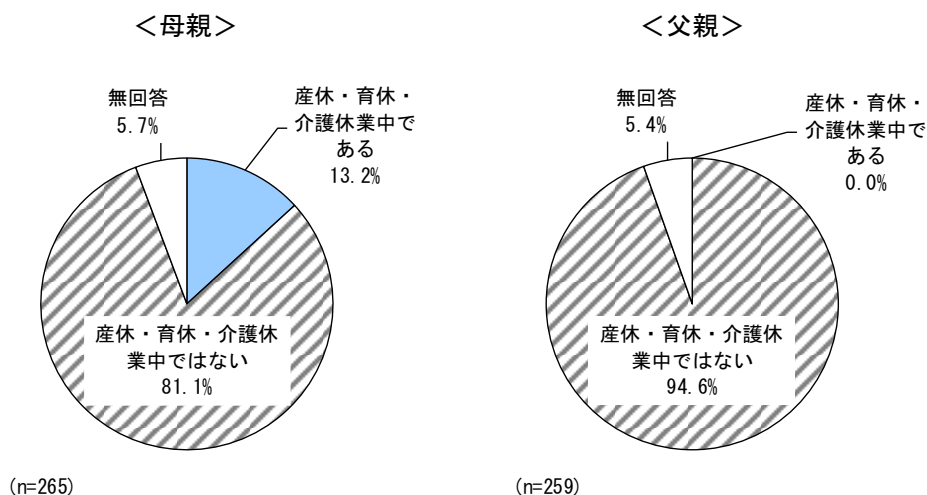
問10で、「1. フルタイム」または「2. パート・アルバイトなど」に○をつけた方のみ

問10-1 就労している方は、現在、産休・育休・介護休業中ですか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

母親では、「産休・育休・介護休業中ではない」が 81.1%と最も多く、次いで、「産休・育休・介護休業中である」が 13.2%となっている。

父親では、「産休・育休・介護休業中ではない」が 94.6%となっている。

【図 父母の産休・育休・介護休業状況】



(2) 週あたりの就労日数、1日あたり就労時間

問10で、「1. フルタイム」または「2. パート・アルバイトなど」に○をつけた方のみ

問10-2 ①1週あたりの「就労日数」、②1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、③家を出る時間、④帰宅時間をすべてご記入ください。
(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

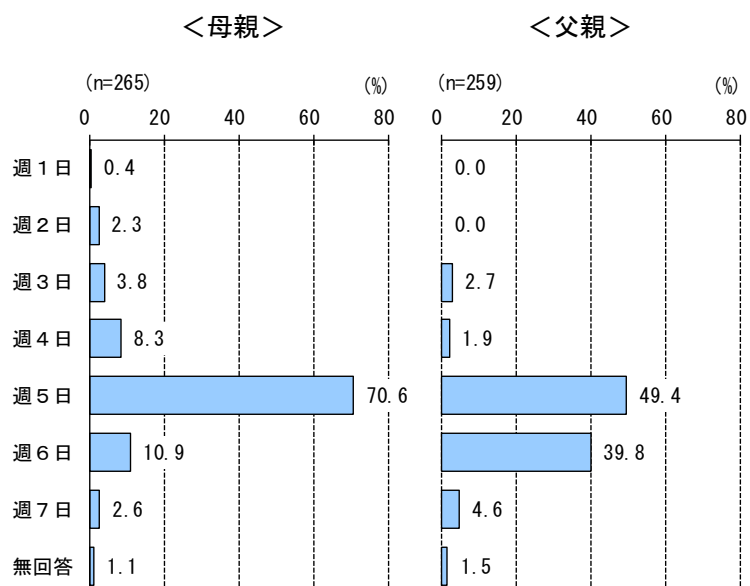
1週あたりの就労日数は、母親では「週5日」が 70.6%と最も多く、次いで「週6日」が 10.9%、「週4日」が 8.3%となっている。父親では、「週5日」が 49.4%と最も多く、次いで「週6日」が 39.8%、「週7日」が 4.6%となっている。

1日あたりの就労時間は、母親、父親ともに「8時間」が最も多くなっている。また、母親では8時間未満、父親では8時間以上の就労時間の割合がそれぞれ多くなっている。

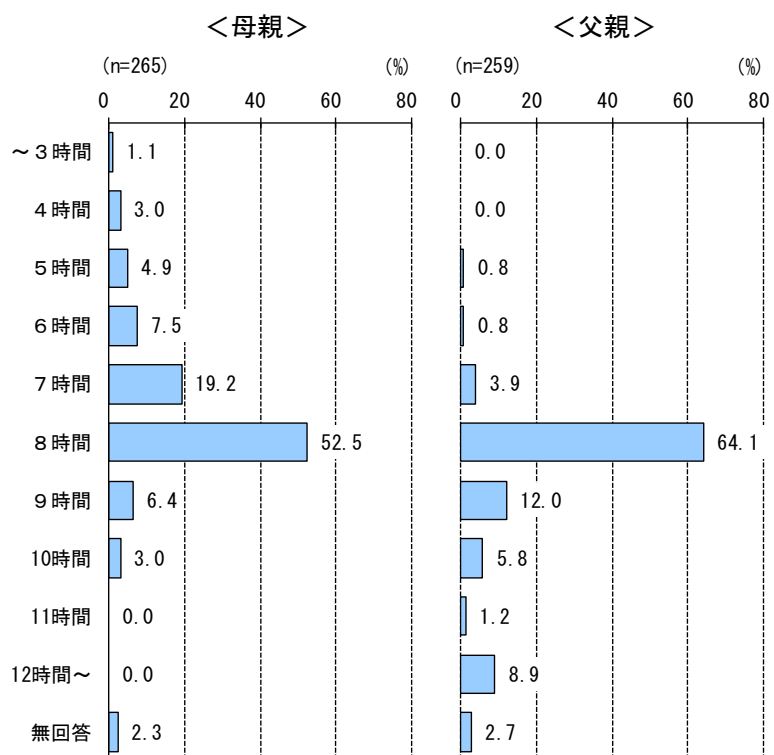
家を出る時間は、母親では「8時」が 57.7%と最も多く、次いで「7時」が 23.4%、「9時」が 9.4%となっている。父親では「7時」が 40.2%と最も多く、次いで「8時」が 35.9%、「6時」が 7.7%となっている。

帰宅時刻は、母親、父親ともに「18時」が最も多く(母親 47.2%、父親 45.6%)となっている。父親は19時以降に帰宅する割合が母親に比べて多くなっている。

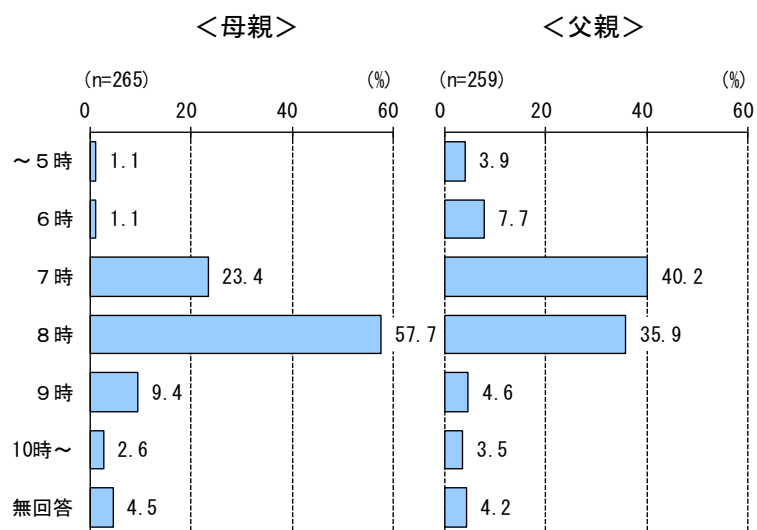
【図 1 週あたりの就労日数】



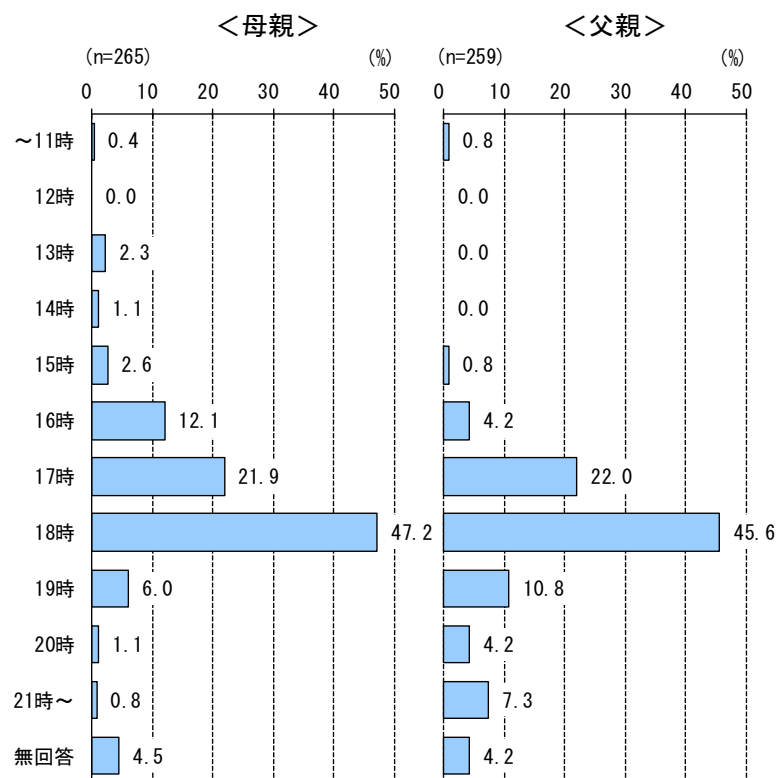
【図 1 日あたりの就労時間】



【図 家を出る時間】



【図 帰宅時間】



(3) フルタイムへの転換希望

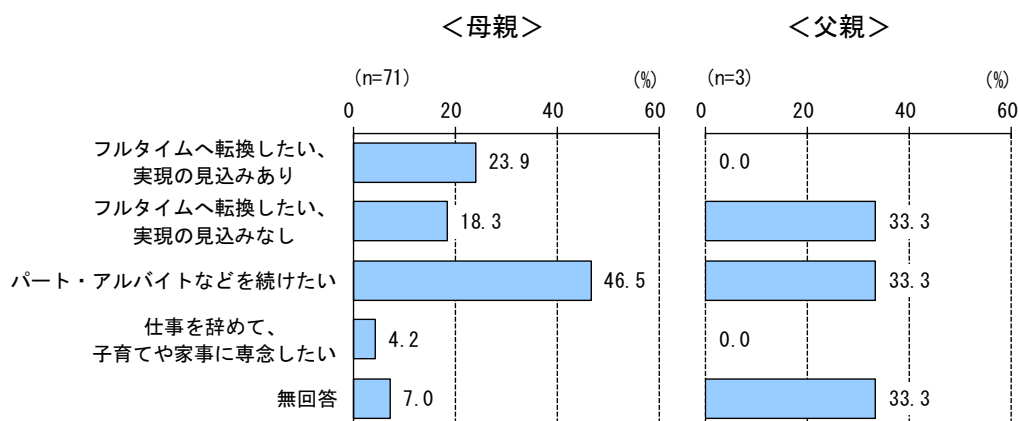
問10で、「2. パート・アルバイトなど」に○をつけた方のみ

問10-3 パート・アルバイトなどからフルタイムへの転換希望はありますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

フルタイムへの転換希望について、母親では「パート・アルバイトなどを続けたい」が 46.5%と最も多く、次いで「フルタイムへ転換したい、実現の見込みあり」が 23.9%、「フルタイムへ転換したい、実現の見込みなし」が 18.3%となっている。

父親では「フルタイムへ転換したい、実現の見込みなし」「パート・アルバイトなどを続けたい」との回答がそれぞれ1件ずつとなっている。

【図 フルタイムへの転換希望】



【表 フルタイムへの転換希望】

				い、フル タイム の見 込み あり	い、フル タイム の見 込み なし	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト な ど を 続 け た い	仕 事 を 辞 め て 、 子 育 て や 家 事 に 専 念 し た い	無 回 答
母 親	全体		71	17	13	33	3	5
	上段/実数 下段/%		100.0	23.9	18.3	46.5	4.2	7.0
	年 齢	0歳	7	2	—	4	1	—
		1・2歳	21	3	6	9	2	1
		3～5歳	43	12	7	20	—	4
		100.0	27.9	16.3	46.5	—	9.3	
父 親	全体		3	—	1	1	—	1
	上段/実数 下段/%		100.0	—	33.3	33.3	—	33.3
	年 齢	0歳	—	—	—	—	—	—
		1・2歳	1	—	1	—	—	—
		3～5歳	2	—	—	1	—	1
		100.0	—	—	50.0	—	50.0	

(4) 非就労者の就労希望

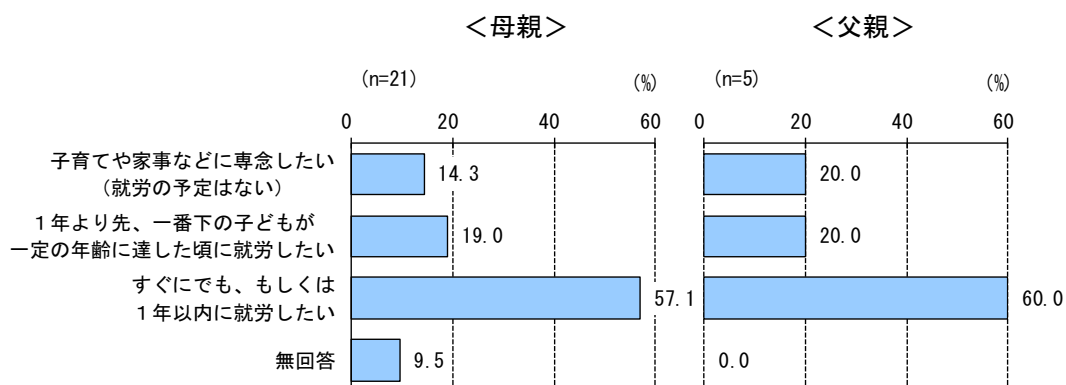
問10で、「3. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「4. これまで就労したことがない」に○をつけた方のみ

問11 就労したいという希望はありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

就労希望について、母親では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が57.1%と最も多く、次いで「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」が19.0%となっている。

父親では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が60.0%と最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」がそれぞれ20.0%となっている。

【図 非就労者の就労希望】



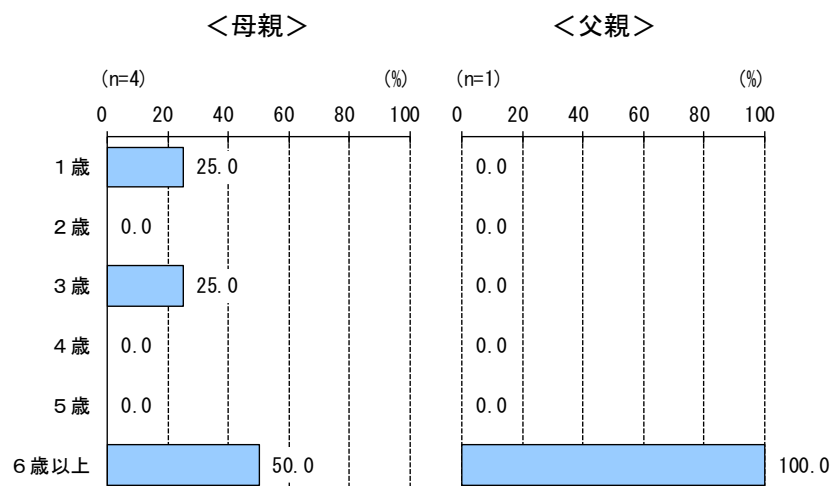
問11で、「2. 1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」に○をつけた方のみ

問11-1 一番下の子どもが何歳になった頃に就労したいですか。
(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字)

就労したい子どもの年齢は、母親では「6歳以上」が50.0%と最も多く、次いで「1歳」「3歳」がそれぞれ25.0%となっている。

父親では「6歳以上」の回答が1件となっている。

【図 就労したい子どもの年齢】



（５）希望する就労形態

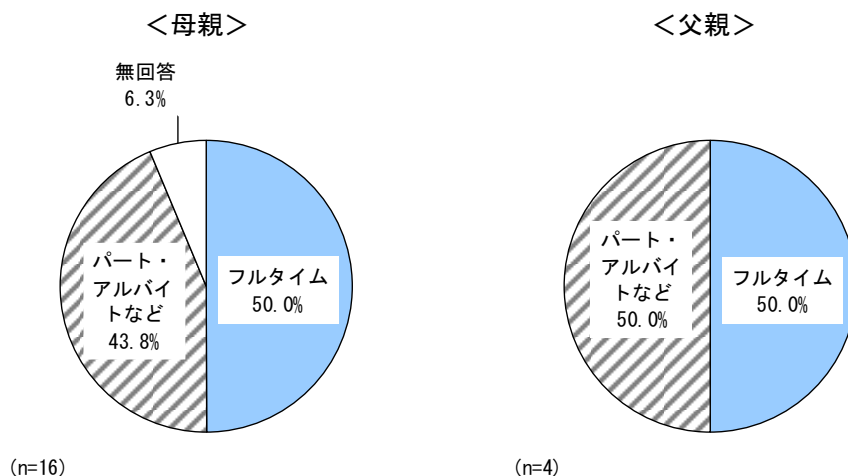
問11で、「２．１年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」または「３．すぐにも、もしくは１年以内に就労したい」に○をつけた方のみ

問11-2 希望する就労形態はどれですか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

希望する就労形態について、母親では「フルタイム」が 50.0%、「パート・アルバイトなど」が 43.8%となっている。

父親では「フルタイム」と「パート・アルバイトなど」がそれぞれ 50.0%ずつとなっている。

【図 希望する就労形態】



問11で、「2. 1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」または「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方のみ

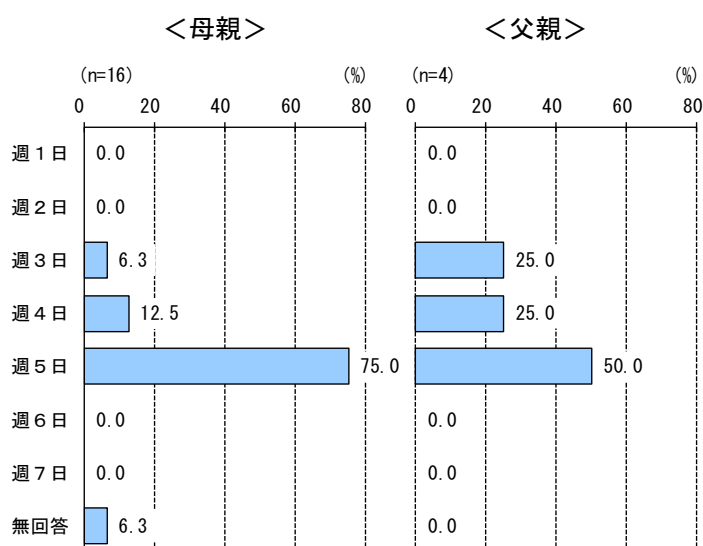
問11-3 希望する就労形態について、①1週あたりの「就労日数」、②1日あたりの「就労時間」をすべてご記入ください。

(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

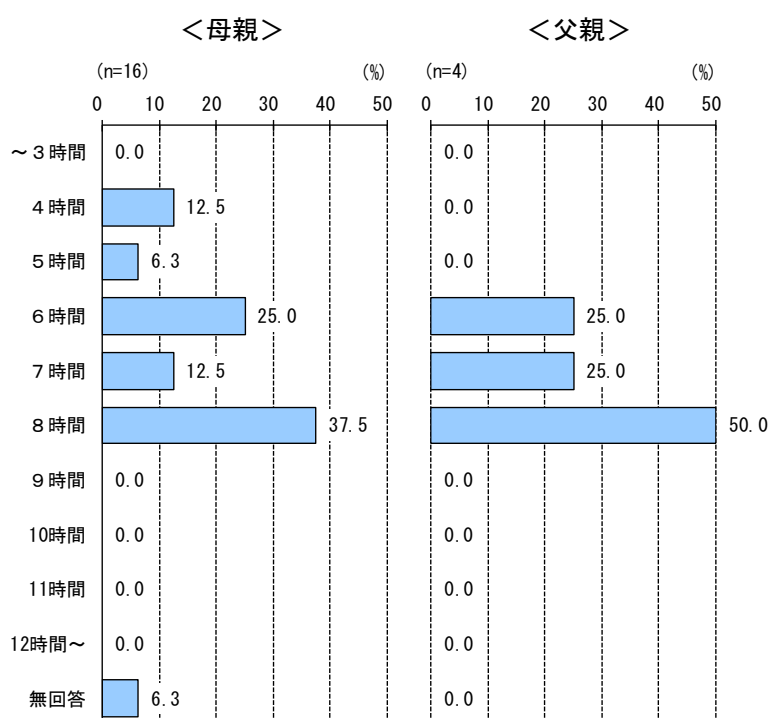
1週あたりの就労日数は、母親では「週5日」が75.0%と最も多く、次いで「週4日」が12.5%、「週3日」が6.3%となっている。また、父親では「週5日」が50.0%と最も多く、次いで「週4日」「週3日」がそれぞれ25.0%となっている。

1日あたりの就労時間は、母親では「8時間」が37.5%と最も多く、次いで「6時間」が25.0%、「4時間」「7時間」がそれぞれ12.5%となっている。また、父親では「8時間」が50.0%と最も多く、次いで「6時間」「7時間」がそれぞれ25.0%となっている。

【図 1週あたりの就労日数】



【図 1日あたりの就労時間】



3. 育児休業や短時間勤務制度について

(1) 育児休業の取得状況

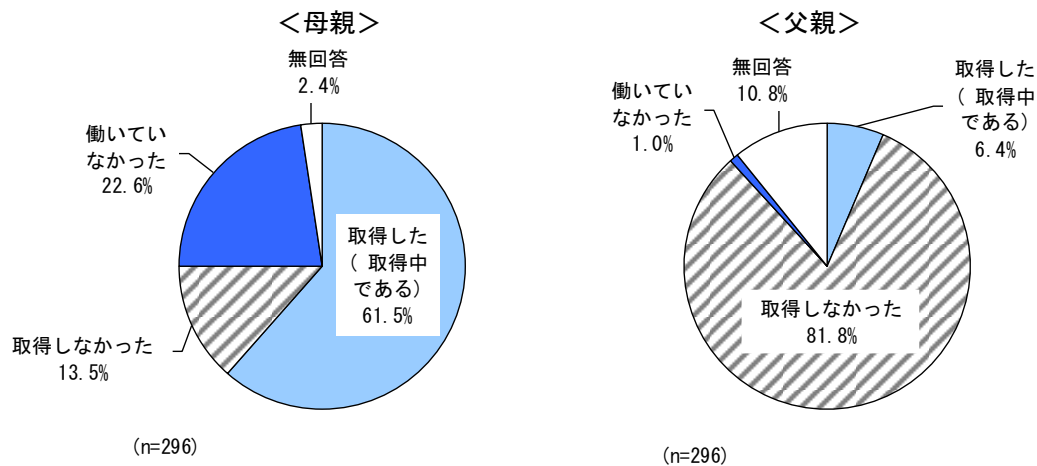
母子家庭の場合は「(1) 母親」、父子家庭の場合は「(2) 父親」のみご回答ください

問12 あて名のおさんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

育児休業の取得状況について、母親では「取得した(取得中である)」が61.5%と最も多く、次いで「働いていなかった」が22.6%、「取得しなかった」が13.5%となっている。

父親では「取得しなかった」が81.8%と最も多く、次いで「取得した(取得中である)」が6.4%、「働いていなかった」が1.0%となっている。

【図 育児休業の取得状況】



(2) 育児休業後の職場復帰状況

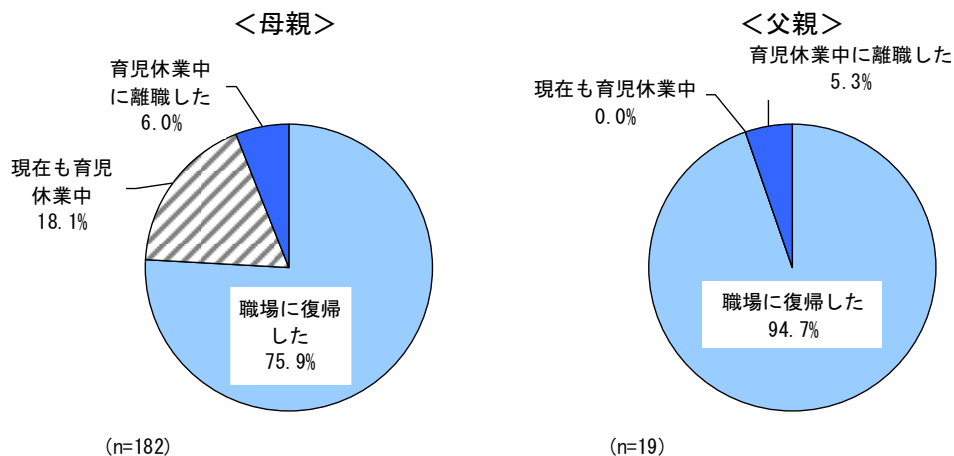
問12で「1. 取得した(取得中である)」に○をつけた方のみ

問13 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

育児休業後の職場復帰状況について、母親では「職場に復帰した」が75.9%と最も多く、次いで「現在も育児休業中」が18.1%、「育児休業中に離職した」が6.0%となっている。

父親では「職場に復帰した」が94.7%、「育児休業中に離職した」が5.3%となっている。

【図 育児休業後の職場復帰状況】



(3) 育児休業からの職場復帰のタイミング

問13で、「1. 職場に復帰した」に○をつけた方のみ

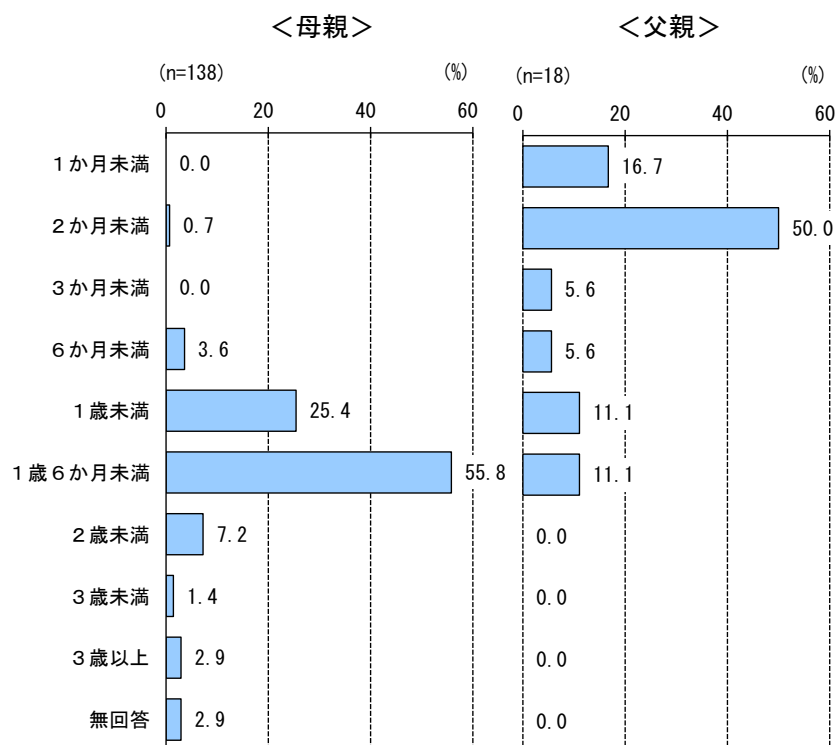
問13-1 お子さんが何歳何か月のときに育児休業から職場復帰しましたか。
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで休暇を取りたかったですか。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字）

育児休業から復帰した際の子どもの年齢（実際）について、母親では「1歳6か月未満」が55.8%と最も多く、次いで「1歳未満」が25.4%、「2歳未満」が7.2%となっている。また、父親では「2か月未満」が50.0%と最も多く、次いで「1か月未満」が16.7%、「1歳未満」「1歳6か月未満」がそれぞれ11.1%となっている。

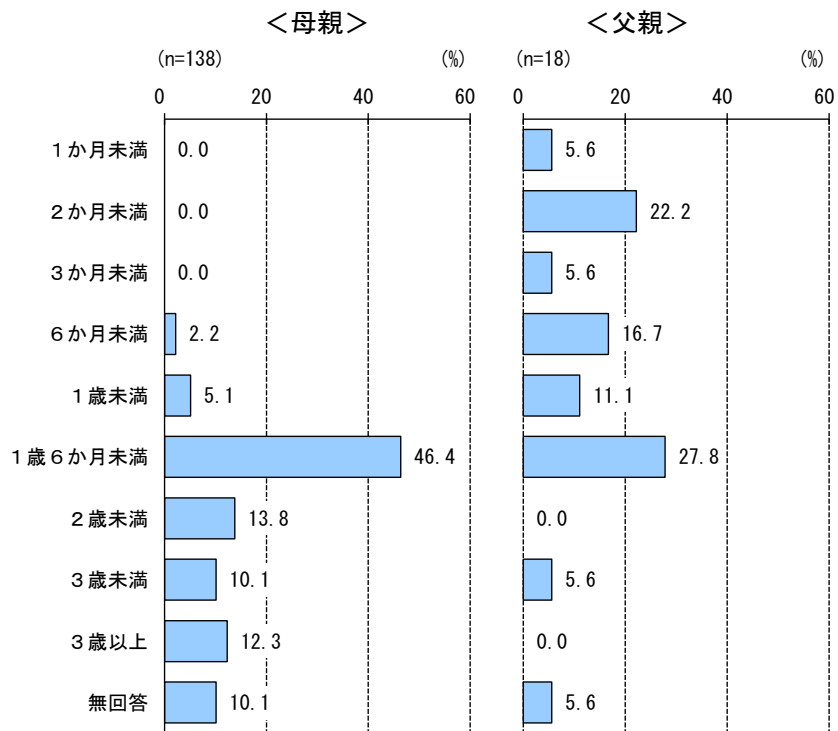
職場復帰を希望していた子どもの年齢について、母親では「1歳6か月未満」が46.4%で最も多く、次いで「2歳未満」が13.8%、「3歳以上」が12.3%となっている。父親では「1歳6か月未満」が27.8%で最も多く、次いで「2か月未満」が22.2%、「6か月未満」が16.7%となっている。

職場復帰の状況について、母親では「(希望より)早い」が49.3%と最も多く、次いで「希望どおり」が33.3%、「(希望より)遅い」が7.2%となっている。父親では、「(希望より)早い」が55.5%と最も多く、次いで、「希望どおり」が38.9%となっている。

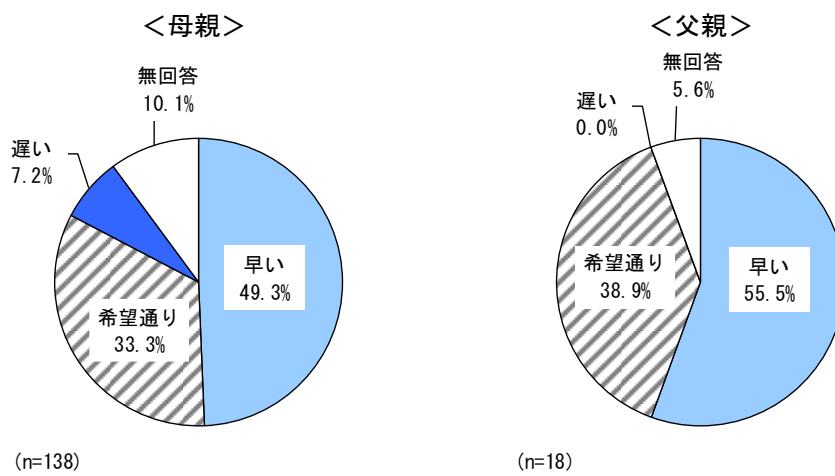
【図 実際の職場復帰時の子どもの年齢】



【図 希望の職場復帰時の子どもの年齢】



【図 職場復帰の状況】



(4) 3歳になるまで休暇を取得できる制度があった場合の希望

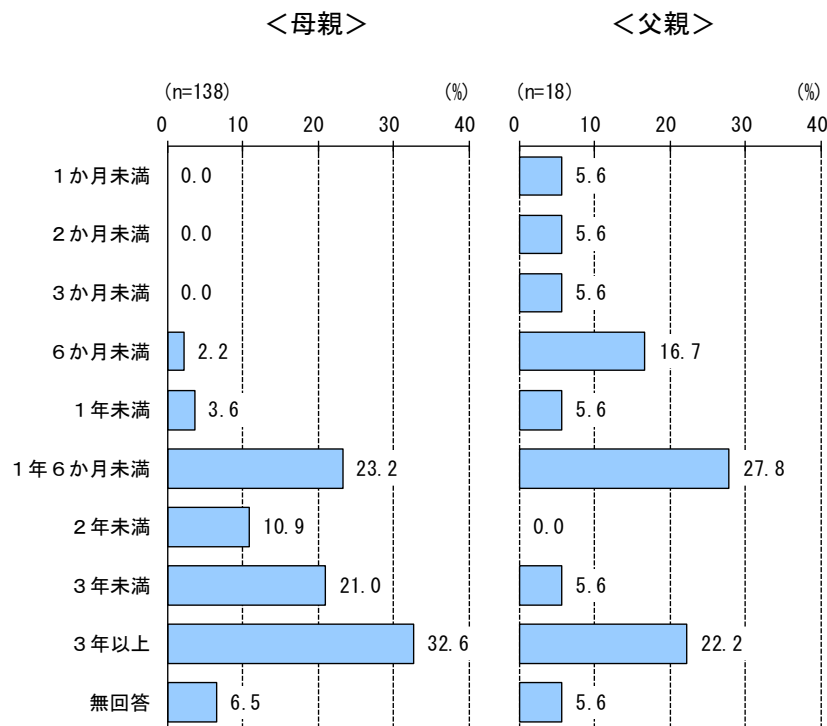
問13で、「1. 職場に復帰した」に○をつけた方のみ

問13-2 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、何歳何か月のときまで休暇を取りたかったですか。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字)

希望の休暇取得期間について、母親では「3年以上」が32.6%と最も多く、次いで「1年6か月未満」が23.2%、「3年未満」が21.0%となっている。

父親では「1年6か月未満」が27.8%と最も多く、次いで「3年以上」が22.2%、「6か月未満」が16.7%となっている。

【図 希望の休暇取得期間】



（５）育児休業を取得しなかった理由

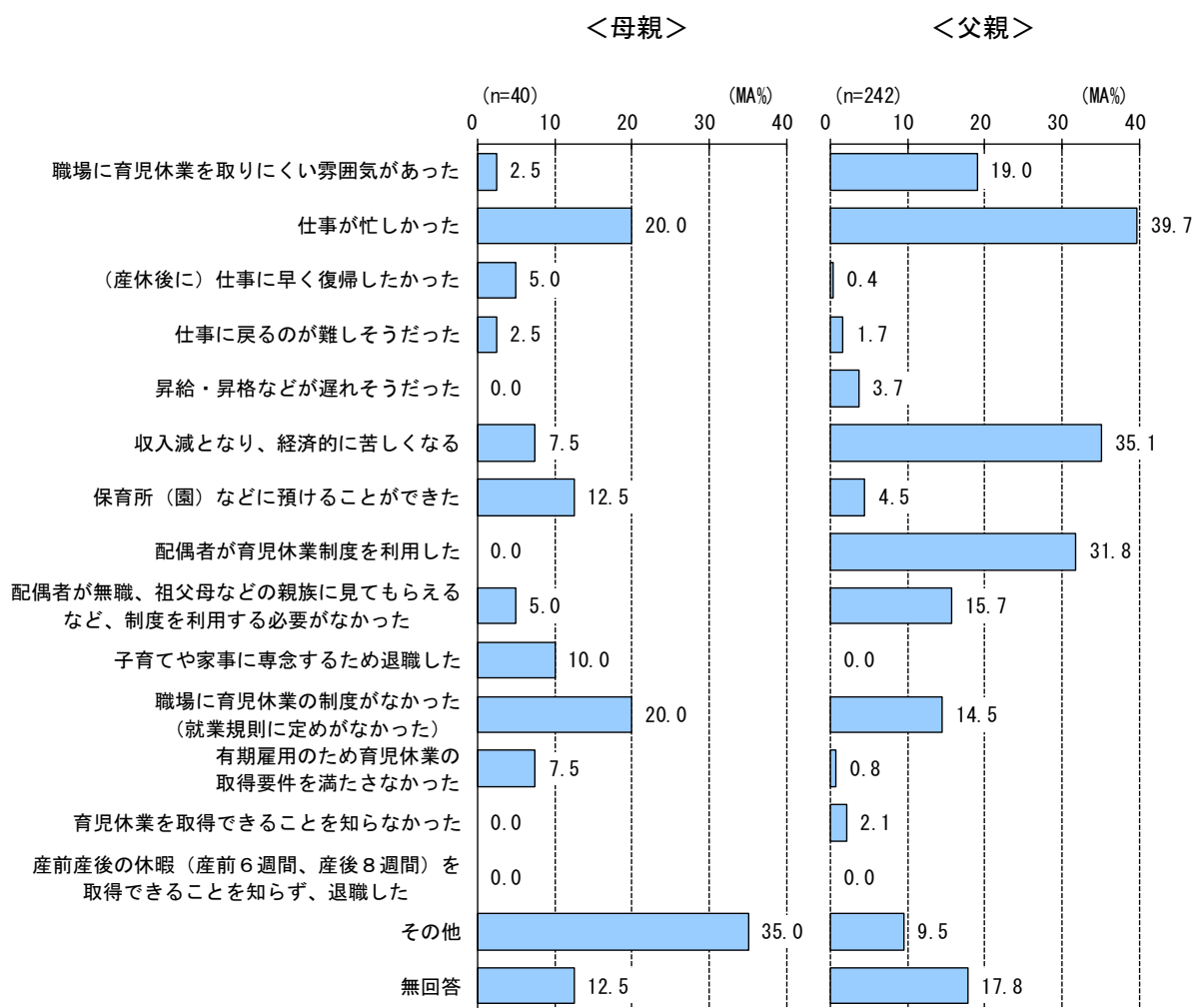
問12で、「２．取得しなかった」に○をつけた方のみ

問14 あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しなかった理由を、以下の選択肢からご記入ください。（それぞれ、あてはまる番号すべてを、以下の記入欄に記入）

育児休業を取得しなかった理由について、母親では「仕事が忙しかった」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」がそれぞれ 20.0%と最も多く、次いで「保育所（園）などに預けることができた」が 12.5%、「子育てや家事に専念するため退職した」が 10.0%となっている。

父親では「仕事が忙しかった」が 39.7%と最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 35.1%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が 31.8%となっている。

【図 育児休業を取得しなかった理由】



【その他】

自営業だから／主婦だった／有休・特別休暇があった／配偶者が取得した／事業主のため／解雇された／有期雇用のため、育児休業制度の取得要件を満たさなかった／人手不足のため申請しなかった 等

4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

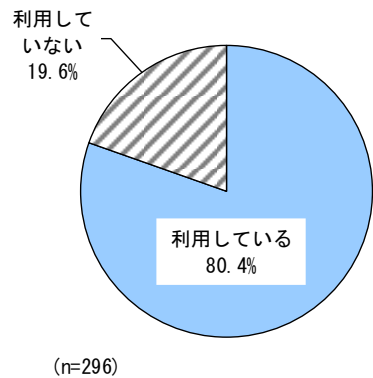
(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問15 あて名のお子さんは、平日に保育所や認定こども園などの定期的な教育・保育事業を利用していますか。（あてはまる番号1つに○）

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について、「利用している」が 80.4%、「利用していない」が 19.6%となっている。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「利用している」の割合が高くなっている。

【図 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況】



【表 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況】

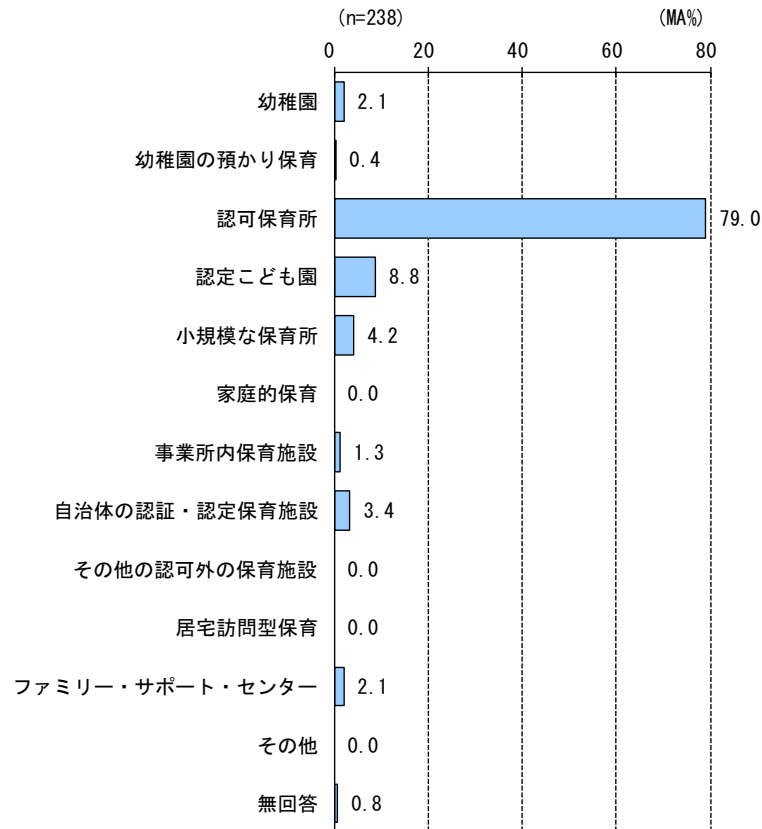
			利用 して いる	利用 して いない
		合計		
全体		296 100.0	238 80.4	58 19.6
年 齢	0 歳	45 100.0	5 11.1	40 88.9
	1・2 歳	92 100.0	78 84.8	14 15.2
	3～5 歳	158 100.0	154 97.5	4 2.5
家 庭 類 型	ひとり親家庭	25 100.0	21 84.0	4 16.0
	フルタイム×フルタイム	176 100.0	145 82.4	31 17.6
	フルタイム×パートタイム	64 100.0	56 87.5	8 12.5
	フルタイム×専業主婦・夫	15 100.0	6 40.0	9 60.0
	パートタイム×パートタイム	1 100.0	1 100.0	－ －
	パートタイム×専業主婦・夫	3 100.0	2 66.7	1 33.3
	無職×無職	2 100.0	－ －	2 100.0

問15で、「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問15-1 あて名のお子さんは、平日にどのような事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をご記入ください。（あてはまる番号すべてすべてに○）

平日に利用している事業について、「認可保育所」が 79.0%と最も多く、次いで「認定こども園」が 8.8%、「小規模な保育所」が 4.2%となっている。

【図 平日に利用している事業】



【表 平日に利用している事業】

		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育所	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
	合計	5	1	188	21	10	-	3	8	-	-	5	-	2
	全体 上段/実数 下段/MA%	238 100.0	2.1	0.4	79.0	8.8	4.2	-	1.3	3.4	-	2.1	-	0.8
年齢	0歳	5	-	-	2	-	-	-	1	-	-	1	-	1
		100.0	-	-	40.0	-	-	-	20.0	-	-	20.0	-	20.0
	1・2歳	78	1	-	61	9	4	2	2	-	-	2	-	-
		100.0	1.3	-	78.2	11.5	5.1	2.6	2.6	-	-	2.6	-	-
家庭類型	3～5歳	154	4	1	126	10	6	1	5	-	-	2	-	1
		100.0	2.6	0.6	81.8	6.5	3.9	0.6	3.2	-	-	1.3	-	0.6
	ひとり親家庭	21	1	-	12	2	3	2	1	-	-	-	-	-
		100.0	4.8	-	57.1	9.5	14.3	9.5	4.8	-	-	-	-	-
	フルタイム×フルタイム	145	3	1	115	13	6	1	4	-	-	2	-	1
		100.0	2.1	0.7	79.3	9.0	4.1	0.7	2.8	-	-	1.4	-	0.7
	フルタイム×パートタイム	56	1	-	47	5	1	-	3	-	-	1	-	-
		100.0	1.8	-	83.9	8.9	1.8	-	5.4	-	-	1.8	-	-
	フルタイム×専業主婦・夫	6	-	-	6	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-
家庭類型	パートタイム×パートタイム	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	パートタイム×専業主婦・夫	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家庭類型	無職×無職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（２）利用している平日の定期的な教育・保育事業の頻度（利用日数・利用時間）

問15で、「１．利用している」に○をつけた方のみ

問15-2 平日に利用している事業について、（１）現在及び（２）希望の、①１週あたりの利用日数、②１日あたりの利用時間をすべてご記入ください。
（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入）

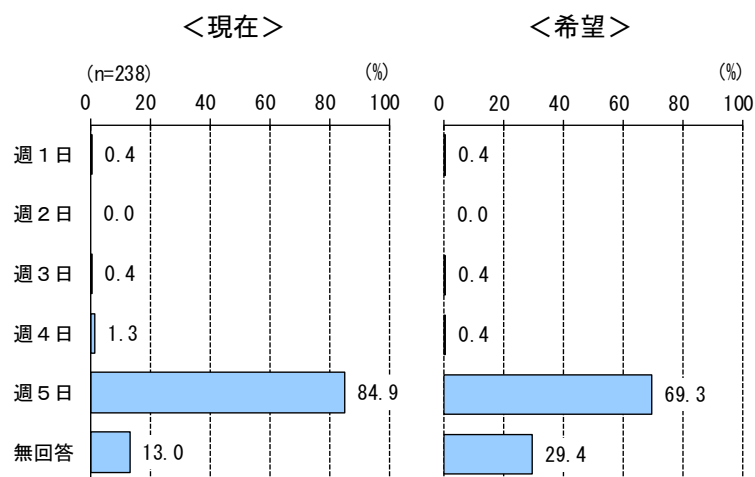
平日の定期的な教育・保育事業について、現在の利用日数、希望の利用日数ともに「週５日」が最も多くなっている。

平日の定期的な教育・保育事業について、現在の利用時間、希望の利用時間ともに「８時間」が最も多く、次いで「９時間」、「10 時間」となっている。

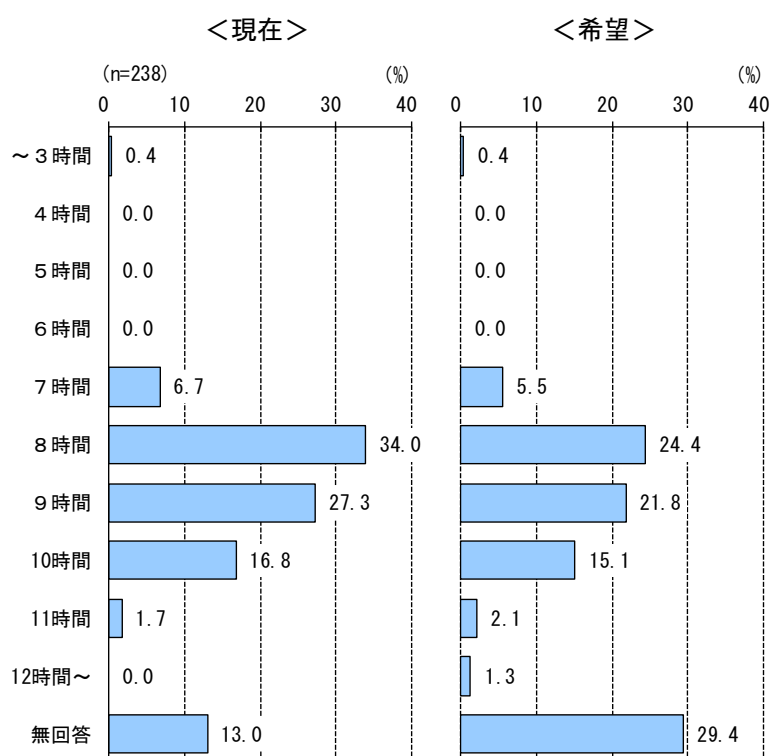
平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用開始時間、希望の利用開始時間ともに「８時」が最も多く、次いで、「９時」、「７時」となっている。

平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用終了時間帯は、「17 時」が 37.4%と最も多く、次いで、「16 時」が 28.2%、「18 時」が 19.7%となっている。希望利用終了時間帯は、「17 時」が 28.2%と最も多く、次いで、「18 時」が 20.2%、「16 時」が 19.3%となっている。

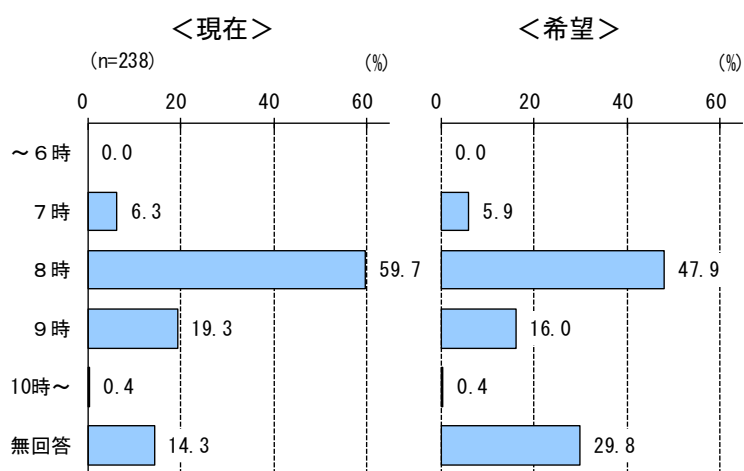
【図 １週あたりの利用日数】



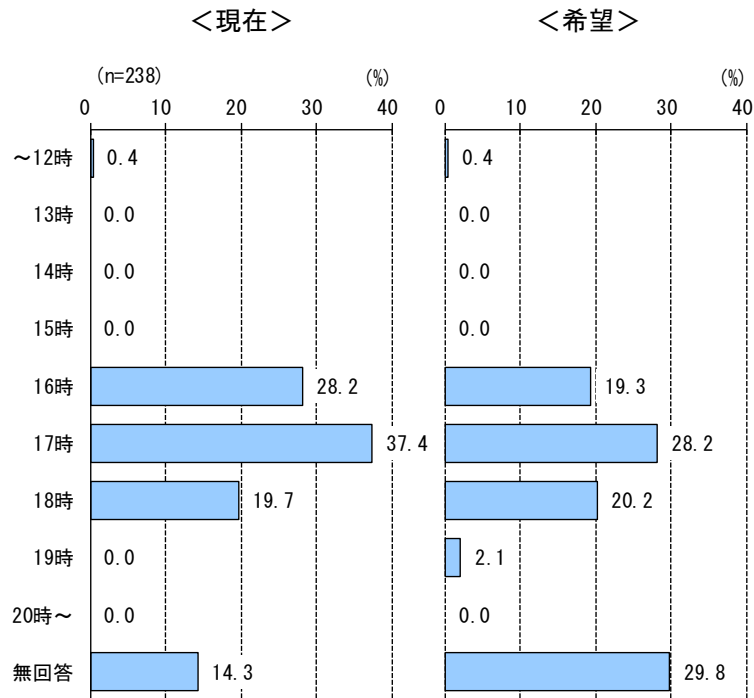
【図 1日あたりの利用時間】



【図 利用開始時間】



【図 利用終了時間】



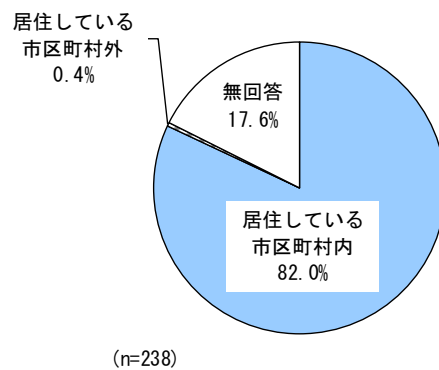
（３）現在利用している教育・保育事業の実施場所

問15で、「１．利用している」に○をつけた方のみ

問15-3 現在、利用している事業の実施場所はどこですか。（あてはまる番号 1 つに○）

平日の定期的な教育・保育事業の実施場所について、「居住している市区町村内」が 82.0%、「居住している市区町村外」が 0.4%となっている。

【図 平日の定期的な教育・保育事業の実施場所】



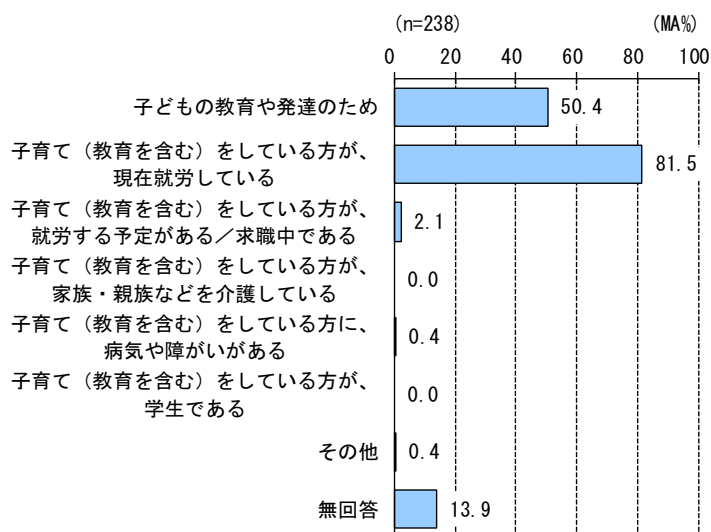
(4) 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由

問15で、「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問15-4 平日に定期的に事業を利用している理由をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

平日の定期的な教育・保育事業を利用する理由について、「子育て（教育を含む）をしている方が、現在就労している」が81.5%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が50.4%、「子育て（教育を含む）をしている方が、就労する予定がある／求職中である」が2.1%となっている。

【図 平日の定期的な教育・保育事業の利用理由】



【その他】

出産2人目育児のため

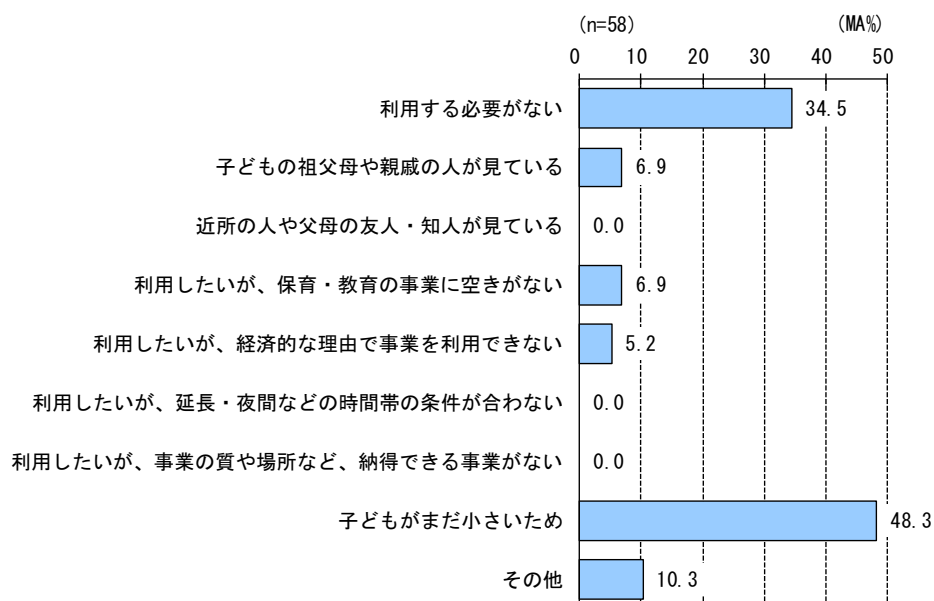
（５）平日に定期的に教育・保育事業を利用していない理由

問15で、「２．利用していない」に○をつけた方のみ

問16 平日に定期的に事業を利用していない理由をご記入ください。（あてはまる番号すべてに○）

平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由について、「子どもがまだ小さいため」が 48.3%と最も多く、次いで「利用する必要がある」が 34.5%、「子どもの祖父母や親戚の人が見ている」「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」がそれぞれ 6.9%となっている。

【図 平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由】



【その他】

新年度（４月）から利用する予定／幼稚園がないから／今後ファミサポを利用予定／仕事をしておらず、自分で見れるため／病気のため入所に至らなかった

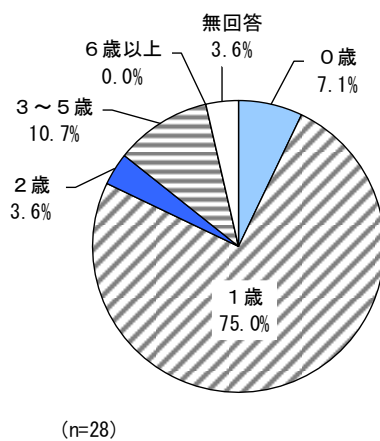
（６）教育・保育事業を利用したい子どもの年齢

問16で、「８．子どもがまだ小さいため」に○をつけた方のみ

問16-1 子どもが何歳になった頃に利用したいですか。（枠内に数字で記入）

定期的な教育・保育事業を利用したい子どもの年齢については、「１歳」が 75.0%と最も多く、次いで、「３～５歳」が 10.7%、「０歳」が 7.1%、「２歳」が 3.6%となっている。

【図 定期的な教育・保育事業を利用したい子どもの年齢】

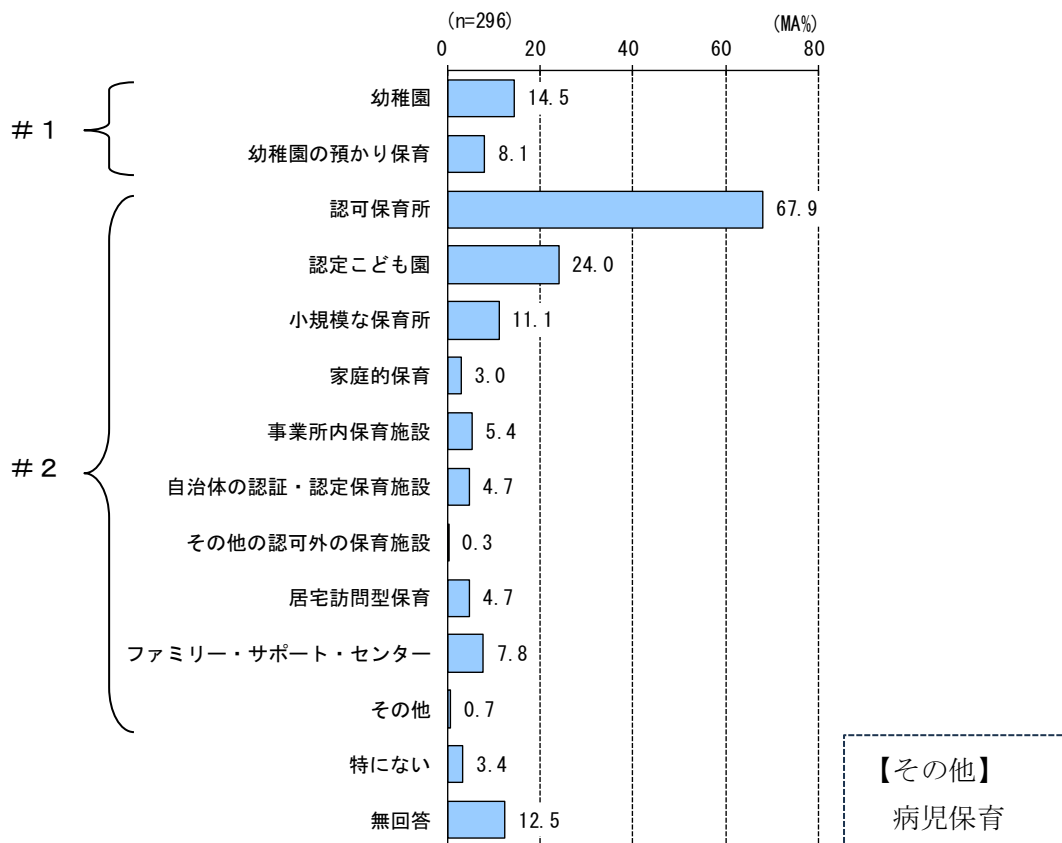


(7) 希望する教育・保育事業

問17 現在の利用の有無にかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業をご記入ください。（あてはまる番号すべてに○）

平日に定期的に利用したいと考える事業については、「認可保育所」が 67.9%と最も多く、次いで、「認定こども園」が 24.0%、「幼稚園」が 14.5%となっている。

【図 平日に定期的に利用したいと考える事業】



【表 平日に定期的に利用したいと考える事業】

		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育所	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	特にない	無回答
全体		43	24	201	71	33	9	16	14	1	14	23	2	10	37
上段/実数		14.5	8.1	67.9	24.0	11.1	3.0	5.4	4.7	0.3	4.7	7.8	0.7	3.4	12.5
下段/MA%		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
年齢	0歳	45	13	8	31	22	11	5	4	—	3	5	1	3	2
	1・2歳	92	12	6	66	24	10	4	6	4	1	7	7	4	12
	3～5歳	158	18	10	104	25	12	5	6	—	4	11	4	3	22
		100.0	11.4	6.3	65.8	15.8	7.6	3.2	3.8	—	2.5	7.0	0.6	1.9	13.9
家庭類型	ひとり親家庭	25	1	1	10	5	3	—	2	1	—	1	—	2	5
		100.0	4.0	4.0	40.0	20.0	12.0	—	8.0	4.0	—	4.0	—	8.0	20.0
	フルタイム×フルタイム	176	27	14	121	40	20	4	10	5	1	8	10	6	29
		100.0	15.3	8.0	68.8	22.7	11.4	2.3	5.7	2.8	0.6	4.5	5.7	3.4	16.5
	フルタイム×パートタイム	64	9	8	48	16	6	2	4	6	—	4	6	1	3
		100.0	14.1	12.5	75.0	25.0	9.4	3.1	6.3	9.4	—	6.3	9.4	1.6	4.7
	パートタイム×パートタイム	15	2	1	10	6	3	2	—	1	—	1	4	1	—
		100.0	13.3	6.7	66.7	40.0	20.0	13.3	—	6.7	—	6.7	26.7	6.7	—
無職×無職	パートタイム×パートタイム	1	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		100.0	100.0	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無職×無職	3	1	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		100.0	33.3	—	66.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無職×無職		2	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
		100.0	50.0	—	50.0	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—

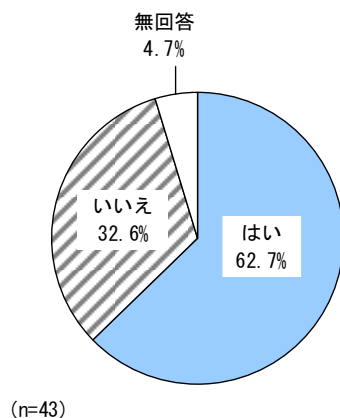
（８）幼稚園の利用を強く希望するか

問17で、（＃１）と（＃２）の両方に○をつけた方のみ

問17-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。
（あてはまる番号１つに○）

幼稚園（幼稚園の預かり保育を合わせて利用する場合を含む）の利用を強く希望するかは、「はい」が62.7%、「いいえ」が32.6%となっている。

【図 幼稚園の利用を強く希望】



【表 幼稚園の利用を強く希望】

		はい	いいえ	無回答
		はい	いいえ	無回答
合計		27	14	2
全体		43	62.8	32.6
上段/実数		27	14	2
下段/%		62.8	32.6	4.7
家庭類型	ひとり親家庭	1	1	1
		100.0	100.0	100.0
	フルタイム×フルタイム	25	9	2
		100.0	56.0	36.0
	フルタイム×パートタイム	12	2	1
		100.0	83.3	16.7
	フルタイム×専業主婦・夫	2	2	1
		100.0	100.0	100.0
パートタイム×パートタイム		1	1	1
		100.0	100.0	100.0
	パートタイム×専業主婦・夫	1	1	1
		100.0	100.0	100.0
無職×無職		1	1	1
		100.0	100.0	100.0

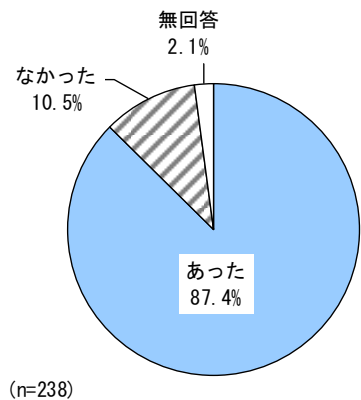
5. 子どもが病気の際の対応について

(1) 病気等で教育・保育事業が利用できなかったこと

問18 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、通常の教育・保育事業を利用できなかったことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

病気等で教育・保育事業が利用できなかったことは、「あった」が 87.4%、「なかった」が 10.5%となっている。
年齢別にみると、「1・2歳」では「あった」の割合が他と比べて高くなっている。

【図 病気等で教育・保育事業が利用できなかったこと】



【表 病気等で教育・保育事業が利用できなかったこと】

			あ っ た	な か っ た	無 回 答
		合計			
全体		238	208	25	5
上段/実数		100.0	87.4	10.5	2.1
下段/%					
年 齢	0歳	5	3	2	—
		100.0	60.0	40.0	—
	1・2歳	78	71	3	4
年 齢		100.0	91.0	3.8	5.1
	3～5歳	154	133	20	1
		100.0	86.4	13.0	0.6
家 庭 類 型	ひとり親家庭	21	17	2	2
		100.0	81.0	9.5	9.5
	フルタイム×フルタイム	145	131	13	1
		100.0	90.3	9.0	0.7
	フルタイム×パートタイム	56	44	10	2
		100.0	78.6	17.9	3.6
	フルタイム×専業主婦・夫	6	6	—	—
家 庭 類 型		100.0	100.0	—	—
	パートタイム×パートタイム	1	1	—	—
		100.0	100.0	—	—
	パートタイム×専業主婦・夫	2	2	—	—
家 庭 類 型		100.0	100.0	—	—
	無職×無職	—	—	—	—
家 庭 類 型		—	—	—	—

(2) 病気等で教育・保育事業が利用できなかったときの対処方法

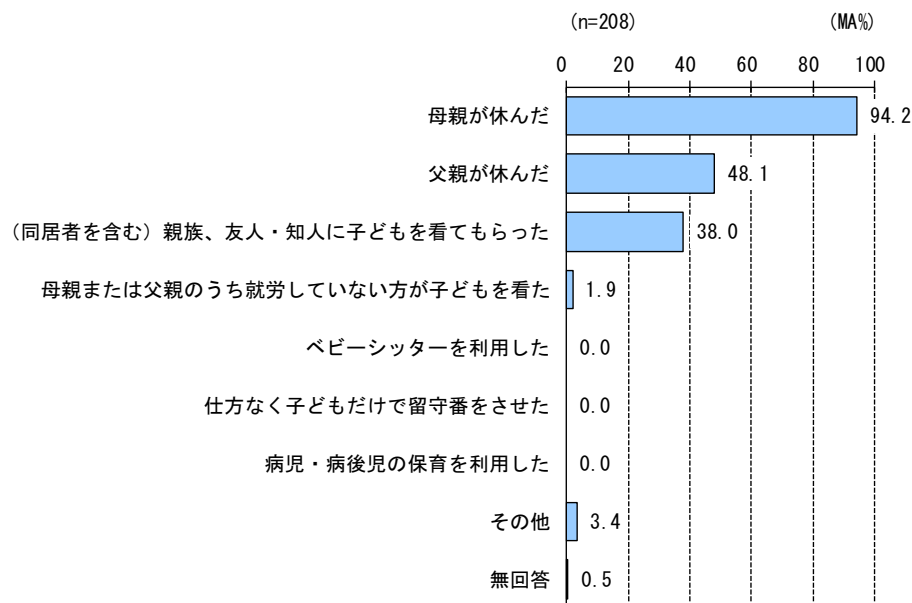
問18で、「1. あった」に○をつけた方のみ

問18-1 通常の教育・保育事業が利用できなかった時に、①実際に取った対処法と、②対処した際の日数（年間）をすべてご記入ください。

病気等で教育・保育事業が利用できなかった時の対処法は、「母親が休んだ」が 94.2%と9割を超え最も多く、次いで、「父親が休んだ」が 48.1%、「(同居者を含む) 親族、友人・知人に子どもを看てもらった」が 38.0%となっている。

母親が休んだ日数は、「8～10日」が 21.4%と最も多く、次いで、「11～20日」が 20.9%、「21日以上」が 12.2%となっている。父親が休んだ日数は、「3日」が 23.0%と最も多く、次いで、「8～10日」が 15.0%、「2日」が 13.0%となっている。(同居者を含む) 親族、友人・知人に子どもを看てもらった日数は、「3日」が 20.3%と最も多く、次いで、「2日」「8～10日」がそれぞれ 15.2%、「11～20日」が 12.7%となっている。母親または父親のうち就労していない方が子どもを看た日数は、「21日以上」が 50.0%と最も多く、次いで「8～10日」が 25.0%となっている。

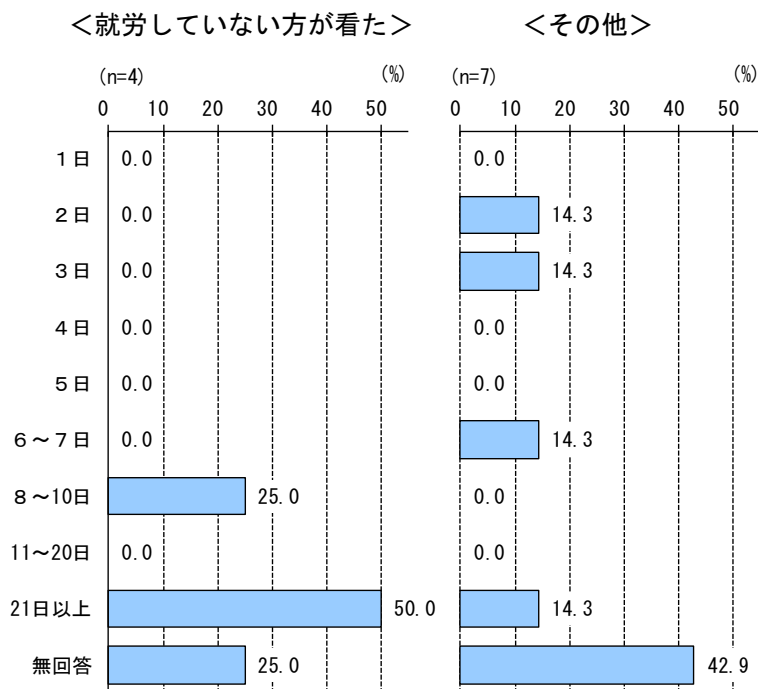
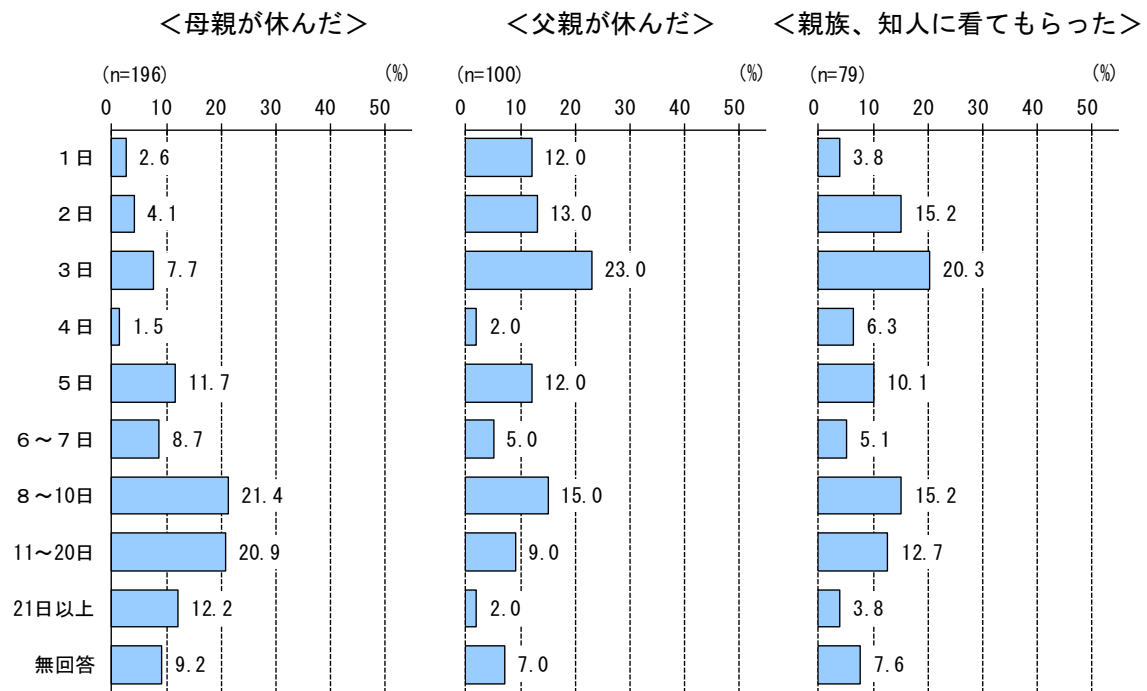
【図 病気等で教育・保育事業が利用できなかった時の対処法】



【その他】

仕事をしながら見た／祖父母／たまたま休みだった／在宅ワークの母が面倒を見た／
仕事を休んで父母で見た

【図 対処した日数】



(3) 病児・病後児保育施設の利用希望

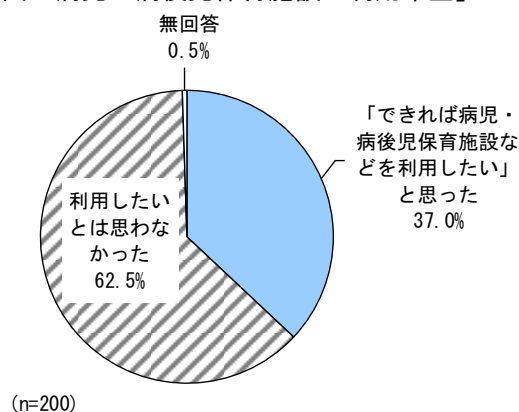
問18-1で、「1. 母親が休んだ」または「2. 父親が休んだ」に○をつけた方のみ

問19 母親または父親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思いましたか。(あてはまる番号1つに○)

病児・病後児保育施設の利用希望について、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った」が37.0%、「利用したいとは思わなかった」が62.5%となっている。

年齢別でみると、「1・2歳」では「利用したいとは思わなかった」の割合が他の年齢と比べてやや低くなっている。

【図 病児・病後児保育施設の利用希望】



【表 病児・病後児保育施設の利用希望】

			「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った	利用したいとは思わなかった	無回答
		合計	74	125	1
全体		200	37.0	62.5	0.5
		上段/実数 下段/%			
年齢	0歳	3	1	2	-
		100.0	33.3	66.7	-
	1・2歳	68	34	34	-
		100.0	50.0	50.0	-
家庭類型	3～5歳	128	39	88	1
		100.0	30.5	68.8	0.8
	ひとり親家庭	17	7	10	-
		100.0	41.2	58.8	-
家庭類型	フルタイム×フルタイム	126	48	77	1
		100.0	38.1	61.1	0.8
	フルタイム×パートタイム	44	13	31	-
		100.0	29.5	70.5	-
	フルタイム×専業主婦・夫	5	2	3	-
		100.0	40.0	60.0	-
	パートタイム×パートタイム	1	1	-	-
家庭類型		100.0	100.0	-	-
	パートタイム×専業主婦・夫	2	-	2	-
		100.0	-	100.0	-
家庭類型	無職×無職	-	-	-	-
		-	-	-	-

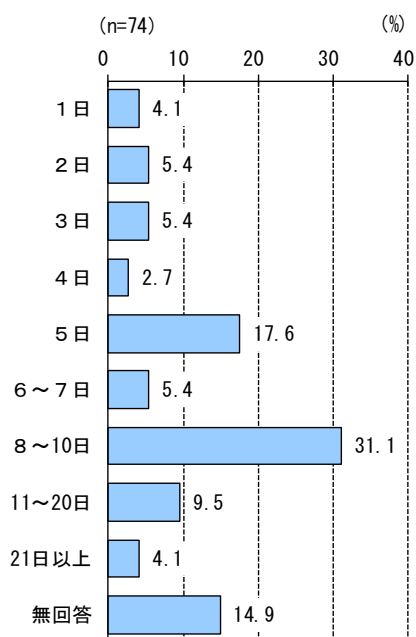
問19で、「1. 「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った」に○をつけた方のみ

問19-1 病児・病後児のための保育施設などを何日間利用したいと思いましたか。

(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字)

病児・病後児保育施設などの希望利用日数は、「8～10 日」が 31.1%と最も多く、次いで「5 日」が 17.6%、「11～20 日」が 9.5%となっている。

【図 病児・病後児保育施設の希望利用日数】



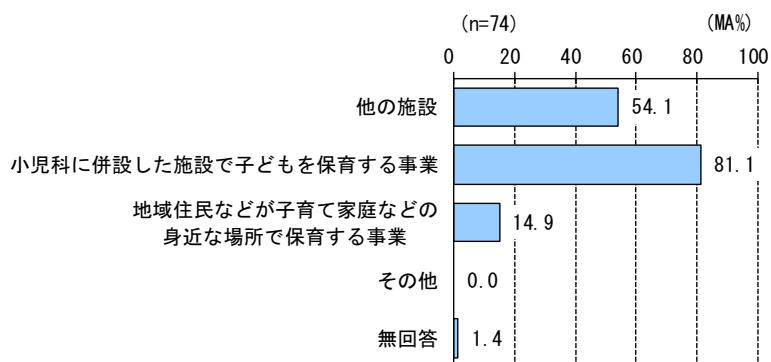
(4) 病児・病後児保育施設の希望事業形態

問19で、「1. 『できれば病児・病後児保育施設などを利用したい』と思った」に○をつけた方のみ

問19-2 あて名のお子さんが病気やケガで、通常の教育・保育事業を利用できない時に、病児・病後児のための保育施設などへ預ける場合、どの事業形態が望ましいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

病児・病後児保育施設の希望事業形態について、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 81.1%と最も多く、次いで「他の施設」が 54.1%、「地域住民などが子育て家庭などの身近な場所で保育する事業」が 14.9%となっている。

【図 病児・病後児保育施設の希望事業形態】



【表 病児・病後児保育施設の希望事業形態】

		合計	他の施設	小児科に併設した施設	家庭など身近な場所	その他	無回答
全体		74	40	60	11	-	1
		100.0	54.1	81.1	14.9	-	1.4
年齢	0歳	1	1	-	1	-	-
		100.0	100.0	-	100.0	-	-
	1・2歳	34	16	30	5	-	-
		100.0	47.1	88.2	14.7	-	-
	3～5歳	39	23	30	5	-	1
		100.0	59.0	76.9	12.8	-	2.6
家庭類型	ひとり親家庭	7	3	5	1	-	-
		100.0	42.9	71.4	14.3	-	-
	フルタイム×フルタイム	48	25	40	6	-	1
		100.0	52.1	83.3	12.5	-	2.1
	フルタイム×パートタイム	13	10	10	3	-	-
		100.0	76.9	76.9	23.1	-	-
	フルタイム×専業主婦・夫	2	-	2	-	-	-
		100.0	-	100.0	-	-	-
	パートタイム×パートタイム	1	1	-	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-	-
	パートタイム×専業主婦・夫	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
	無職×無職	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-

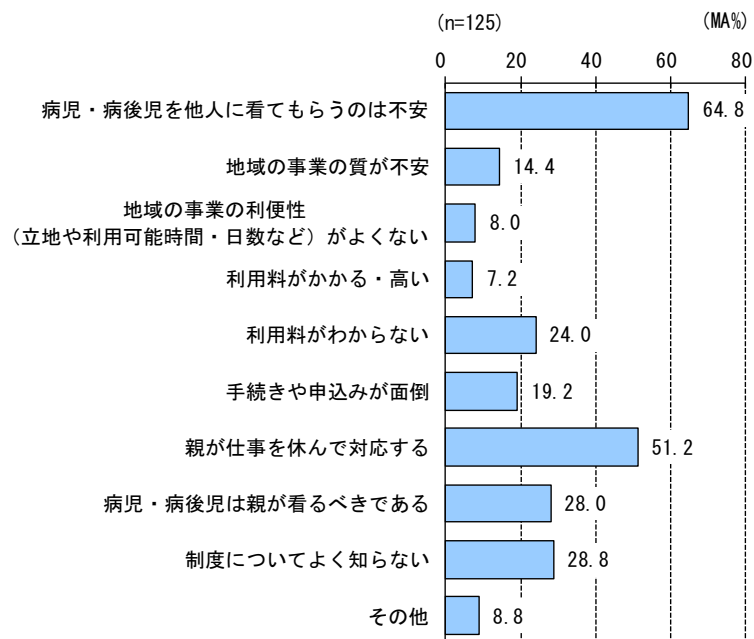
（５）病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

問19で、「２．利用したいとは思わなかった」に○をつけた方のみ

問19-3 病児・病後児のための保育施設などを利用したいとは思わなかった理由をご記入ください。
（あてはまる番号すべてに○）

病児・病後児保育施設などを利用したいとは思わなかった理由について、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が64.8%と最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が51.2%、「制度についてよく知らない」が28.8%となっている。

【図 病児・病後児保育施設を利用したいとは思わなかった理由】



【その他】

親族に見てもらえる／子どもがしんどい時は側にいたい／アレルギーがあるため／
家にいる方が見れるから／地域にそういった施設がない 等

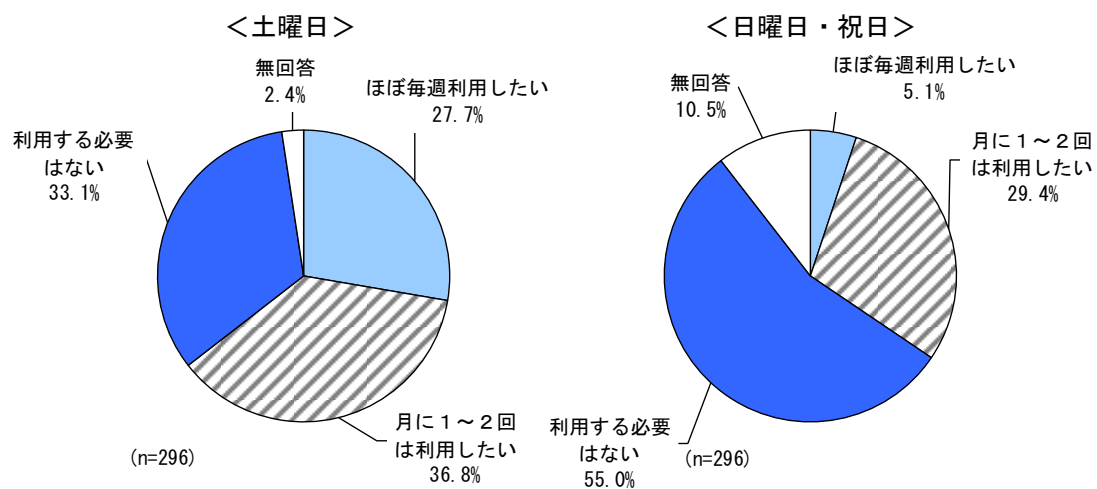
6. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問20 あて名のお子さんについて、(1) 土曜日と(2) 日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業を利用したいですか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「月に1～2回は利用したい」が36.8%と最も多く、次いで、「利用する必要はない」が33.1%、「ほぼ毎週利用したい」が27.7%となっている。日曜日・祝日は「利用する必要はない」が55.0%と最も多く、次いで、「月に1～2回は利用したい」が29.4%、「ほぼ毎週利用したい」が5.1%となっている。

【図 定期的な教育・保育事業の利用希望】



【表 定期的な教育・保育事業の利用希望】

				ほぼ毎週利用したい	月に1〜2回は利用し	利用する必要はない	無回答
			合計				
土曜日	全体 上段/実数 下段/%		296 100.0	82 27.7	109 36.8	98 33.1	7 2.4
	家庭類型	ひとり親家庭	25 100.0	10 40.0	7 28.0	7 28.0	1 4.0
		フルタイム×フルタイム	176 100.0	52 29.5	67 38.1	55 31.3	2 1.1
		フルタイム×パートタイム	64 100.0	15 23.4	21 32.8	26 40.6	2 3.1
		フルタイム×専業主婦・夫	15 100.0	－ －	8 53.3	7 46.7	－ －
		パートタイム×パートタイム	1 100.0	1 100.0	－ －	－ －	－ －
		パートタイム×専業主婦・夫	3 100.0	－ －	2 66.7	1 33.3	－ －
		無職×無職	2 100.0	－ －	1 50.0	1 50.0	－ －
	利用希望	幼稚園	50 100.0	12 24.0	17 34.0	20 40.0	1 2.0
		認可保育所	201 100.0	55 27.4	74 36.8	68 33.8	4 2.0
		認定こども園	71 100.0	19 26.8	28 39.4	24 33.8	－ －
日曜日	全体 上段/実数 下段/%		296 100.0	15 5.1	87 29.4	163 55.1	31 10.5
	家庭類型	ひとり親家庭	25 100.0	4 16.0	5 20.0	9 36.0	7 28.0
		フルタイム×フルタイム	176 100.0	8 4.5	58 33.0	99 56.3	11 6.3
		フルタイム×パートタイム	64 100.0	1 1.6	18 28.1	39 60.9	6 9.4
		フルタイム×専業主婦・夫	15 100.0	－ －	3 20.0	10 66.7	2 13.3
		パートタイム×パートタイム	1 100.0	－ －	1 100.0	－ －	－ －
		パートタイム×専業主婦・夫	3 100.0	－ －	1 33.3	1 33.3	1 33.3
		無職×無職	2 100.0	－ －	1 50.0	1 50.0	－ －
	利用希望	幼稚園	50 100.0	1 2.0	19 38.0	25 50.0	5 10.0
		認可保育所	201 100.0	12 6.0	59 29.4	114 56.7	16 8.0
		認定こども園	71 100.0	3 4.2	27 38.0	37 52.1	4 5.6

問20で、「1. ほぼ毎週利用したい」または「2. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方のみ

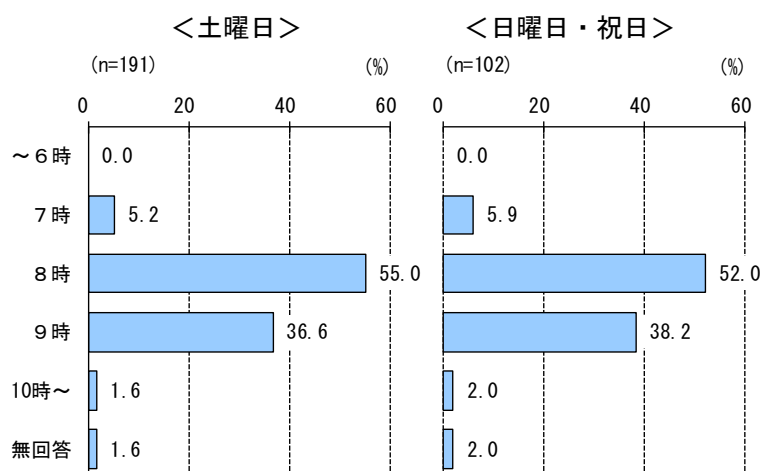
問20-1 (1) 土曜日と(2) 日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業を利用したい時間帯をご記入ください。

(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

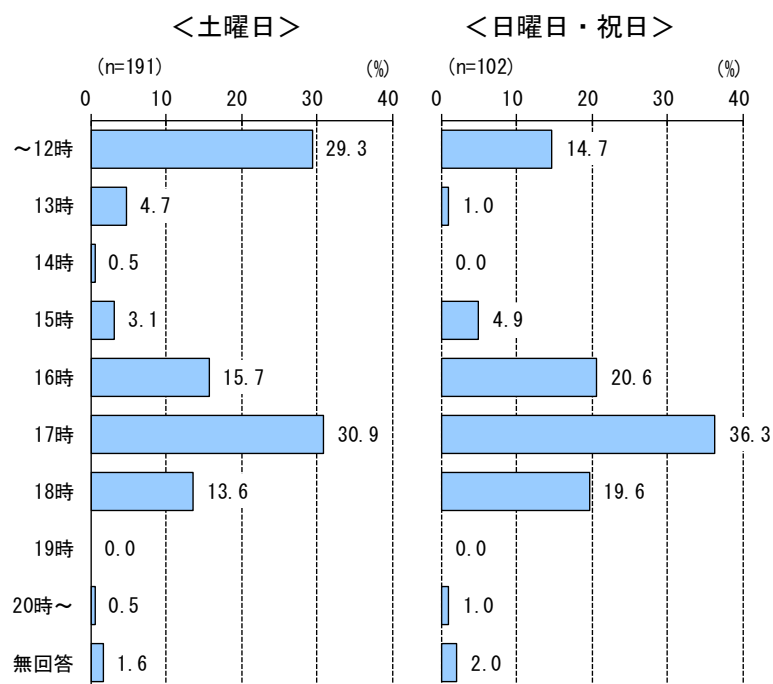
希望利用開始時間は、土曜日、日曜日・祝日ともに「8時」が最も多く、次いで「9時」、「7時」となっている。

希望利用終了時間は、土曜日では「17時」が30.9%と最も多く、次いで「～12時」が29.3%、「16時」が15.7%となっている。日曜日では「17時」が36.3%と最も多く、次いで「16時」が20.6%、「18時」が19.6%となっている。

【図 希望利用開始時間】



【図 希望利用終了時間】



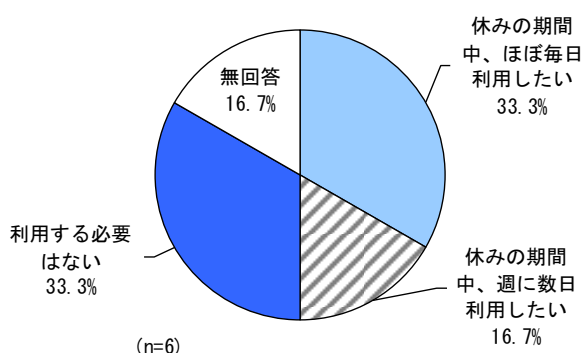
(2) 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

現在、「幼稚園」を利用されている方のみ

問21 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に、定期的な教育・保育事業を利用したいですか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望は、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「利用する必要はない」がそれぞれ 33.3%と最も多く、次いで、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 16.7%となっている。

【図 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望】



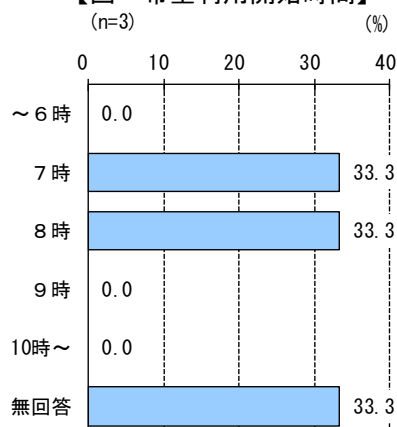
問21で、「1. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」または「2. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方のみ

問21-1 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に、定期的な教育・保育事業を利用したい時間帯をご記入ください。
（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入）

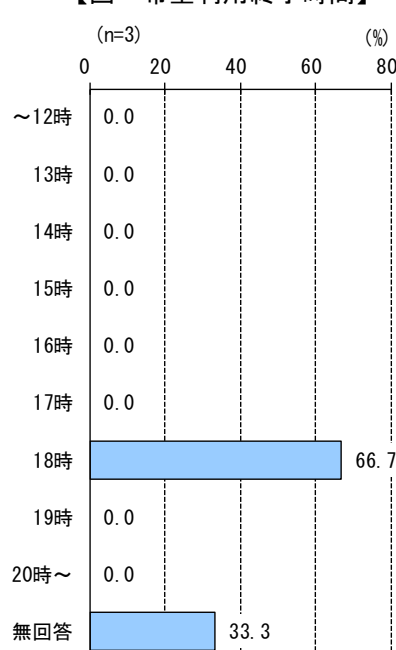
希望利用開始時間は、「7時」「8時」がそれぞれ 33.3%となっている。

希望利用終了時間は、「18時」が 66.7%となっている。

【図 希望利用開始時間】



【図 希望利用終了時間】



7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

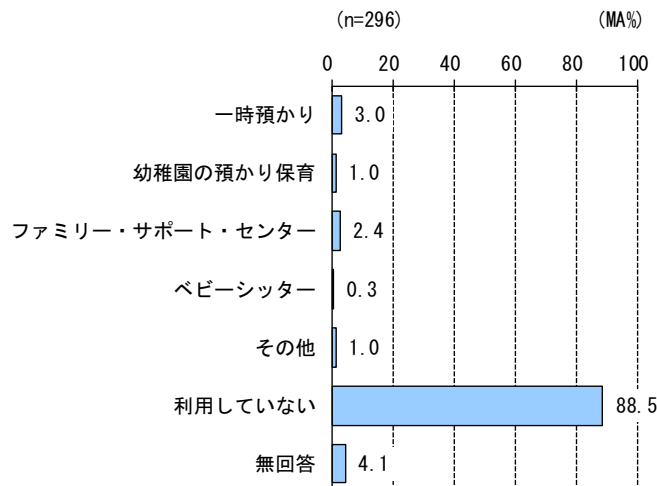
(1) 不定期に利用している教育・保育事業

問22 あて名のお子さんについて、この1年間で、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、①不定期に利用している教育・保育事業と、②利用している日数（年間）をすべてご記入ください。

不定期に利用している教育・保育事業は、「一時預かり」が3.0%と最も多く、次いで「ファミリー・サポート・センター」が2.4%、「幼稚園の預かり保育」が1.0%となっている。

一時預かりの日数は、「1日」「11～20日」「21日以上」がそれぞれ22.2%と最も多く、次いで「3日」「8～10日」がそれぞれ11.1%となっている。幼稚園の預かり保育の日数は、「11～20日」「21日以上」がそれぞれ33.3%となっている。ファミリー・サポート・センターの日数は、「11～20日」「21日以上」がそれぞれ28.6%と最も多く、次いで「3日」「5日」「8～10日」がそれぞれ14.3%となっている。ベビーシッターの日数は、「2日」との回答が1件となっている。

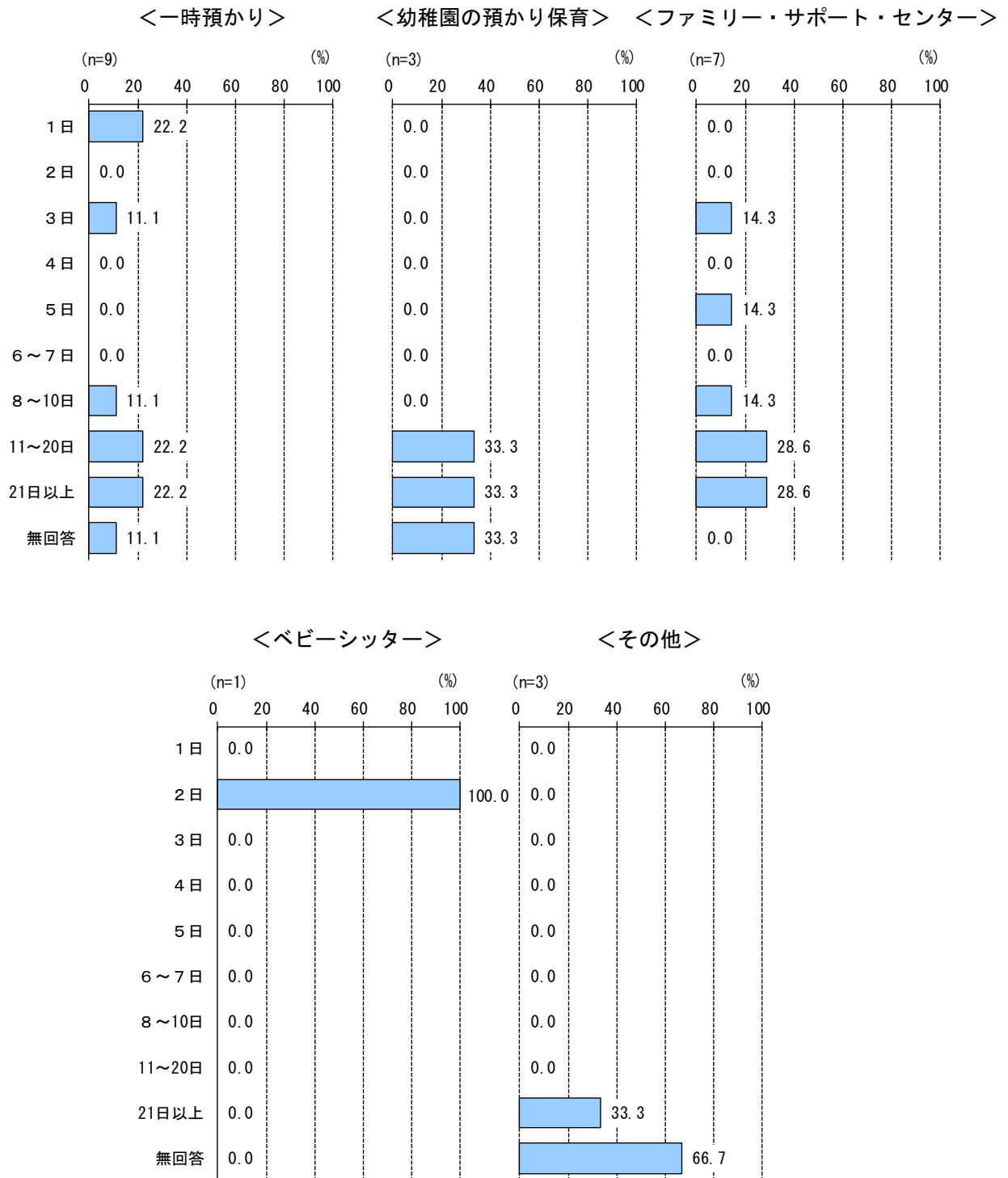
【図 不定期に利用している教育・保育事業】



【その他】

託児所／1歳以下なので、利用したいがまだ利用できない

【図 不定期的に利用している事業の利用日数】

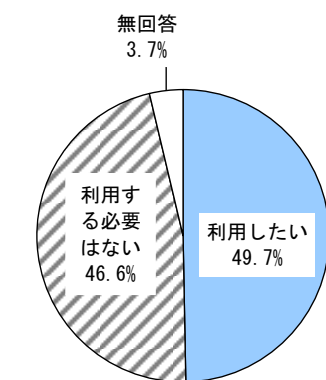


（２）利用したい不定期の教育・保育事業

問23 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、一時的に教育・保育事業を利用したいと思いますか。（あてはまる番号１つに○）

不定期の教育・保育事業の利用希望について、「利用したい」が49.7%、「利用する必要はない」が46.6%となっている。

【図 不定期の教育・保育事業の利用希望】



(n=296)

【表 不定期の教育・保育事業の利用希望】

			利用 したい	利用 する必要 はない	無 回 答
		合計			
全体		296	147	138	11
		100.0	49.7	46.6	3.7
年 齢	0歳	45	26	18	1
		100.0	57.8	40.0	2.2
	1・2歳	92	55	33	4
		100.0	59.8	35.9	4.3
家 庭 類 型	3～5歳	158	66	86	6
		100.0	41.8	54.4	3.8
	ひとり親家庭	25	15	10	—
		100.0	60.0	40.0	—
家 庭 類 型	フルタイム×フルタイム	176	91	81	4
		100.0	51.7	46.0	2.3
	フルタイム×パートタイム	64	26	34	4
		100.0	40.6	53.1	6.3
	フルタイム×専業主婦・夫	15	8	6	1
		100.0	53.3	40.0	6.7
	パートタイム×パートタイム	1	1	—	—
家 庭 類 型		100.0	100.0	—	—
	パートタイム×専業主婦・夫	3	1	2	—
		100.0	33.3	66.7	—
家 庭 類 型	無職×無職	2	1	—	1
		100.0	50.0	—	50.0

問23で、「1. 利用したい」に○をつけた方のみ

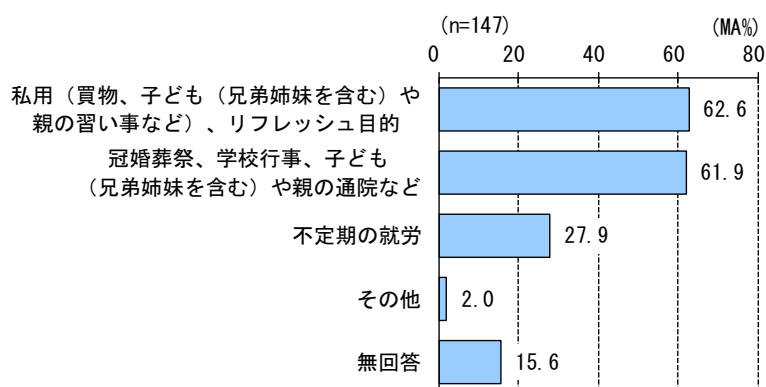
問23-1 ①一時的に教育・保育事業を利用する目的と、②目的別に利用したい日数（年間）をすべてご記入ください。

不定期の教育・保育事業を必要とする目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」が 62.6%と最も多く、次いで、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」が 61.9%、「不定期の就労」が 27.9%となっている。

一時的に教育・保育事業を利用する合計日数は、「21 日以上」が 23.8%と最も多く、次いで、「11～20 日」が 21.1%、「8～10 日」が 12.9%となっている。

私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的の日数は、「5 日」が 19.6%と最も多く、次いで、「8～10 日」「11～20 日」がそれぞれ 16.3%、「21 日以上」が 12.0%となっている。冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院などの日数は、「5 日」が 24.2%と最も多く、次いで、「8～10 日」が 22.0%、「11～20 日」が 13.2%となっている。不定期の就労の日数は、「5 日」が 22.0%、「8～10 日」「21 日以上」がそれぞれ 19.5%、「11～20 日」が 12.2%となっている。

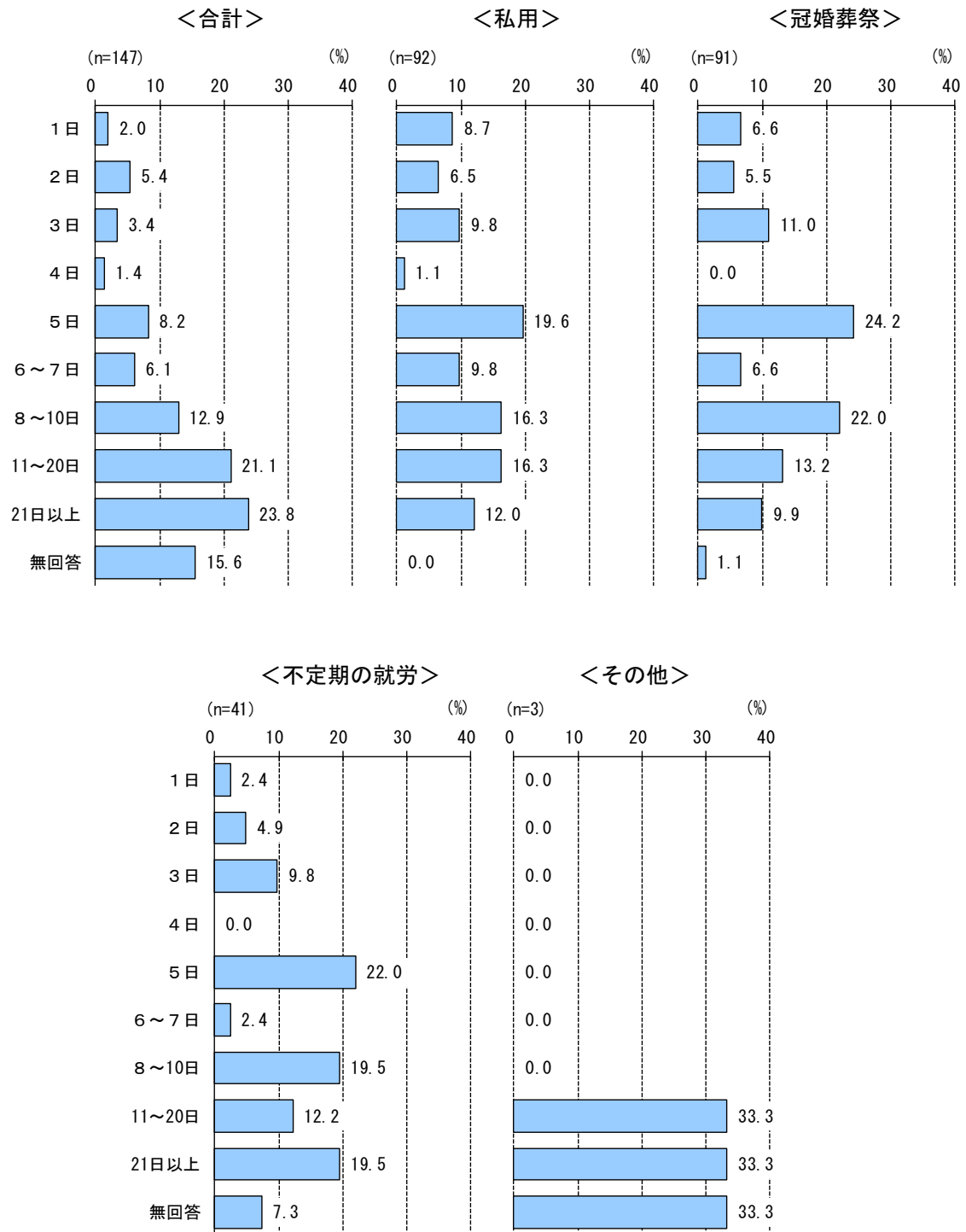
【図 一時的な教育・保育事業を利用する目的】



【その他】

家事／自分の主人の体調不良時

【図 一時的な教育・保育事業を利用する日数】



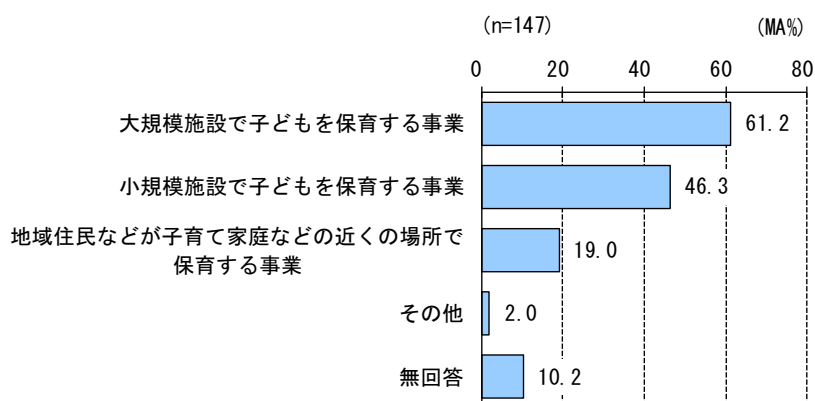
(3) 不定期の教育・保育事業の希望事業形態

問23で、「1. 利用したい」に○をつけた方のみ

問23-2 私用、親の通院、不定期の就労などの目的でお子さんを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまる番号すべてに○)

不定期の教育・保育事業の希望事業形態について、「大規模施設で子どもを保育する事業」が61.2%と最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が46.3%、「地域住民などが子育て家庭などの近くの場所で保育する事業」が19.0%となっている。

【図 不定期の教育・保育事業の希望事業形態】



【その他】

託児所／通園している小規模の保育所。慣れているため。

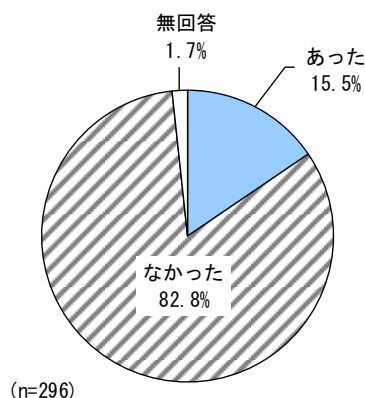
(4) 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったこと

問24 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを家族以外に泊りがけで見てももらわなければならないことはありましたか。（あてはまる番号1つに○）

子どもを泊りがけで家族以外に見てももらわなければならなかったことは、「あった」が 15.5%、「なかった」が 82.8%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「あった」の割合が高くなっている。

【図 子どもを泊りがけで家族以外に見てももらわなければならなかったこと】



【表 子どもを泊りがけで家族以外に見てももらわなければならなかったこと】

			あ っ た	な か っ た	無 回 答
		合計			
全体		296	46	245	5
		100.0	15.5	82.8	1.7
年 齢	0歳	45	3	41	1
		100.0	6.7	91.1	2.2
	1・2歳	92	10	80	2
		100.0	10.9	87.0	2.2
3～5歳		158	32	124	2
		100.0	20.3	78.5	1.3
家 庭 類 型	ひとり親家庭	25	5	20	—
		100.0	20.0	80.0	—
	フルタイム×フルタイム	176	25	148	3
		100.0	14.2	84.1	1.7
	フルタイム×パートタイム	64	11	52	1
		100.0	17.2	81.3	1.6
	フルタイム×専業主婦・夫	15	4	11	—
		100.0	26.7	73.3	—
パートタイム×パートタイム		1	—	1	—
		100.0	—	100.0	—
	パートタイム×専業主婦・夫	3	—	3	—
		100.0	—	100.0	—
無職×無職		2	—	2	—
		100.0	—	100.0	—

問24で、「1. あった」に○をつけた方のみ

問25 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、①家族以外に泊りがけで見てもらわなければならない時の対処法と、②対処した際の泊数（年間）をすべてご記入ください。

家族以外に泊りがけで見てもらわなければならない時の対処法は、「（同居者を含む）親族、友人・知人にみてもらった」が 89.1%と最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が 15.2%、「短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」「短期入所生活援助事業以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッターなど）を利用した」「その他」がそれぞれ 2.2%となっている。

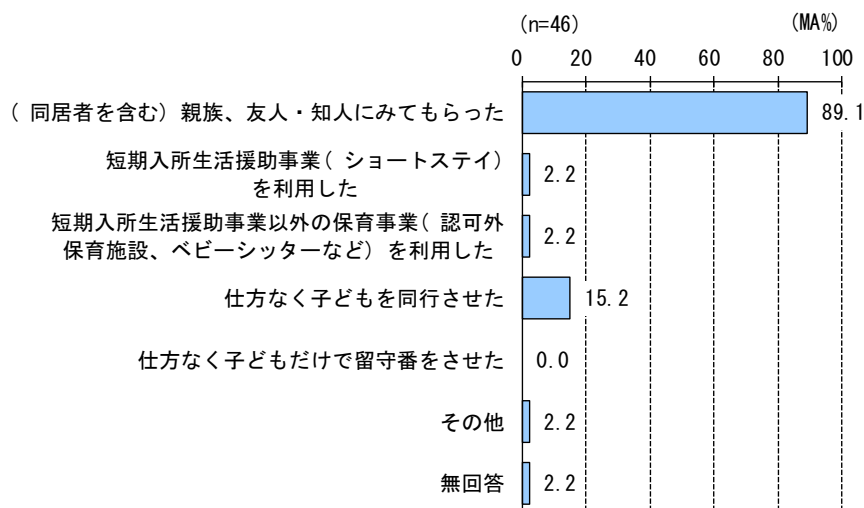
（同居者を含む）親族、友人・知人にみてもらった泊数は、「1泊」が 39.0%と最も多く、次いで、「2泊」が 29.3%、「3泊」が 14.6%となっている。

短期入所生活援助事業を利用した泊数は、「8～10泊」との回答が1件となっている。

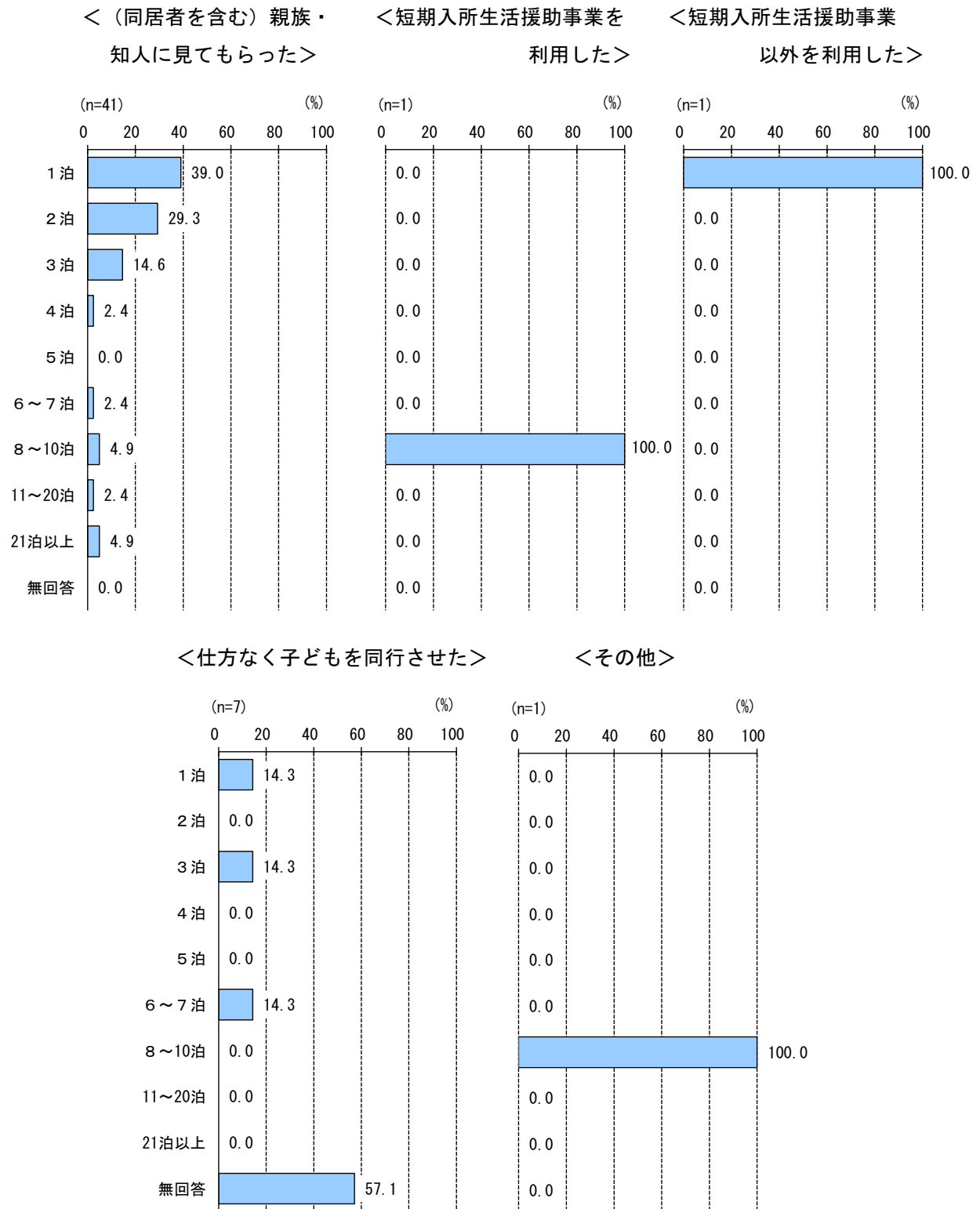
短期入所生活援助事業以外を利用した泊数は、「1泊」との回答が1件となっている。

仕方なく子どもを同行させた泊数は、「1泊」「3泊」「6～7泊」がそれぞれ 14.3%となっている。

【図 家族以外に泊りがけで見てもらわなければならない時の対処法】



【図 対処した際の泊数（年間）】



【その他】

町外の祖父母宅（高知市）

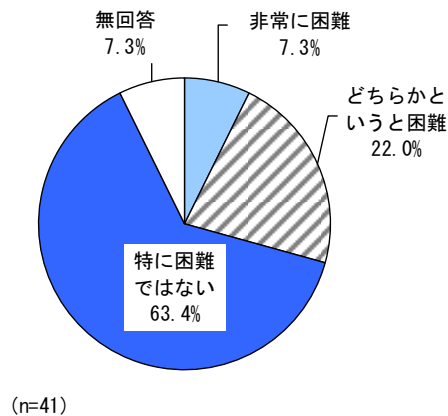
（５）親族、友人・知人に見てもらおう場合の泊りがけを伴う一時的な預かりの困難度

問25で、「１．（同居者を含む）親族、友人・知人に見てもらった」に○をつけた方のみ

問25-1 親族、友人・知人に見てもらおう場合の困難度はどの程度でしたか。（あてはまる番号１つに○）

親族、友人・知人に子どもを見てもらう場合の困難度について、「特に困難ではない」が63.4%と最も多く、次いで「どちらかという困難」が22.0%、「非常に困難」が7.3%となっている。

【図 親族、友人・知人に見てもらおう場合の困難度】

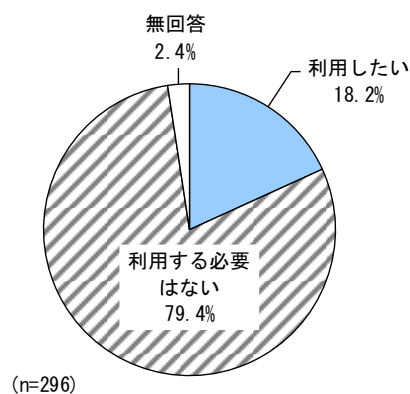


（６）短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望

問26 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを家族以外に泊りがけで見てもらう必要がある時に、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したいですか。（あてはまる番号１つに○）

短期入所生活援助事業の利用希望について、「利用したい」が18.2%、「利用する必要はない」が79.4%となっている。

【図 短期入所生活援助事業の利用希望】



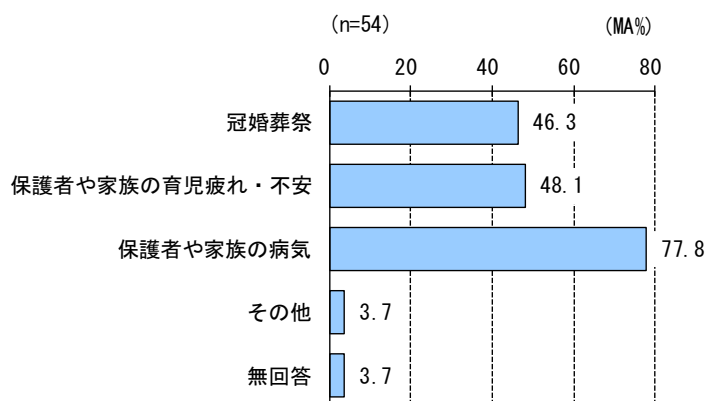
問26で、「1. 利用したい」に○をつけた方のみ

問26-1 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、①短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的と、②目的別に利用したい泊数（年間）をすべてご記入ください。

短期入所生活援助事業の利用目的は、「保護者や家族の病気」が 77.8%と最も多く、次いで、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 48.1%、「冠婚葬祭」が 46.3%となっている。

冠婚葬祭の泊数は、「1泊」が 60.0%と最も多く、次いで、「2泊」が 12.0%、「3泊」「5泊」がそれぞれ 8.0%となっている。保護者や家族の育児疲れ・不安の泊数は、「1泊」が 34.6%と最も多く、次いで、「3泊」が 23.1%、「2泊」が 19.2%となっている。保護者や家族の病気の泊数は、「1泊」が 38.1%と最も多く、「2泊」「3泊」がそれぞれ 14.3%となっている。

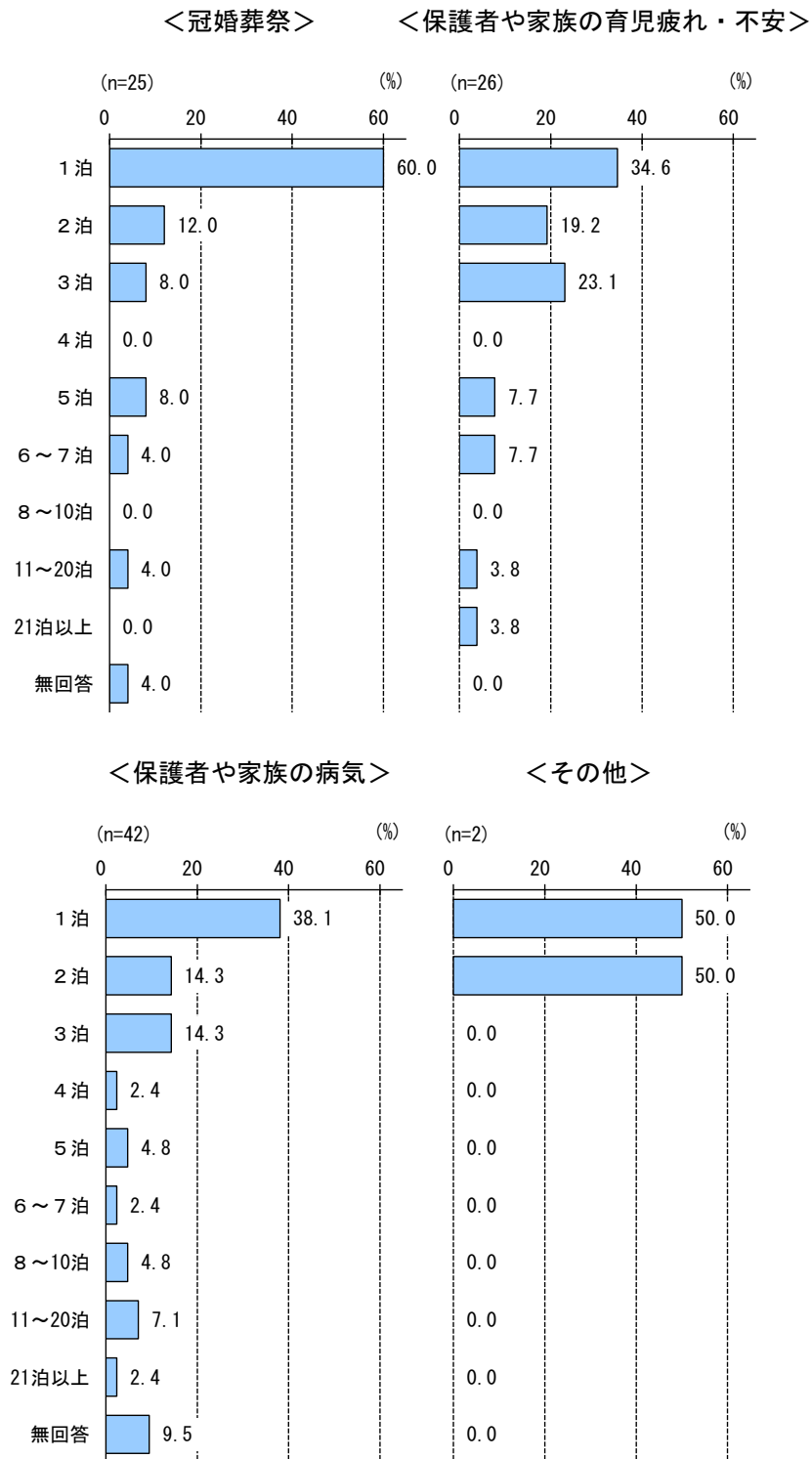
【図 短期入所生活援助事業利用目的】



【その他】

仕事

【図 短期入所生活援助事業の目的別利用泊数】



8. 地域子育て支援拠点事業の利用状況について

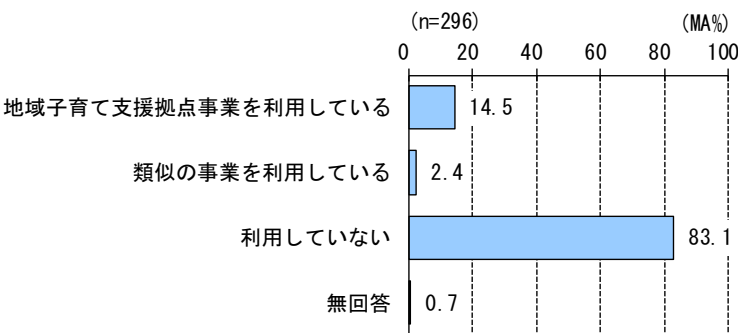
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問27 あて名のお子さんは、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。
(あてはまる番号すべてに○)

地域子育て支援拠点事業の利用状況について、「利用していない」が 83.1%と最も多く、次いで「地域子育て支援拠点事業を利用している」が 14.5%、「類似の事業を利用している」が 2.4%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「利用していない」の割合が高くなっている。

【図 地域子育て支援拠点事業の利用状況】



【その他】

町立図書館読み聞かせ／育つ会とおわ（旧小鳩保育所）／とおわ育つ会、旧の小鳩での図書、公園

【表 地域子育て支援拠点事業の利用状況】

			業地 域子 育て て支 援拠 点事	い類 る似 の事 業を 利用 して	利用 してい ない	無回 答
		合計				
全体		296	43	7	246	2
上段/実数		100.0	14.5	2.4	83.1	0.7
下段/%						
年 齢	0 歳	45	26	1	18	1
		100.0	57.8	2.2	40.0	2.2
	1・2 歳	92	13	2	77	-
		100.0	14.1	2.2	83.7	-
	3～5 歳	158	4	4	150	1
		100.0	2.5	2.5	94.9	0.6
居 住 地 区	仁井田小学校区	10	1	-	9	-
		100.0	10.0	-	90.0	-
	影野小学校区	16	2	-	14	-
		100.0	12.5	-	87.5	-
	七里小学校区	16	-	1	15	-
		100.0	-	6.3	93.8	-
	米奥小学校区	9	2	-	7	-
		100.0	22.2	-	77.8	-
	窪川小学校区	128	22	1	105	1
		100.0	17.2	0.8	82.0	0.8
	川口小学校区	9	1	-	8	-
		100.0	11.1	-	88.9	-
	東又小学校区	34	3	1	29	1
		100.0	8.8	2.9	85.3	2.9
	興津小学校区	9	1	-	8	-
		100.0	11.1	-	88.9	-
	田野々小学校区	21	4	1	16	-
		100.0	19.0	4.8	76.2	-
	北ノ川小学校区	12	1	-	11	-
		100.0	8.3	-	91.7	-
	十川小学校区	20	4	3	14	-
		100.0	20.0	15.0	70.0	-
	昭和小学校区	6	1	-	5	-
		100.0	16.7	-	83.3	-

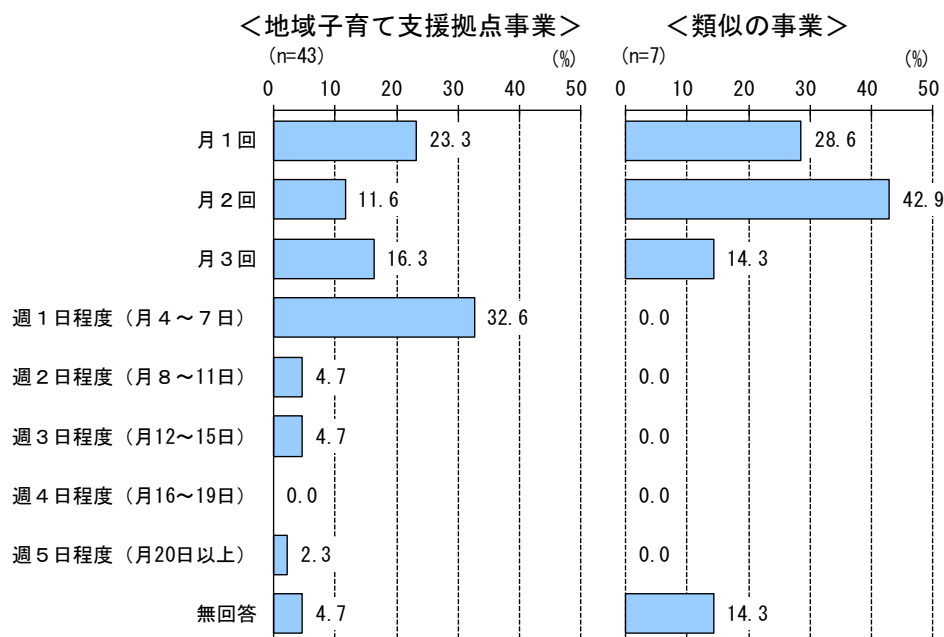
問27で、「1. 地域子育て支援拠点事業を利用している」または「2. 類似の事業を利用している」に○をつけた方のみ

問27-1 地域子育て支援拠点事業や類似の事業のおおよその利用回数（頻度）をご記入ください。
（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字）

地域子育て支援拠点事業の利用回数について、「週1日程度（月4～7日）」が32.6%と最も多く、次いで「月1回」が23.3%、「月3回」が16.3%となっている。

類似の事業の利用回数について、「月2回」が42.9%と最も多く、次いで「月1回」が28.6%、「月3回」が14.3%となっている。

【図 地域子育て支援センターの利用回数】

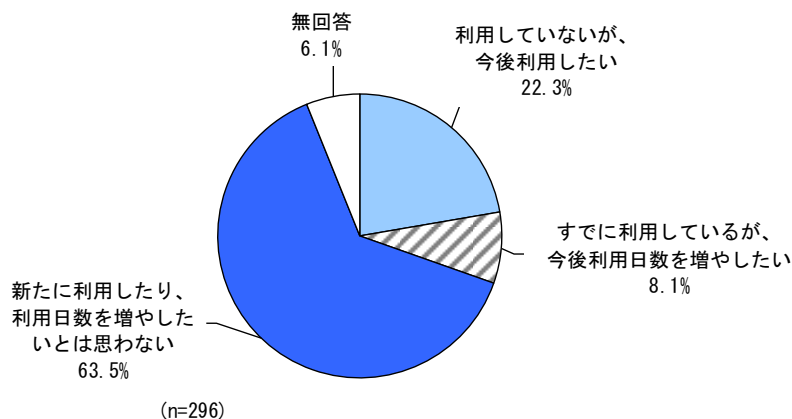


（2）地域子育て支援拠点事業の利用希望

問28 地域子育て支援拠点事業や類似の事業について、今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。（あてはまる番号1つに○）

地域子育て支援拠点事業や類似の事業の利用希望について、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が63.5%と最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が22.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が8.1%となっている。

【図 地域子育て支援拠点事業等の利用希望】



問28で、「1. 利用していないが、今後利用したい」に○をつけた方のみ

問28-1 地域子育て支援拠点事業や類似の事業のおおよその利用希望回数（頻度）をご記入ください。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字）

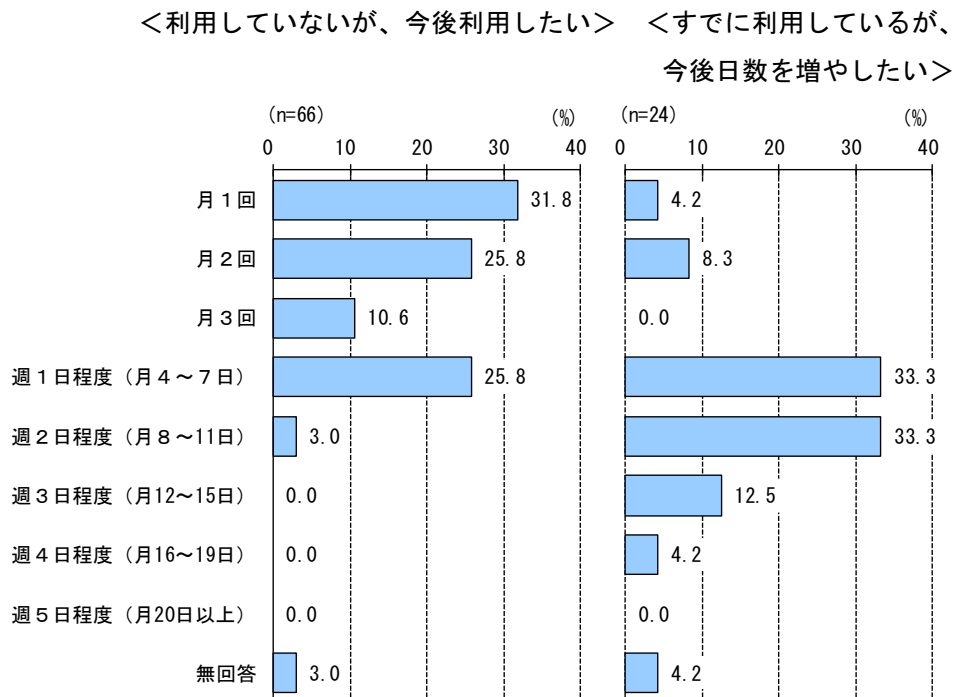
問28で、「2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」に○をつけた方のみ

問28-2 地域子育て支援拠点事業や類似の事業を更にどの程度利用したいか、おおよその利用希望回数（頻度）をご記入ください。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字）

地域子育て支援拠点事業や類似の事業の利用希望回数について、「利用していないが、今後利用したい」と回答した人の利用希望回数は、「月1回」が31.8%と最も多く、次いで「月2回」「週1日程度（月4～7日）」がそれぞれ25.8%、「月3回」が10.6%となっている。

「すでに利用しているが、今後日数を増やしたい」と回答した人の利用希望回数は、「週1日程度（月4～7日）」「週2日程度（月8～11日）」がそれぞれ33.3%、「週3日程度（月12～15日）」が12.5%となっている。

【図 地域子育て支援拠点事業等の利用希望回数】



（３）子育て支援事業の認知度

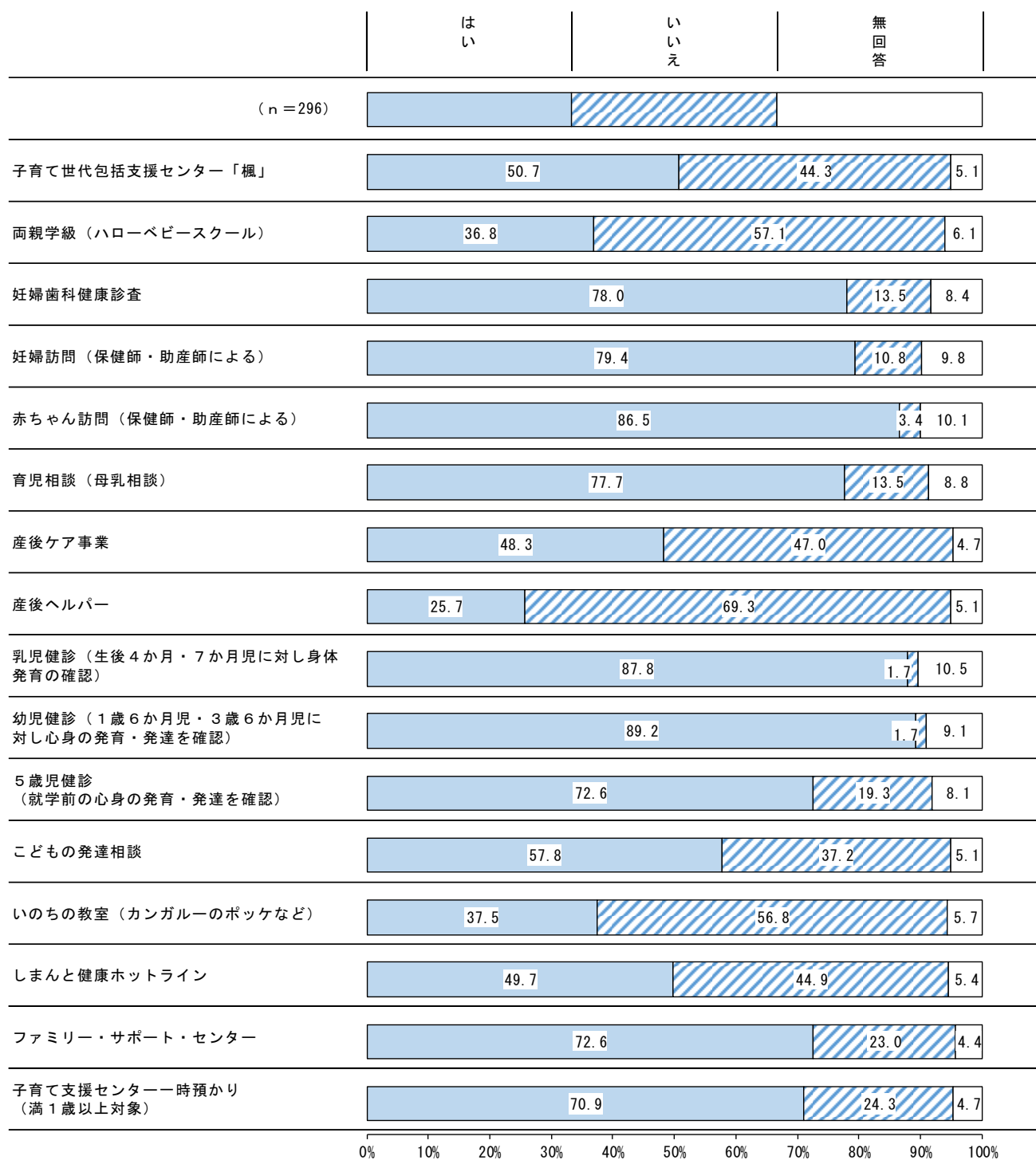
問29 以下の事業について、「A. 知っている」、「B. 利用したことがある」、「C. 今後、利用したい」ものをすべてご記入ください。（A～Cそれぞれ、あてはまるもの1つに○）
なお、事業によってはお住いの地域で実施されていないものもあります。

子育て支援事業の認知度について、「幼児健診（1歳6か月児・3歳6か月児に対し心身の発育・発達を確認）」が89.2%と最も多く、次いで「乳児健診（生後4か月・7か月児に対し身体発育の確認）」が87.8%、「赤ちゃん訪問（保健師・助産師による）」が86.5%となっている。

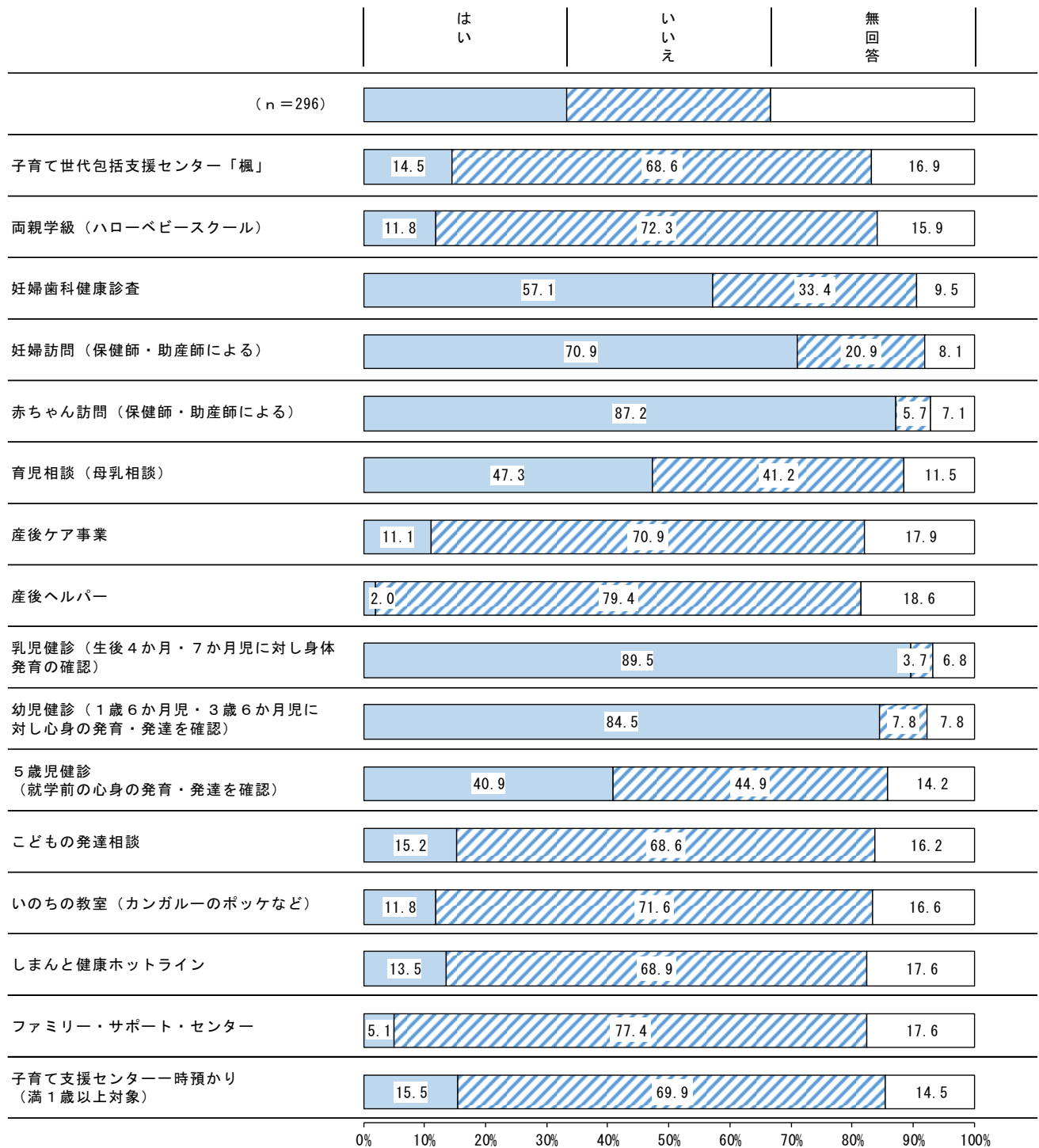
子育て支援事業の利用経験について、「乳児健診（生後4か月・7か月児に対し身体発育の確認）」が89.5%と最も多く、次いで「赤ちゃん訪問（保健師・助産師による）」が87.2%、「幼児健診（1歳6か月児・3歳6か月児に対し心身の発育・発達を確認）」が84.5%となっている。

子育て支援事業の今後の利用意向について、「5歳児健診（就学前の心身の発育・発達を確認）」が67.9%と最も多く、次いで「幼児健診（1歳6か月児・3歳6か月児に対し心身の発育・発達を確認）」が61.5%、「乳児健診（生後4か月・7か月児に対し身体発育の確認）」が57.4%となっている。

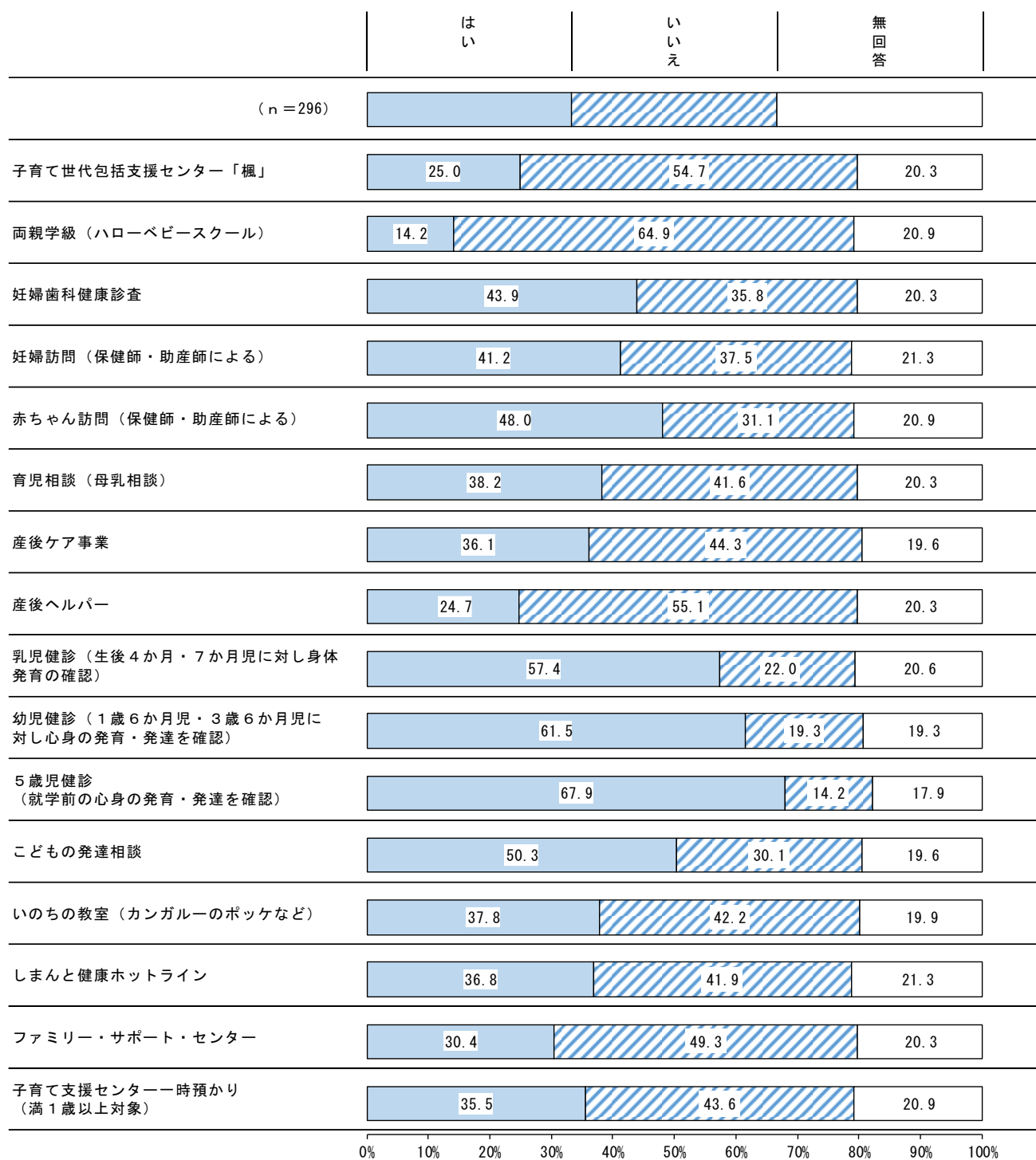
【図 子育て支援事業の認知度：知っている】



【図 事業の利用経験：：利用したことがある】



【図 今後の利用意向：利用したい】



9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について（子どもが5歳以上の方のみ）

（1）小学校就学後の放課後の過ごし方の希望

問30 あて名のお子さんについて、（1）小学校低学年（1～3年生）、（2）小学校高学年（4～6年生）の時に、①放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所と、②利用したい日数（週あたり）をすべてご記入ください。

小学校就学後に放課後を過ごさせたい場所について、全体では「放課後児童クラブ」が46.1%と最も多く、次いで「自宅」が42.1%、「放課後子ども教室」が34.2%となっている。

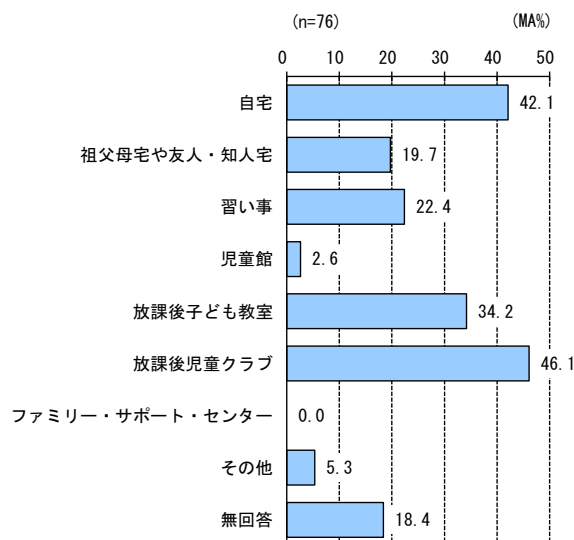
低学年では「放課後児童クラブ」が50.0%と最も多く、次いで「放課後こども教室」が38.2%、「自宅」が23.7%となっている。

高学年では「放課後児童クラブ」が28.9%と最も多く、次いで「自宅」が26.3%、「放課後子ども教室」が25.0%となっている。

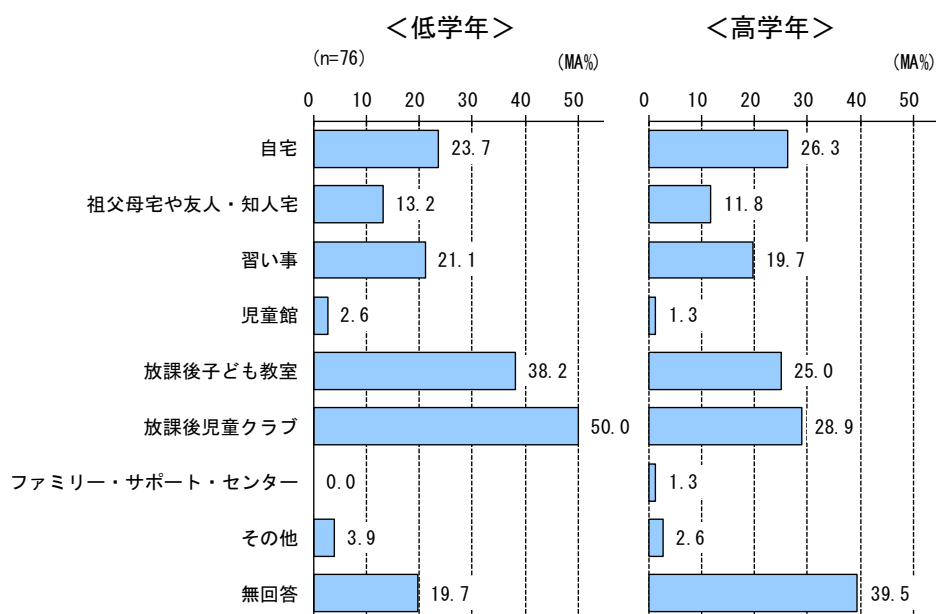
放課後の過ごし方の日数（低学年）について、自宅は「週5日」が44.4%と最も多く、次いで、「週2日」「週3日」がそれぞれ16.7%、「週1日」「週4日」がそれぞれ11.1%となっている。祖父母宅や友人・知人宅は、「週5日」が40.0%と最も多く、次いで、「週3日」が30.0%、「週2日」が20.0%となっている。習い事は「週1日」が43.8%と最も多く、次いで、「週2日」が37.5%、「週3日」が12.5%となっている。児童館は「週2日」が100.0%となっている。放課後子ども教室は「週5日」が62.1%と最も多く、次いで、「週3日」が13.8%、「週2日」が10.3%となっている。放課後児童クラブは「週5日」が68.4%と最も多く、次いで、「週3日」が13.2%、「週2日」「週4日」がそれぞれ5.3%となっている。

放課後の過ごし方（高学年）について、自宅は「週5日」が65.0%と最も多く、次いで、「週1日」が15.0%、「週2日」「週3日」がそれぞれ10.0%となっている。祖父母宅や友人・知人宅は「週5日」が55.6%と最も多く、次いで、「週2日」が22.2%、「週1日」「週3日」がそれぞれ11.1%となっている。習い事は「週2日」が53.3%と最も多く、次いで、「週1日」「週3日」がそれぞれ20.0%、「週5日」が6.7%となっている。児童館は「週5日」との回答が1件となっている。放課後子ども教室は「週5日」が63.2%と最も多く、次いで「週3日」が15.8%、「週2日」が10.5%となっている。放課後児童クラブは「週5日」が63.6%と最も多く、次いで、「週2日」が13.6%、「週3日」が9.1%となっている。ファミリー・サポート・センターは「週2日」との回答が1件となっている。

【図 放課後を過ごさせたい場所（全体）】



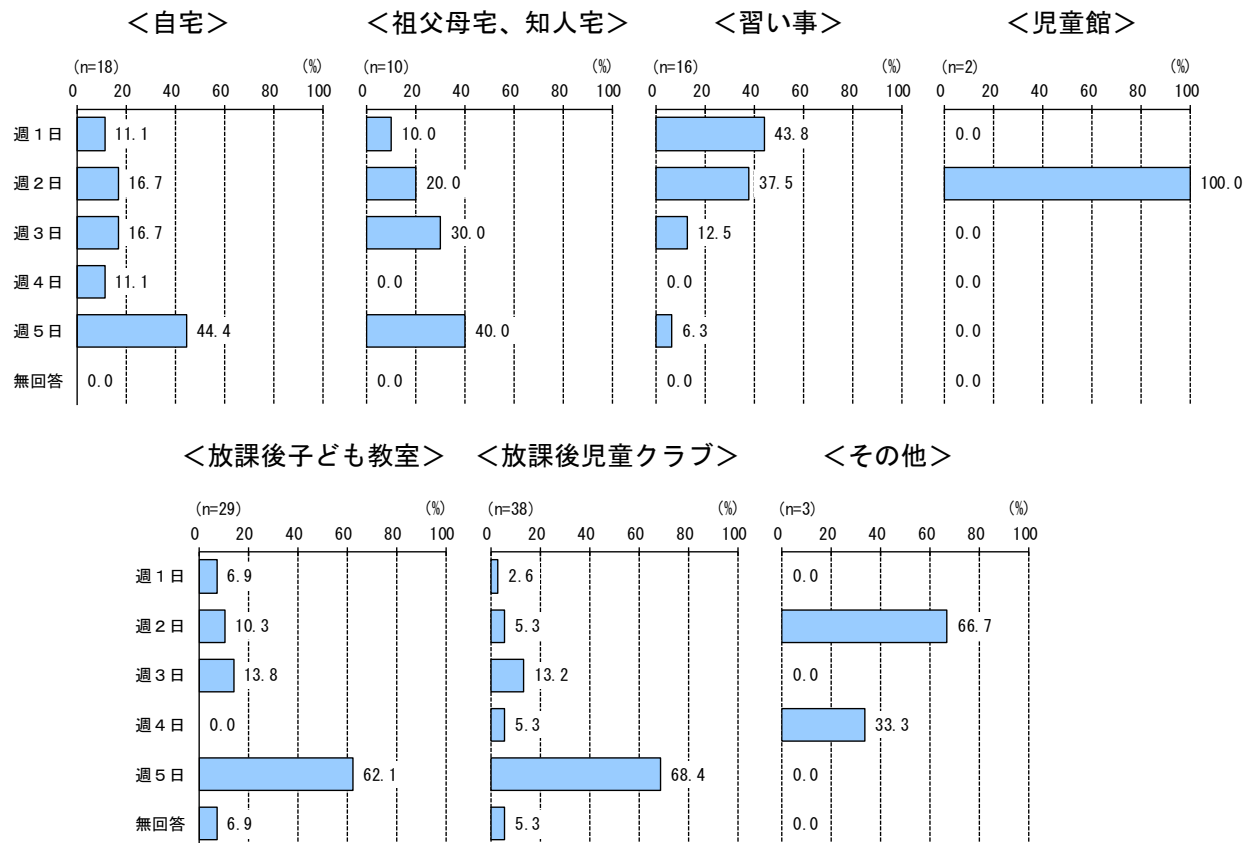
【図 放課後を過ごさせたい場所】



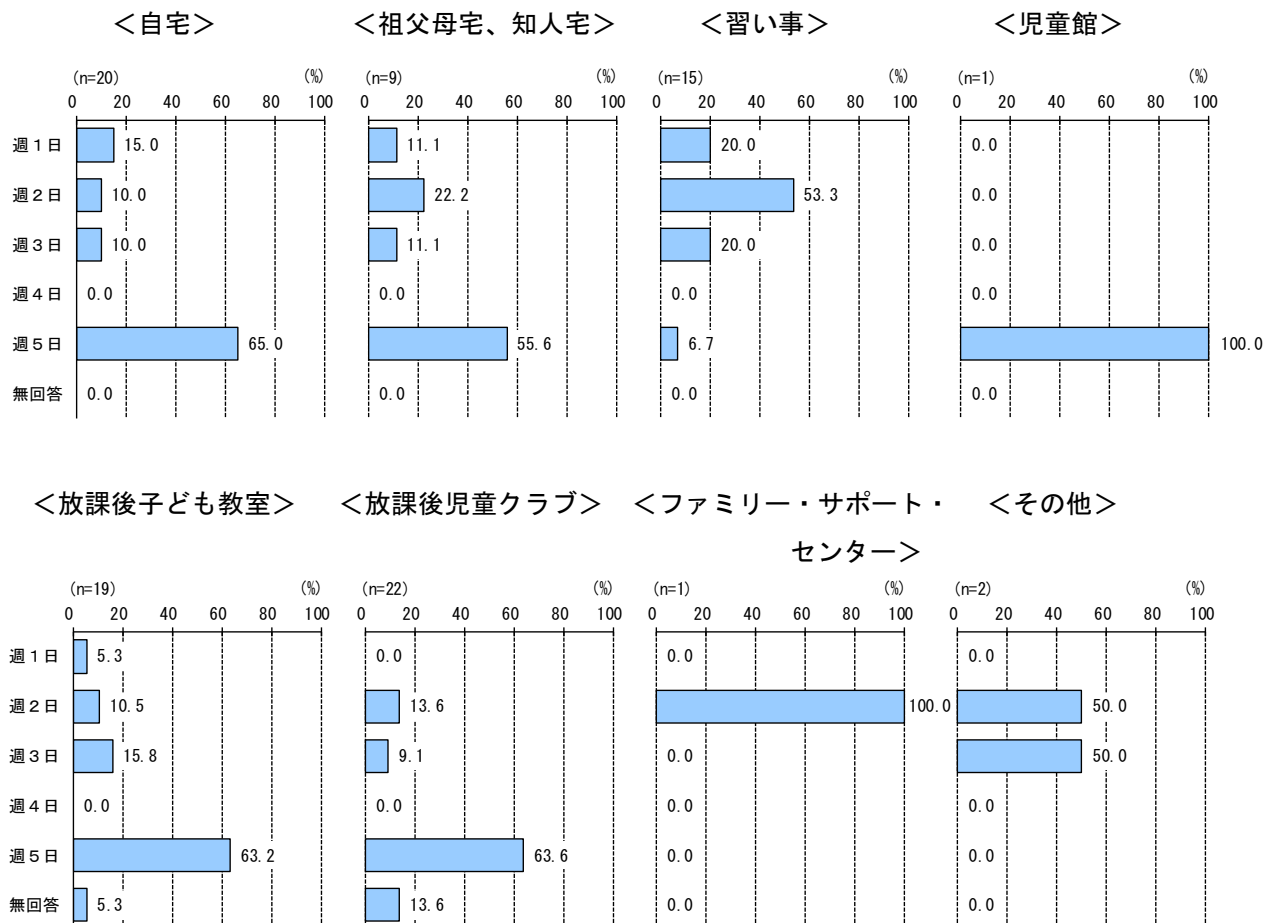
【表 放課後を過ごさせたい場所】

			自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	児童館	放課後子ども教室	放課後児童クラブ	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
低学年	全体	上段/実数 下段/MA%	76 100.0	18 23.7	10 13.2	16 21.1	2 2.6	29 38.2	38 50.0	- 3.9	15 19.7
	家庭類型	ひとり親家庭	9 100.0	3 33.3	1 11.1	3 33.3	- 66.7	7 77.8	- -	- -	1 11.1
		フルタイム×フルタイム	43 100.0	10 23.3	6 14.0	7 16.3	1 2.3	8 18.6	20 46.5	1 2.3	10 23.3
		フルタイム×パートタイム	20 100.0	4 20.0	3 15.0	5 25.0	- 70.0	8 40.0	- -	2 10.0	3 15.0
		フルタイム×専業主婦・夫	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -
		パートタイム×パートタイム	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
		パートタイム×専業主婦・夫	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
		無職×無職	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
			- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
高学年	全体	上段/実数 下段/%	76 100.0	20 26.3	9 11.8	15 19.7	1 1.3	19 25.0	22 28.9	1 1.3	30 39.5
	家庭類型	ひとり親家庭	9 100.0	2 22.2	1 11.1	3 33.3	- 44.4	4 55.6	- -	- -	3 33.3
		フルタイム×フルタイム	43 100.0	12 27.9	6 14.0	7 16.3	1 2.3	7 16.3	11 25.6	1 2.3	17 39.5
		フルタイム×パートタイム	20 100.0	6 30.0	2 10.0	5 25.0	- 40.0	5 25.0	1 5.0	1 5.0	7 35.0
		フルタイム×専業主婦・夫	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -
		パートタイム×パートタイム	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
		パートタイム×専業主婦・夫	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
		無職×無職	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
			- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

【図 週あたりの利用回数（低学年）】



【図 週あたりの利用回数（高学年）】



(2) 放課後子ども教室の利用希望

問30で、「5. 放課後子ども教室」に○をつけた方のみ

問30-1 放課後こども教室を利用したい時間帯をご記入ください。

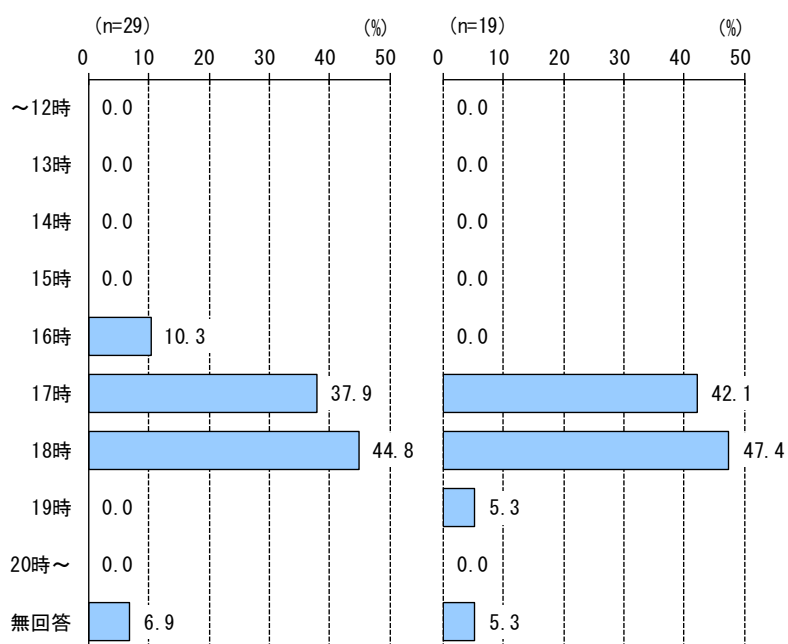
(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

放課後こども教室の希望利用時間は、低学年では「18 時」が 44.8%と最も多く、次いで「17 時」が 37.9%、「16 時」が 10.3%となっている。高学年では「18 時」が 47.4%と最も多く、次いで「17 時」が 42.1%、「19 時」が 5.3%となっている。

【図 放課後こども教室の希望利用時間】

<低学年>

<高学年>



(3) 放課後児童クラブの利用希望

問30で、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方のみ

問30-2 放課後児童クラブを利用したい時間帯をご記入ください。

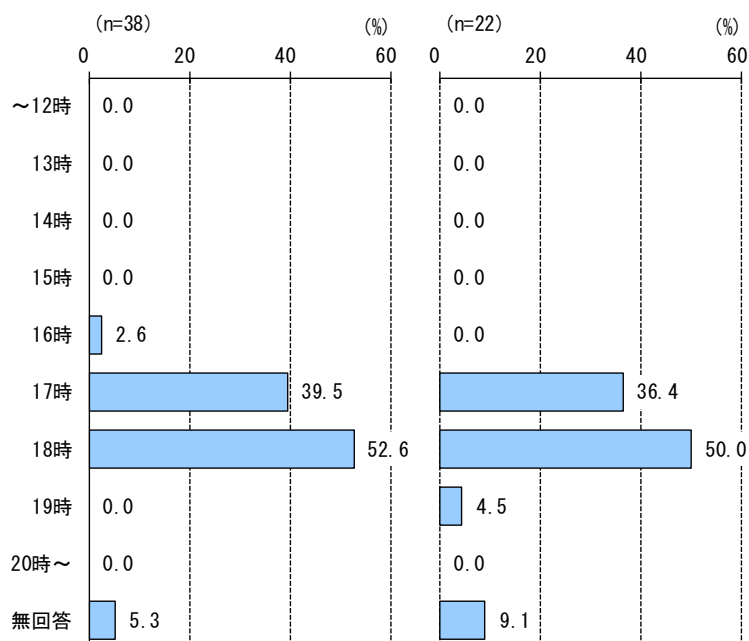
（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入）

放課後児童クラブ（学童保育）の希望利用時間は、低学年では「18時」が52.6%と最も多く、次いで「17時」が39.5%、「16時」が2.6%となっている。高学年では「18時」が50.0%と最も多く、次いで「17時」が36.4%、「19時」が4.5%となっている。

【図 放課後児童クラブの希望利用時間】

<低学年>

<高学年>

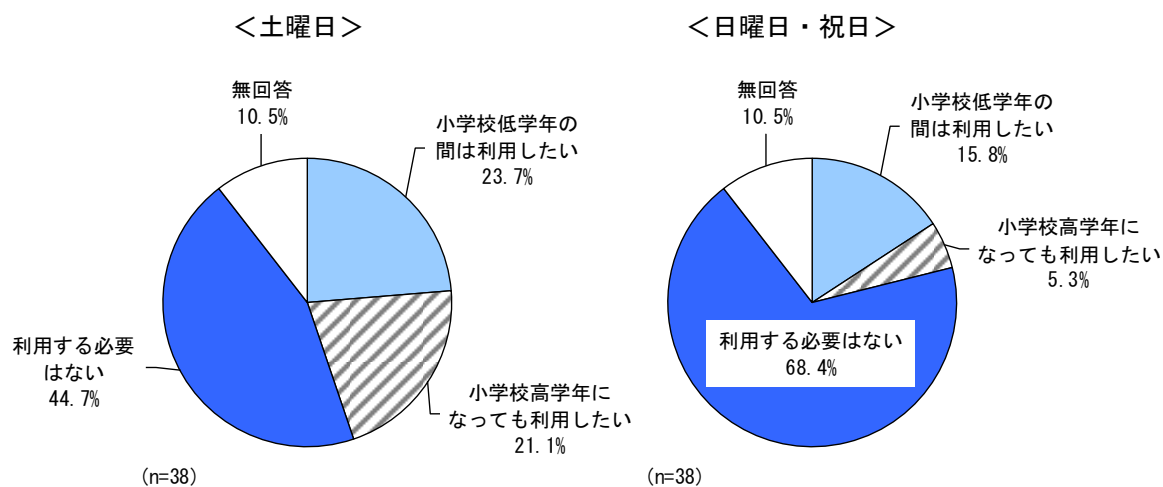


問30で、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方のみ

問31 あて名のお子さんについて、（1）土曜日、（2）日曜日・祝日に、放課後児童クラブを利用したいですか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望について、土曜日では「利用する必要はない」が44.7%と最も多く、次いで「小学校低学年の間は利用したい」が23.7%、「小学校高学年になっても利用したい」が21.1%となっている。日曜日・祝日では「利用する必要はない」が68.4%と最も多く、次いで「小学校低学年の間は利用したい」が15.8%、「小学校高学年になっても利用したい」が5.3%となっている。

【図 放課後児童クラブの利用希望】



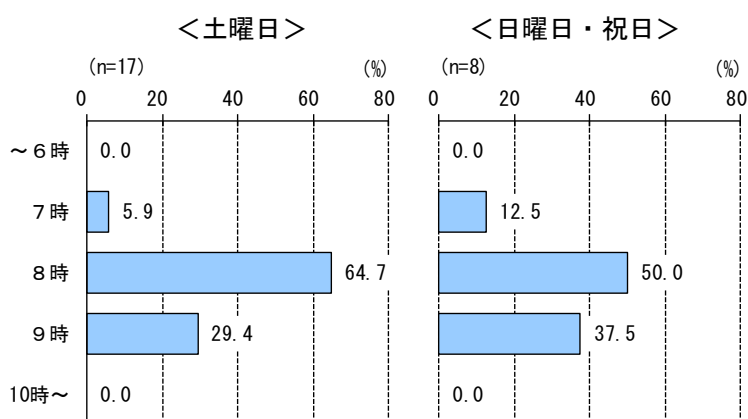
問31で、「1. 小学校低学年の間は利用したい」または「2. 小学校高学年になっても利用したい」に○をつけた方のみ

問31-1 (1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日に、放課後児童クラブを利用したい時間帯をご記入ください。

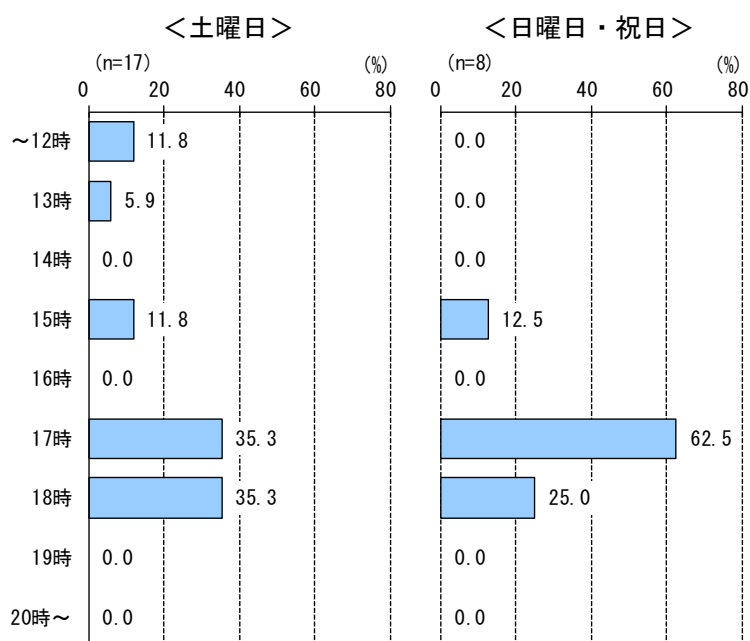
(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

放課後児童クラブの希望利用開始時間は、土曜日、日曜日・祝日ともに「8時」が最も多く、次いで「9時」、「7時」となっている。希望利用終了時間は、土曜日では「17時」「18時」がそれぞれ35.3%と最も多く、次いで「～12時」「15時」がそれぞれ11.8%、「13時」が5.9%となっている。日曜日・祝日では「17時」が62.5%と最も多く、次いで「18時」が25.0%、「15時」が12.5%となっている。

【図 放課後児童クラブの希望利用開始時間】



【図 放課後児童クラブの希望利用終了時間】

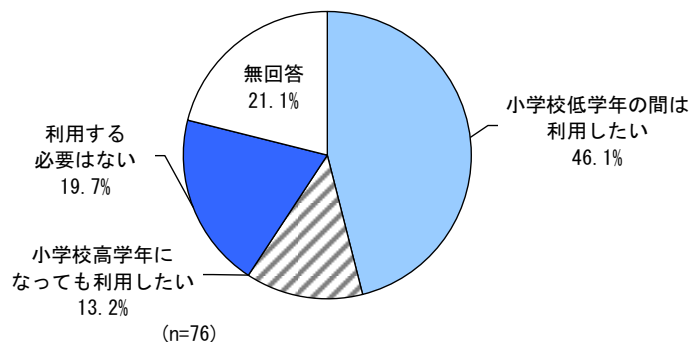


(4) 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

問32 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後児童クラブを利用したいですか。(あてはまる番号1つに○)

長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望について、「小学校低学年の間は利用したい」が46.1%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が19.7%、「小学校高学年になっても利用したい」が13.2%となっている。

【図 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望】



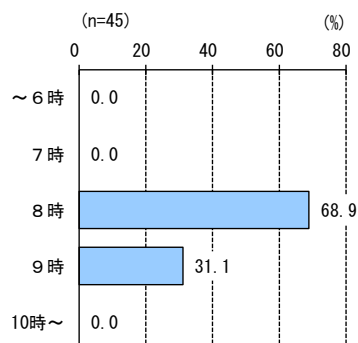
問32で、「1. 小学校低学年の間は利用したい」または「2. 小学校高学年になっても利用したい」に○をつけた方のみ

問32-1 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後児童クラブを利用したい時間帯をご記入ください。

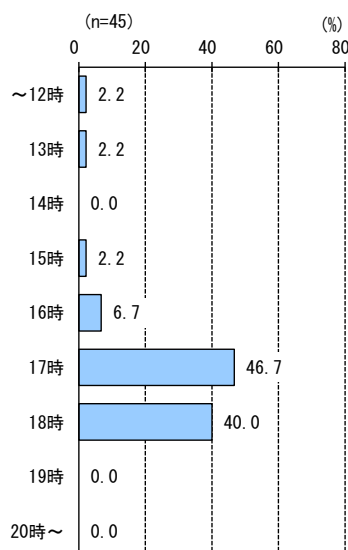
(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

長期休暇期間中の放課後児童クラブの希望利用開始時間は、「8時」が68.9%と最も多く、次いで「9時」が31.1%となっている。希望利用終了時間は、「17時」が46.7%と最も多く、次いで「18時」が40.0%、「16時」が6.7%となっている。

【図 利用開始時間】



【図 利用終了時間】



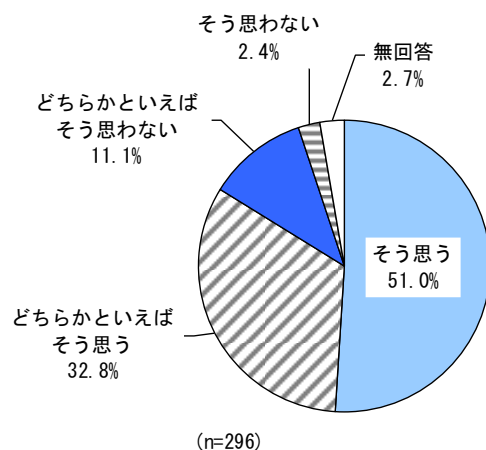
10. 子育て全般について

(1) お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度

問33 今後もお住いの地域で子育てをしていきたいですか。(あてはまる番号1つに○)

今後も四万十町で子育てをしていきたいかについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』が 83.8%と約8割を占めており、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『思わない』が 13.5%となっている。

【図 今後も四万十町で子育てをしていきたいか】

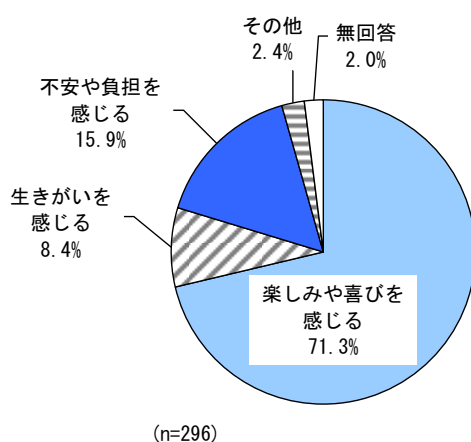


(2) 子育てについて感じること

問34 あなたが子育てについて感じることで、最もあてはまることは何ですか。(あてはまる番号1つに○)

子育てについて感じることにについて、「楽しみや喜びを感じる」が 71.3%と最も多く、次いで「不安や負担を感じる」が 15.9%、「生きがいを感じる」が 8.4%となっている。

【図 子育てについて感じること】



【その他】

楽しみ・喜び・生きがい・不安・負担全部感じる／自宅がある／余裕がない

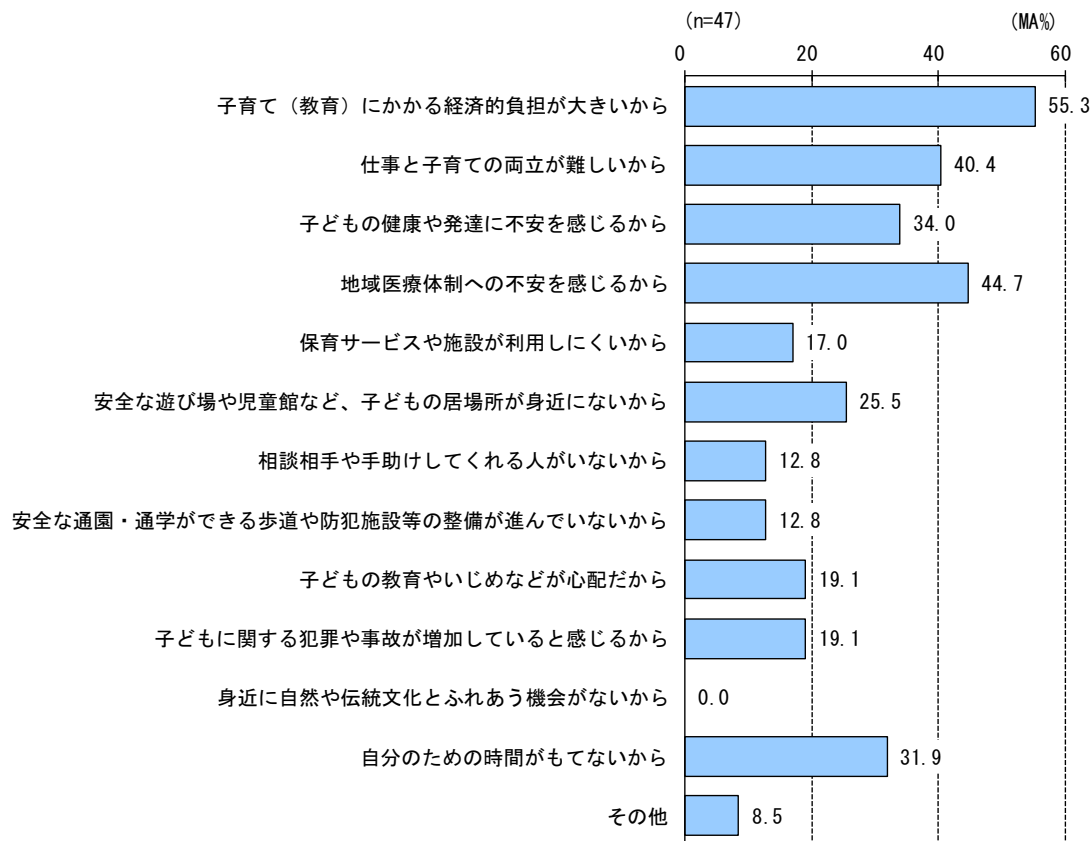
(3) 子育てについて不安や負担に感じること

問34で、「3. 不安や負担を感じる」に○をつけた方のみ

問34-1 どのような理由で不安や負担を感じますか。（あてはまる番号すべてに○）

子育てについて不安や負担に感じることにについて、「子育て（教育）にかかる経済的負担が大きいから」が 55.3%と最も多く、次いで「地域医療体制への不安を感じるから」が 44.7%、「仕事と子育ての両立が難しいから」が 40.4%となっている。

【図 不安や負担に感じること】



【その他】

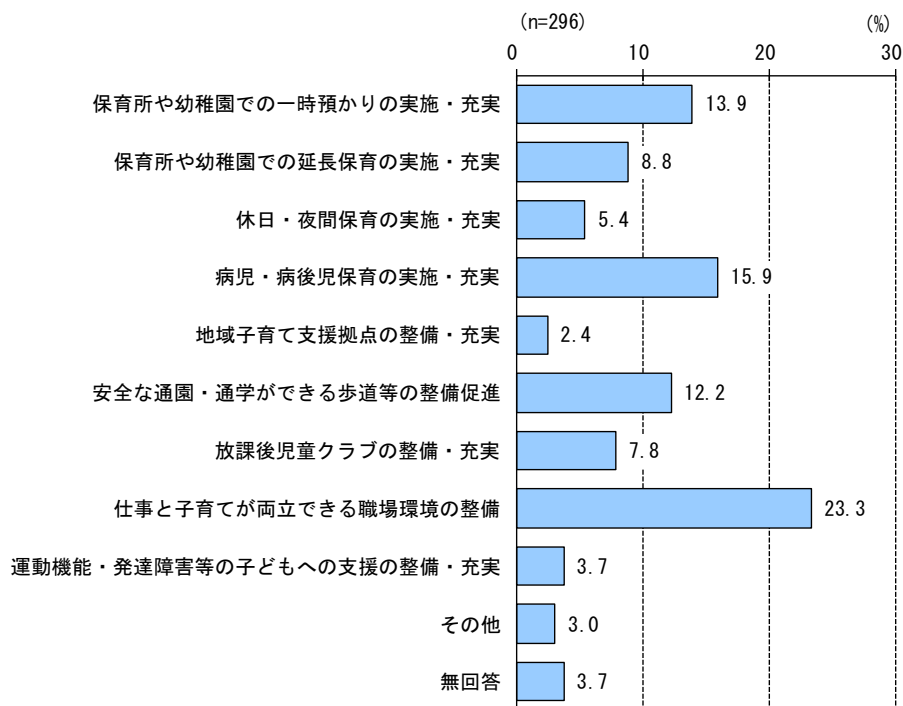
子どもの数が少ない／文化的施設をつくってほしかった／経済的負担／仕事を辞めなければならない
／寝てくれずイライラしてしまう時があるから

(4) 子育て支援策について

問35 最も望んでいる子育て支援策はどれですか。(あてはまる番号1つに○)

最も望んでいる子育て支援策について、「仕事と子育てが両立できる職場環境の整備」が23.3%と最も多く、次いで「病児・病後児保育の実施・充実」が15.9%、「保育所や幼稚園での一時預かりの実施・充実」が13.9%となっている。

【図 最も望んでいる子育て支援策】



【その他】

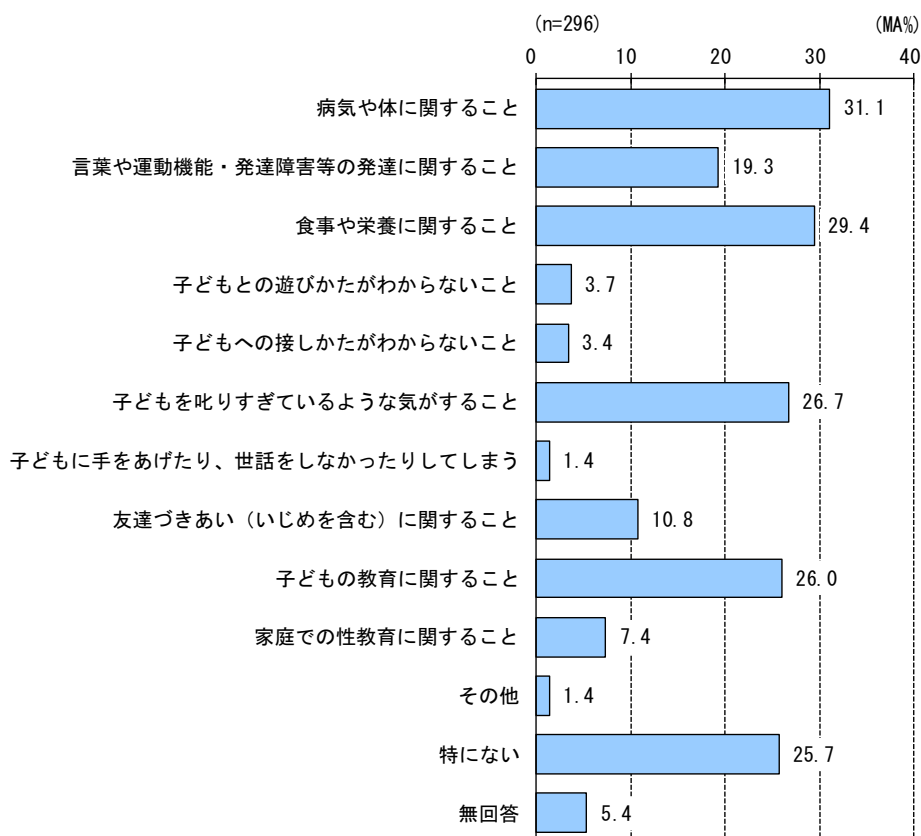
小児科医の常設／子育てにかかる費用の軽減／子どもが遊べる公共施設などの充実／幼稚園が欲しい
／児童手当の増額／保育施設の建て替え

（５）子育てに関して日頃悩んでいること

問36 お子さんに関して日常悩んでいることや気になることはどんなことですか。
（あてはまる番号すべてに○）

子育てに関して悩んでいることや気になることについて、「病気や体に関すること」が 31.1%と最も多く、次いで「食事や栄養に関すること」が 29.4%、「子どもを叱りすぎているような気がする」が 26.7%となっている。

【図 子どもに関して悩んでいること】



【その他】

子どもともっと遊ぶ時間が欲しい／一緒に過ごせる時間が少ないこと／常に行ける近場の小児科

11. 自由意見

問37 最後に、子育て環境や子育て支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

●保育園について

内容	件数
老朽化が心配	5 件
預かり保育の対象年齢を下げしてほしい	3 件
病後児保育の充実	2 件
土曜保育等利用したいが、預けにくい	2 件
土日等休日保育の実施	2 件
その他	4 件

●子育て支援について ①子育て支援事業内容の改善

内容	件数
子育て支援（金銭面）の充実	10 件
0 歳児からの保育料無償化	1 件
不妊治療やハイリスク妊婦への経済的支援	1 件

●子育て支援について ②情報提供・相談支援

内容	件数
赤ちゃんの世話に関するコラム等を発信してほしい	1 件

●遊び環境・公共施設等について

内容	件数
雨の日でも遊べる施設が欲しい	5 件
子どもの遊び場が欲しい	5 件
文化的施設が欲しい	4 件
その他	1 件

●まちづくり等について

内容	件数
住みやすい安全なまちにしてほしい	3 件
移住者が増えるような取り組み	2 件
歩道の整備	1 件
習い事等充実させてほしい	1 件

●認定こども園について

内容	件数
開所時間の延長希望	1 件

●仕事との両立支援について

内容	件数
両立しやすい環境整備や会社の理解	4 件
資格がなくてもフルタイムで働きたい	1 件

●小学生について

内容	件数
発達障害やグレーゾーンの子供が通える療育施設や学童がほしい	1 件
友達関係が心配	1 件

●放課後児童クラブについて

内容	件数
放課後子ども教室の支援員の確保	1 件

●医療機関について

内容	件数
小児科の充実	17 件
病児保育施設の充実	4 件
オンライン診療の実施	1 件
月 1 回の母乳相談だけでなく母乳トラブルに対応してほしい	1 件

●その他

内容	件数
アンケートの回答を何らかの方法で知りたい	1 件
その他	6 件

IV. 小学生児童保護者調査の結果

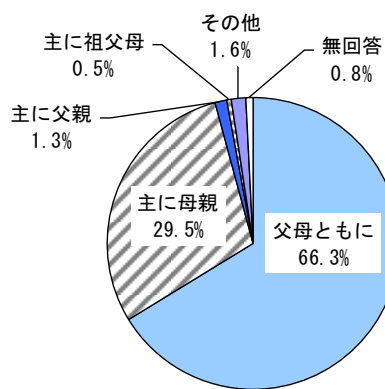
1. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育ての主体者

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。（あてはまる番号1つに○）

子育ての主体者は、「父母ともに」が66.3%と最も多く、次いで「主に母親」が29.5%、「主に父親」が1.3%となっている。

【図 子育ての主体者】



(n=373)

【表 子育ての主体者】

		合計	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答
全体		373	247	110	5	2	6	3
		100.0	66.2	29.5	1.3	0.5	1.6	0.8
学年	低学年生（1～3年生）	226	153	66	3	—	4	—
		100.0	67.7	29.2	1.3	—	1.8	—
学年	高学年生（4～6年生）	143	92	44	2	2	2	1
		100.0	64.3	30.8	1.4	1.4	1.4	0.7
家庭類型	ひとり親家庭	56	2	50	2	1	1	—
		100.0	3.6	89.3	3.6	1.8	1.8	—
	フルタイム×フルタイム	196	159	31	3	—	1	2
		100.0	81.1	15.8	1.5	—	0.5	1.0
	フルタイム×パートタイム	82	61	21	—	—	—	—
		100.0	74.4	25.6	—	—	—	—
	フルタイム×専業主婦・夫	16	13	3	—	—	—	—
		100.0	81.3	18.8	—	—	—	—
家庭類型	パートタイム×パートタイム	5	3	2	—	—	—	—
		100.0	60.0	40.0	—	—	—	—
	パートタイム×専業主婦・夫	2	1	—	—	—	1	—
		100.0	50.0	—	—	—	50.0	—
家庭類型	無職×無職	2	2	—	—	—	—	—
		100.0	100.0	—	—	—	—	—

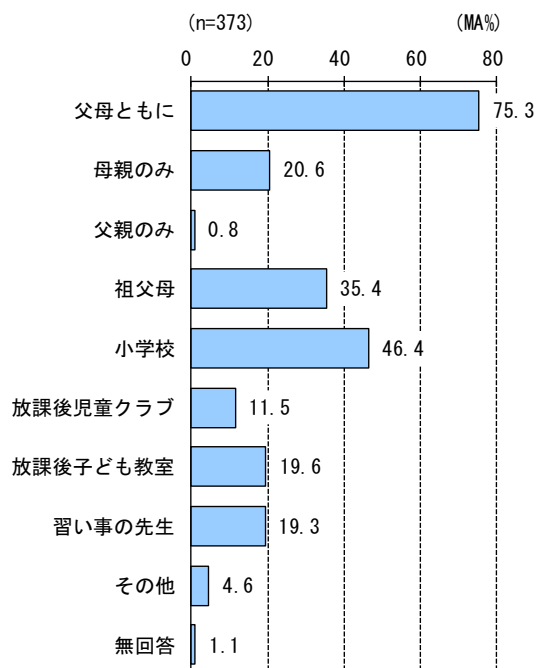
【その他】

祖父母／曾祖父母／里親／父母＋祖母／母＋祖母

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。（あてはまる番号すべてに○）

教育を含む子育てに日常的に関わっているのは、「父母ともに」が 75.3%と最も多く、次いで「小学校」が 46.4%、「祖父母」が 35.4%となっている。

【図 子育てに日常的に関わっている人】



【その他】

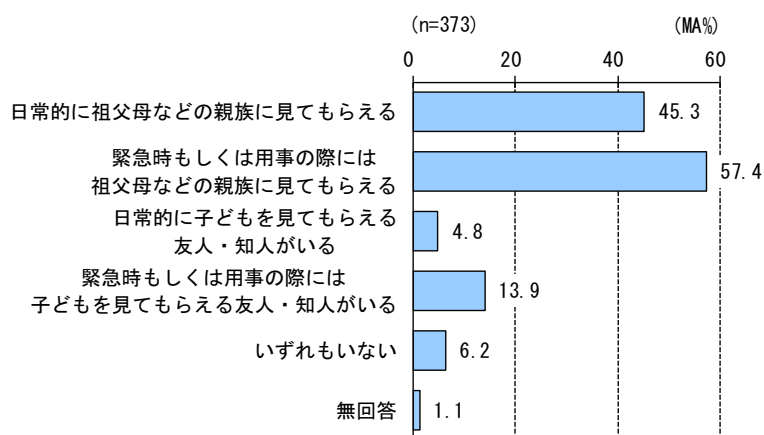
兄弟姉妹／祖父母／里親／病院／学童 等

(2) 子どもを見てもらえる親族・知人の有無

問8 日頃、あて名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいらっしゃいますか。
(あてはまる番号すべてに○)

日頃子どもを見てもらえる親族・知人の有無について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族に見てもらえる」が57.4%と最も多く、次いで「日常的に祖父母などの親族に見てもらえる」が45.3%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」が13.9%となっている。

【図 子どもを見てもらえる親族・知人の有無】



【表 子どもを見てもらえる親族・知人の有無】

		親族日常的に見て祖父母などの	緊急時には祖父母も母はなど親の	日常的に友人・子ども知人を見て	緊急時には友人・子ども知人を見て	いずれもない	無回答
	合計	169	214	18	52	23	4
	全体 上段/実数 下段/MA%	373 100.0	45.3 57.4	4.8 13.9	13.9 57.4	6.2	1.1
学年	低学年生（1～3年生）	226	94	139	8	32	14
	高学年生（4～6年生）	143	73	74	10	20	9
		100.0	51.0	51.7	7.0	14.0	6.3
家庭類型	ひとり親家庭	56	34	27	3	7	2
		100.0	60.7	48.2	5.4	12.5	3.6
	フルタイム×フルタイム	196	91	106	8	27	11
		100.0	46.4	54.1	4.1	13.8	5.6
	フルタイム×パートタイム	82	30	56	4	12	8
		100.0	36.6	68.3	4.9	14.6	9.8
	フルタイム×専業主婦・夫	16	5	14	2	2	-
		100.0	31.3	87.5	12.5	12.5	-
パートタイム×パートタイム		5	2	3	1	1	1
		100.0	40.0	60.0	20.0	20.0	20.0
	パートタイム×専業主婦・夫	2	-	1	-	-	1
		100.0	-	50.0	-	-	50.0
	無職×無職	2	-	1	-	1	-
		100.0	-	50.0	-	50.0	-

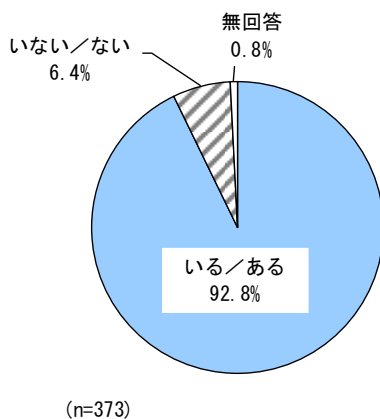
（３）子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所

問９ あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる先（人・場所など）はありますか。（あてはまる番号１つに○）

気軽に相談できる人や場所の有無について、「いる／ある」が 92.8%と大半を占めており、「いない／ない」は 6.4%となっている。

年齢別にみると、年齢が上がるほど「いない／ない」の割合が高くなる傾向がみられる。

【図 子育てについて相談できる人や場所の有無】



【表 子育てについて相談できる人や場所の有無】

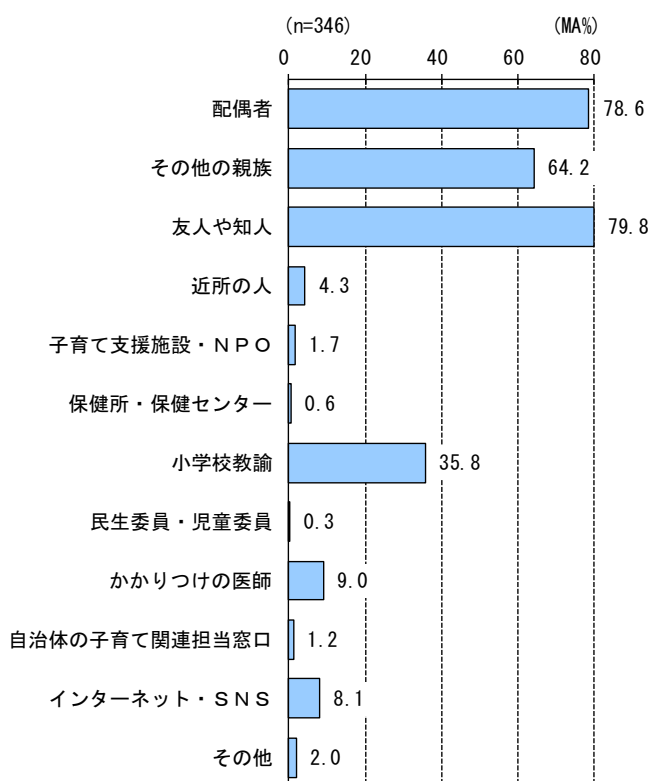
			いる／ある	いない／ない	無回答
		合計			
全体		373	346	24	3
上段/実数		100.0	92.8	6.4	0.8
下段/%					
学年	低学年生（１～３年生）	226	211	14	1
		100.0	93.4	6.2	0.4
	高学年生（４～６年生）	143	133	10	－
		100.0	93.0	7.0	－
家庭類型	ひとり親家庭	56	51	5	－
		100.0	91.1	8.9	－
	フルタイム×フルタイム	196	187	7	2
		100.0	95.4	3.6	1.0
	フルタイム×パートタイム	82	76	6	－
		100.0	92.7	7.3	－
	フルタイム×専業主婦・夫	16	16	－	－
		100.0	100.0	－	－
	パートタイム×パートタイム	5	3	2	－
		100.0	60.0	40.0	－
	パートタイム×専業主婦・夫	2	2	－	－
		100.0	100.0	－	－
	無職×無職	2	2	－	－
		100.0	100.0	－	－

問9で「1. いる／ある」に○をつけた方のみ

問9-1 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に関する相談先をご記入ください。
（あてはまる番号すべてに○）

相談先について、「友人や知人」が79.8%と最も多く、次いで「配偶者」が78.6%、「その他の親族」が64.2%となっている。

【図 子育ての相談先】



【その他】

スクールカウンセラー／スクールソーシャルワーカー／習い事の先生／母親 等

2. 保護者の就労状況について

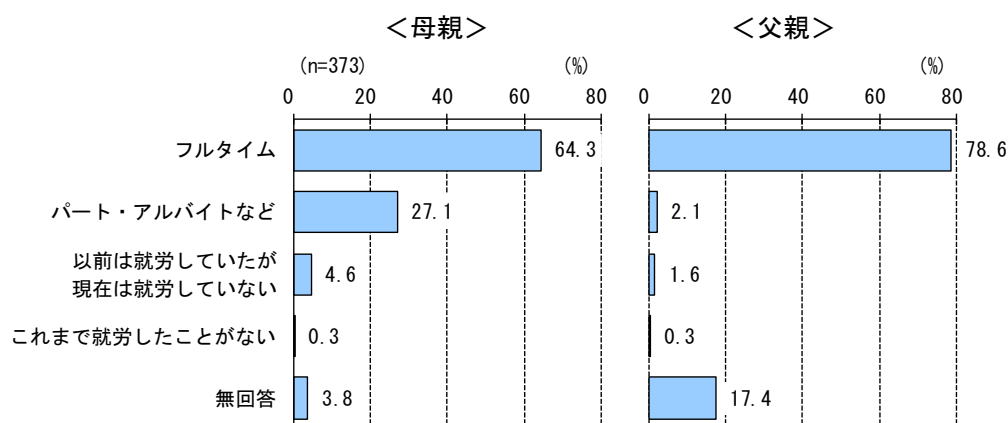
(1) 父母の就労状況

問10 現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をご記入ください。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

母親の就労状況は、「フルタイム」が 64.3%で最も多く、次いで「パート・アルバイトなど」が 27.1%、「以前は就労していたが現在は就労していない」が 4.6%となっている。

父親の就労状況は、「フルタイム」が 78.6%と最も多く、次いで「パート・アルバイトなど」が 2.1%、「以前は就労していたが現在は就労していない」が 1.6%となっている。

【図 父母の就労状況】



【表 父母の就労状況】

				フル タイム （休 業中 含 む）	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト 等 （ 休 業 中 含 む）	就 労 し て い な い	無 回 答
			合計				
母親	全体		373	240	101	18	14
	上段/実数		100.0	64.3	27.1	4.8	3.8
	学 年	低学年生（１～３年生）	226	137	69	13	7
			100.0	60.6	30.5	5.8	3.1
		高学年生（４～６年生）	143	99	32	5	7
			100.0	69.2	22.4	3.5	4.9
	家 庭 類 型	ひとり親家庭	56	37	13	2	4
			100.0	66.1	23.2	3.6	7.1
		フルタイム×フルタイム	196	196	－	－	－
			100.0	100.0	－	－	－
		フルタイム×パートタイム	82	3	79	－	－
			100.0	3.7	96.3	－	－
		フルタイム×専業主婦・夫	16	3	－	13	－
			100.0	18.8	－	81.3	－
		パートタイム×パートタイム	5	－	5	－	－
		100.0	－	100.0	－	－	
パートタイム×専業主婦・夫		2	－	2	－	－	
		100.0	－	100.0	－	－	
	無職×無職	2	－	－	2	－	
		100.0	－	－	100.0	－	
父親	全体		373	293	8	7	65
	上段/実数		100.0	78.6	2.1	1.9	17.4
	学 年	低学年生（１～３年生）	226	184	6	3	33
			100.0	81.4	2.7	1.3	14.6
		高学年生（４～６年生）	143	106	2	4	31
			100.0	74.1	1.4	2.8	21.7
	家 庭 類 型	ひとり親家庭	56	4	－	－	52
			100.0	7.1	－	－	92.9
		フルタイム×フルタイム	196	196	－	－	－
			100.0	100.0	－	－	－
		フルタイム×パートタイム	82	79	3	－	－
			100.0	96.3	3.7	－	－
		フルタイム×専業主婦・夫	16	13	－	3	－
			100.0	81.3	－	18.8	－
		パートタイム×パートタイム	5	－	5	－	－
		100.0	－	100.0	－	－	
パートタイム×専業主婦・夫		2	－	－	2	－	
		100.0	－	－	100.0	－	
	無職×無職	2	－	－	2	－	
		100.0	－	－	100.0	－	

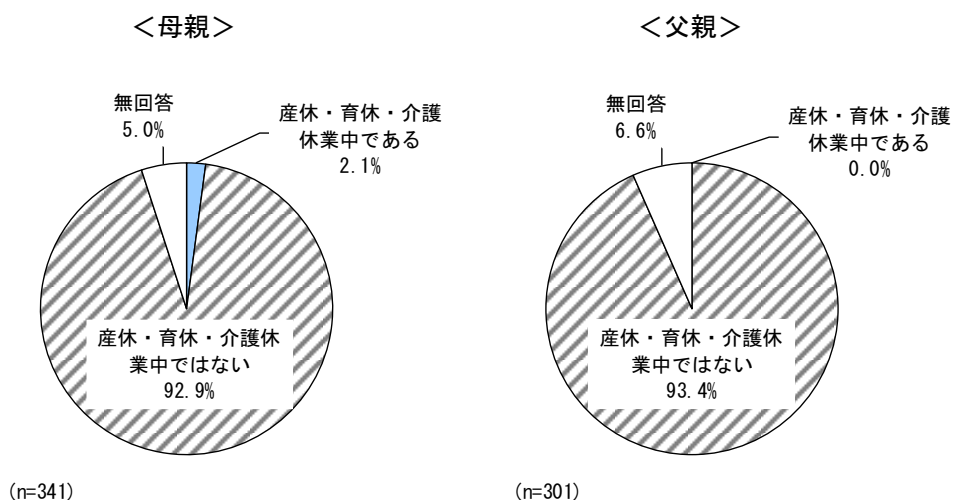
問10で、「1. フルタイム」または「2. パート・アルバイトなど」に○をつけた方のみ

問10-1 就労している方は、現在、産休・育休・介護休業中ですか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

母親では、「産休・育休・介護休業中ではない」が92.9%、「産休・育休・介護休業中である」が2.1%となっている。

父親では、「産休・育休・介護休業中ではない」が93.4%となっている。

【図 父母の産休・育休・介護休業中】



(2) 週当たりの就労日数、1日あたり就労時間

問10で、「1. フルタイム」または「2. パート・アルバイトなど」に○をつけた方のみ

問10-2 ①1週あたりの「就労日数」、②1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、③家を出る時間、④帰宅時間をすべてご記入ください。
(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

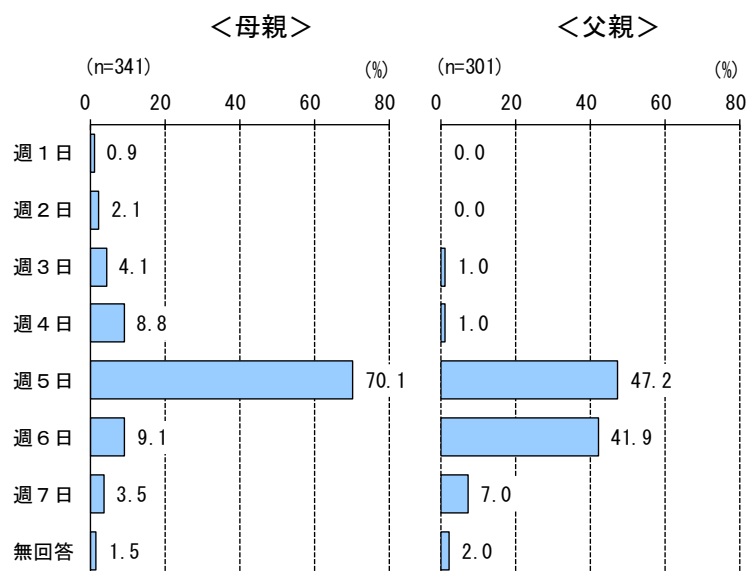
1週あたりの就労日数は、母親では「週5日」が70.1%と最も多く、次いで「週6日」が9.1%、「週4日」が8.8%となっている。父親では、「週5日」が47.2%と最も多く、次いで「週6日」が41.9%、「週7日」が7.0%となっている。

1日あたりの就労時間は、母親、父親ともに「8時間」が最も多くなっている。また、母親では8時間未満、父親では8時間以上の就労時間の割合がそれぞれ多くなっている。

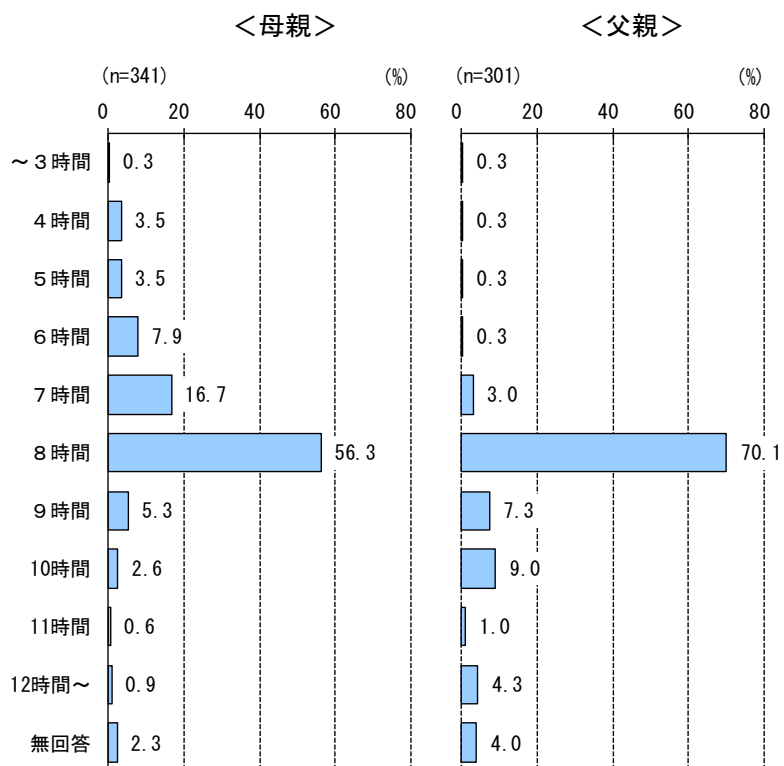
家を出る時間は、母親では「8時」が57.2%と最も多く、次いで「7時」が24.0%、「9時」が10.6%となっている。父親では「7時」が38.9%と最も多く、次いで「8時」が35.2%、「6時」が10.0%となっている。

帰宅時間は、母親では「18時」が44.9%と最も多く、次いで「17時」が25.2%、「19時」が9.1%となっている。父親では、「18時」が43.5%と最も多く、次いで「17時」が24.9%、「19時」が11.0%となっている。父親は19時以降に帰宅する割合が母親に比べて多くなっている。

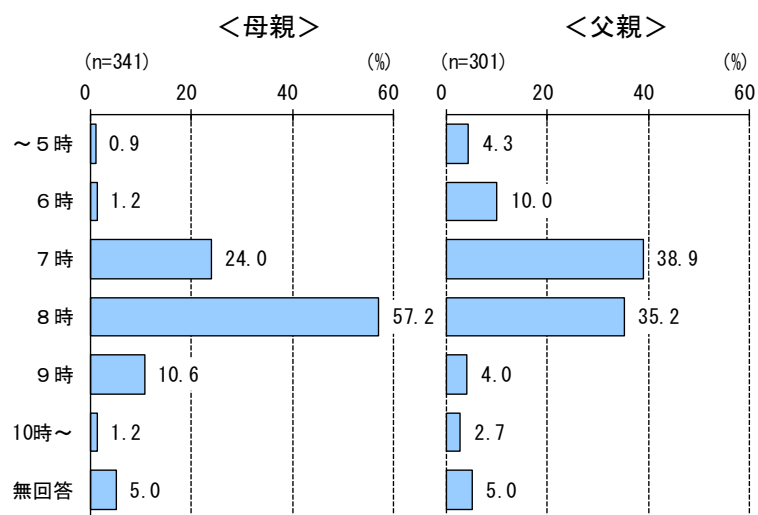
【図 1 週あたりの就労日数】



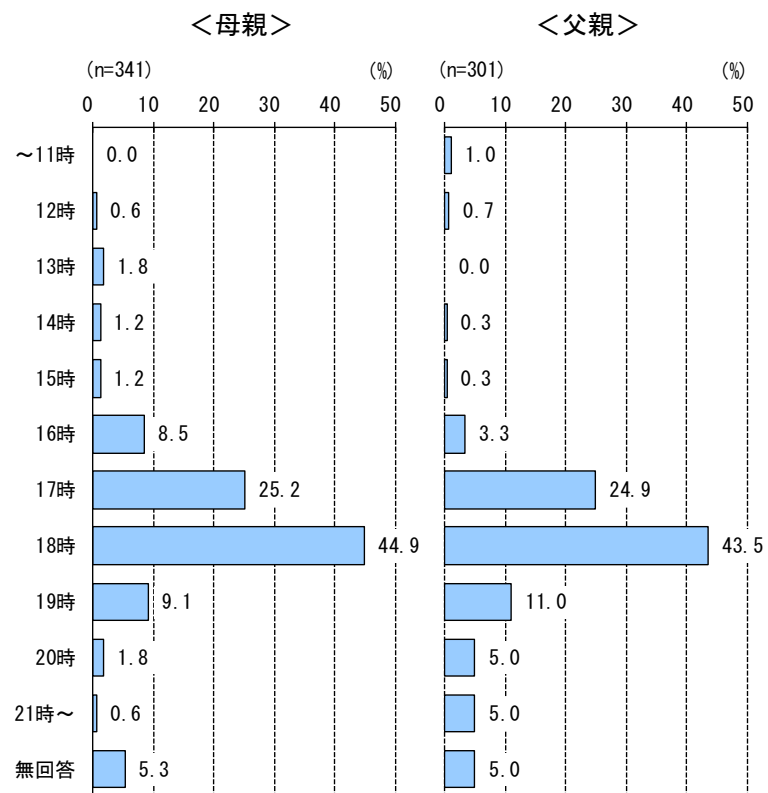
【図 1 日あたりの就労時間】



【図 家を出る時間】



【図 帰宅時間】



(3) フルタイムへの転換希望

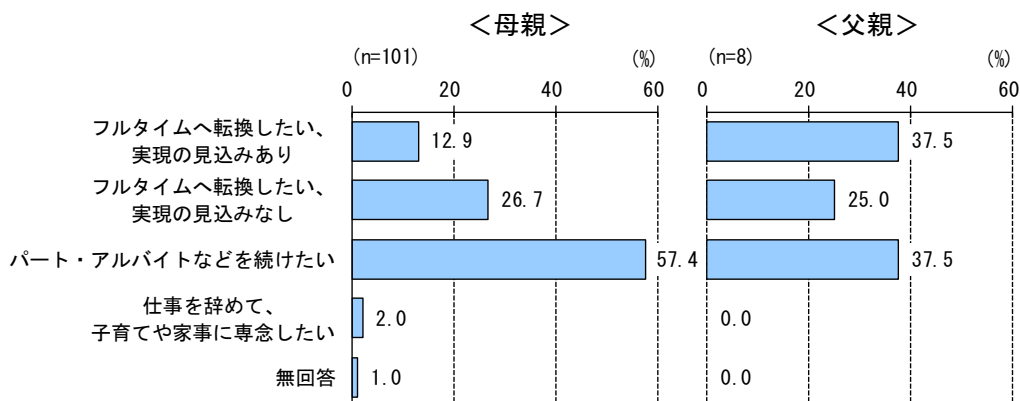
問10で、「2. パート・アルバイトなど」に○をつけた方のみ

問10-3 パート・アルバイトなどからフルタイムへの転換希望はありますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

フルタイムへの転換希望について、母親では「パート・アルバイトなどを続けたい」が 57.4%と最も多く、次いで「フルタイムへ転換したい、実現の見込みなし」が 26.7%、「フルタイムへ転換したい、実現の見込みあり」が 12.9%となっている。

父親では「フルタイムへ転換したい、実現の見込みあり」「パート・アルバイトなどを続けたい」がそれぞれ 37.5%と最も多く、次いで「フルタイムへ転換したい、実現の見込みなし」が 25.0%となっている。

【図 フルタイムへの転換希望】



【表 フルタイムへの転換希望】

				い、フル タイム の 見 込 み あ り た	い、フル タイム の 見 込 み な し た	ど パ ー ト ・ ア ル バ イ ト な い	仕 事 を 辞 め て、 子 育 て や 家 事 に 専 念 し た い	無 回 答
			合計					
母 親	全体 上段/実数 下段/%		101 100.0	13 12.9	27 26.7	58 57.4	2 2.0	1 1.0
	学 年	低学年生（１～３年生）	69 100.0	8 11.6	17 24.6	41 59.4	2 2.9	1 1.4
		高学年生（４～６年生）	32 100.0	5 15.6	10 31.3	17 53.1	－ －	－ －
	家 庭 類 型	ひとり親家庭	13 100.0	－ －	4 30.8	9 69.2	－ －	－ －
		フルタイム×フルタイム	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
		フルタイム×パートタイム	79 100.0	13 16.5	21 26.6	43 54.4	1 1.3	1 1.3
		フルタイム×専業主婦・夫	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
		パートタイム×パートタイム	5 100.0	－ －	2 40.0	2 40.0	1 20.0	－ －
		パートタイム×専業主婦・夫	2 100.0	－ －	－ －	2 100.0	－ －	－ －
		無職×無職	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
	父 親	全体 上段/実数 下段/%		8 100.0	3 37.5	2 25.0	3 37.5	－ －
学 年		低学年生（１～３年生）	6 100.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	－ －	－ －
		高学年生（４～６年生）	2 100.0	1 50.0	－ －	1 50.0	－ －	－ －
家 庭 類 型		ひとり親家庭	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
		フルタイム×フルタイム	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
		フルタイム×パートタイム	3 100.0	2 66.7	－ －	1 33.3	－ －	－ －
		フルタイム×専業主婦・夫	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
		パートタイム×パートタイム	5 100.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	－ －	－ －
		パートタイム×専業主婦・夫	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
		無職×無職	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

(4) 非就労者の就労希望

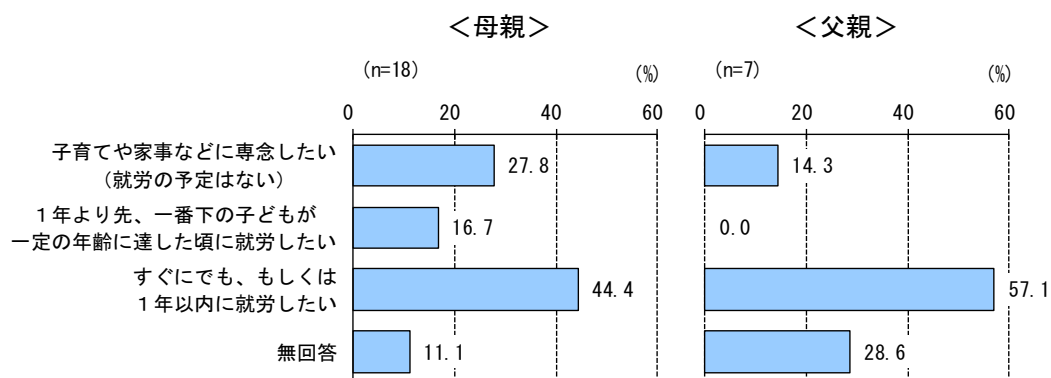
問10で、「3. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「4. これまで就労したことがない」に○をつけた方のみ

問11 就労したいという希望はありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

就労希望について、母親では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が44.4%と最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が27.8%、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」が16.7%となっている。

父親では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が57.1%と最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が14.3%となっている。

【図 非就労者の就労希望】



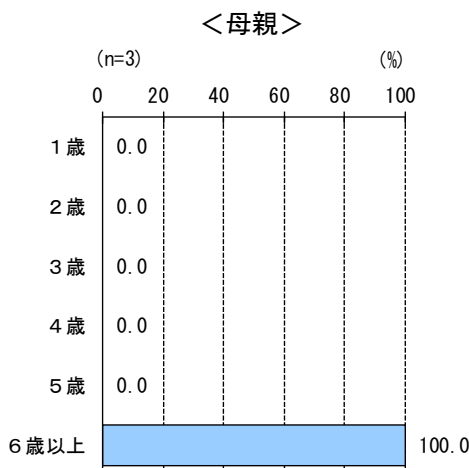
問11で、「2. 1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」に○をつけた方のみ

問11-1 一番下の子どもが何歳になった頃に就労したいですか。
(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字)

就労したい子どもの年齢は、母親では「6歳以上」が100.0%となっている。

父親では、有効回答なし。

【図 就労したい子どもの年齢】



（５）希望する就労形態

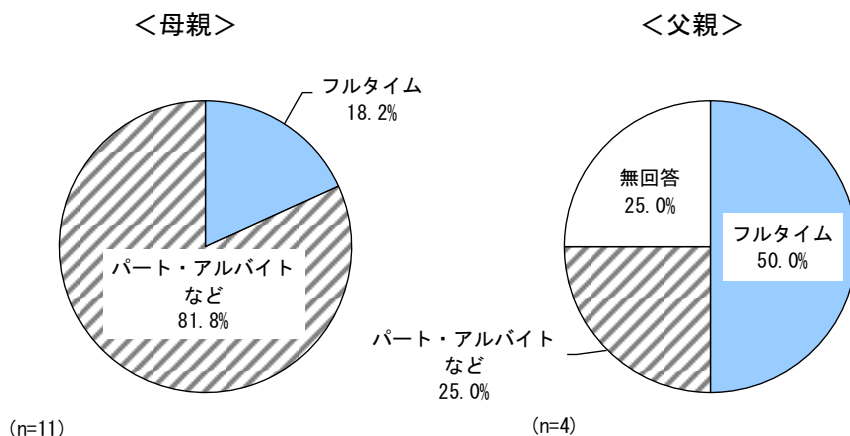
問11で、「２．１年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」または「３．すぐにも、もしくは１年以内に就労したい」に○をつけた方のみ

問11-2 希望する就労形態はどれですか。（あてはまる番号１つに○）

希望する就労形態について、母親では「フルタイム」が 18.2%、「パート・アルバイトなど」が 81.8%となっている。

父親では「フルタイム」が 50.0%、「パート・アルバイトなど」が 25.0%となっている。

【図 希望する就労形態】



問11で、「2. 1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」または「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方のみ

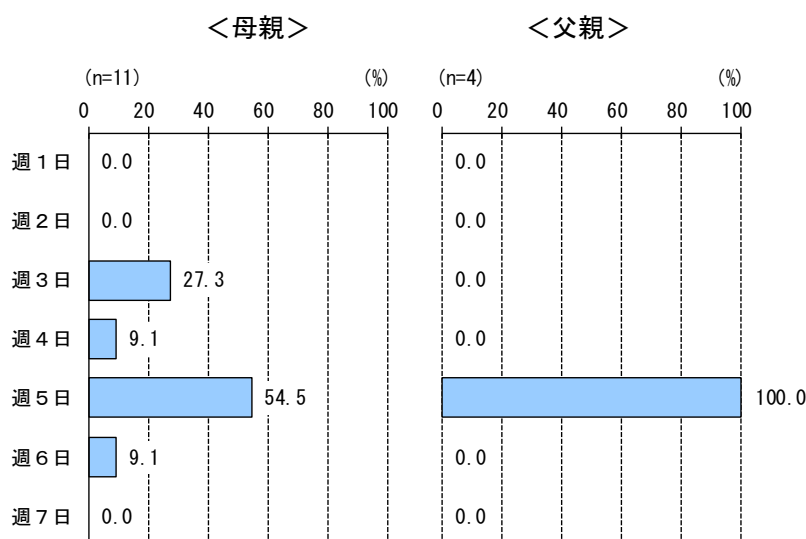
問11-3 希望する就労形態について、①1週あたりの「就労日数」、②1日あたりの「就労時間」をすべてご記入ください。

(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

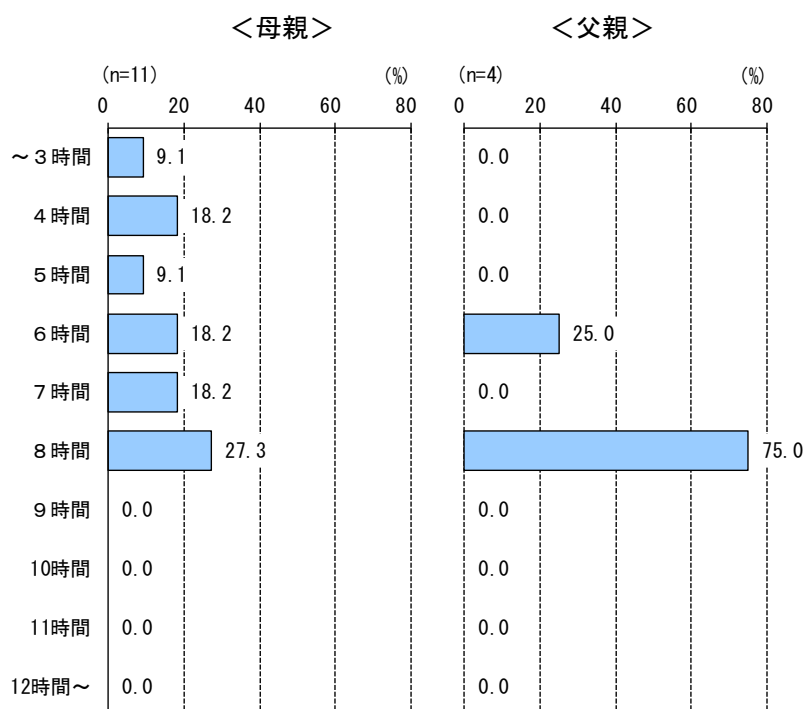
1週あたりの就労日数は、母親では「週5日」が54.5%と最も多く、次いで「週3日」が27.3%、「週4日」が9.1%となっている。父親では「週5日」が100.0%となっている。

1日あたりの就労時間は、母親では「8時間」が27.3%と最も多く、次いで「4時間」「6時間」「7時間」がそれぞれ18.2%、「～3時間」「5時間」がそれぞれ9.1%となっている。父親では「8時間」が75.0%、「6時間」が25.0%となっている。

【図 1週あたりの就労日数】



【図 1日あたりの就労時間】



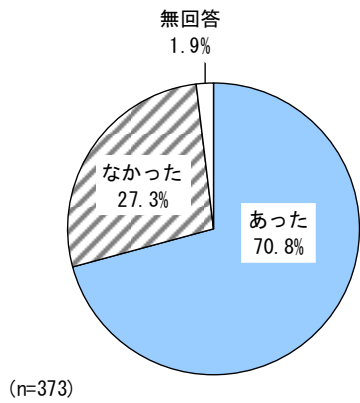
3. 子どもが病気の際の対応について

(1) 病気等で通学できなかったこと

問12 この1年間、あて名のお子さんが病気やケガで、通学できなかったことはありますか。
(あてはまる番号1つに○)

病気等で通学できなかったことは、「あった」が70.8%、「なかった」が27.3%となっている。
学年別にみると、「低学年」では「あった」の割合が高学年と比べて高くなっている。

【図 病気等で通学できなかったこと】



【表 病気等で通学できなかったこと】

		合計	あった	なかった	無回答
全体		373	264	102	7
上段/実数		100.0	70.8	27.3	1.9
下段/%					
学年	低学年生（1～3年生）	226	164	58	4
		100.0	72.6	25.7	1.8
	高学年生（4～6年生）	143	99	41	3
		100.0	69.2	28.7	2.1
家庭類型	ひとり親家庭	56	43	11	2
		100.0	76.8	19.6	3.6
	フルタイム×フルタイム	196	141	54	1
		100.0	71.9	27.6	0.5
	フルタイム×パートタイム	82	58	22	2
		100.0	70.7	26.8	2.4
	フルタイム×専業主婦・夫	16	9	7	—
		100.0	56.3	43.8	—
	パートタイム×パートタイム	5	4	—	1
		100.0	80.0	—	20.0
	パートタイム×専業主婦・夫	2	2	—	—
		100.0	100.0	—	—
	無職×無職	2	—	2	—
		100.0	—	100.0	—

(2) 病気等で通学できなかったときの対処方法

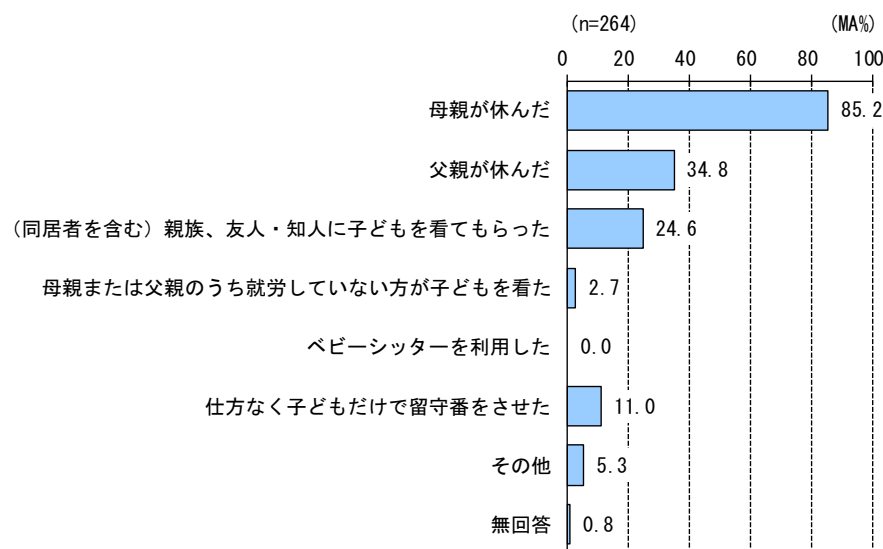
問12で、「1. あった」に○をつけた方のみ

問12-1 病気やケガで、通学できなかった時に、①実際に取った対処法と、②対処した際の日数（年間）をすべてご記入ください。

病気等で通学できなかった時の対処法は、「母親が休んだ」が 85.2%と最も多く、次いで、「父親が休んだ」が 34.8%、「(同居者を含む) 親族、友人・知人に子どもを看てもらった」が 24.6%となっている。

母親が休んだ日数は、「5日」が 16.9%と最も多く、次いで、「2日」が 13.3%、「3日」が 12.9%となっている。父親が休んだ日数は、「1日」が 25.0%と最も多く、次いで、「2日」が 19.6%、「3日」が 15.2%となっている。(同居者を含む) 親族、友人・知人に子どもを看てもらった日数は、「2日」が 24.6%と最も多く、次いで、「5日」が 16.9%、「1日」が 15.4%となっている。母親または父親のうち就労していない方が子どもを看た日数は、「21日以上」が 28.6%と最も多く、次いで「1日」「2日」「3日」「8～10日」「11～20日」がそれぞれ 14.3%となっている。仕方なく子どもだけで留守番させた日数は、「1日」が 27.6%と最も多く、次いで「2日」が 20.7%、「3日」「5日」がそれぞれ 13.8%となっている。

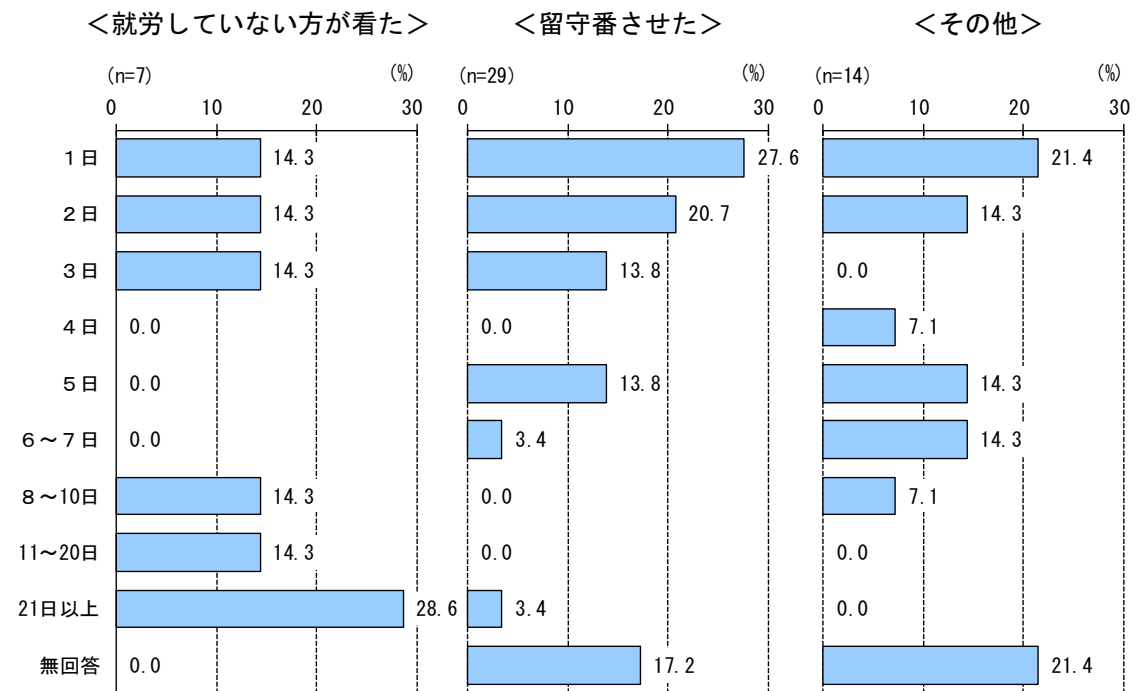
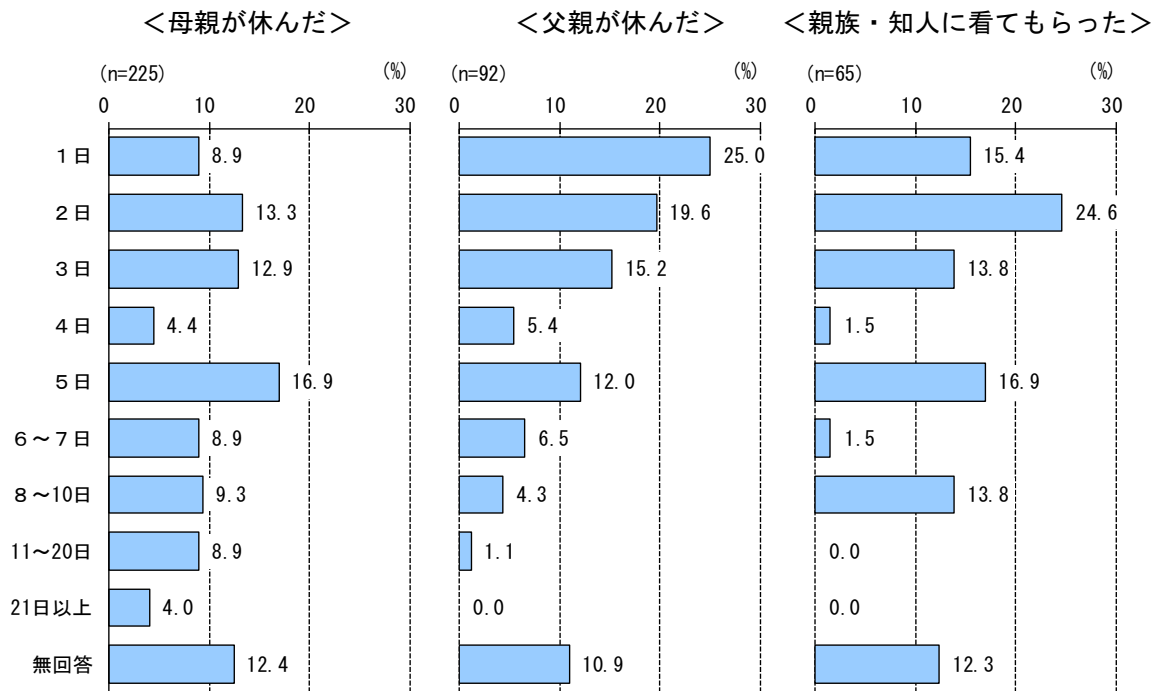
【図 病気等で通学できなかった時の対処法】



【その他】

祖父母／仕事をしながら見た／在宅ワークの親が見た／たまたま休みだった 等

【図 対処した日数】



(3) 病児・病後児保育施設の利用希望

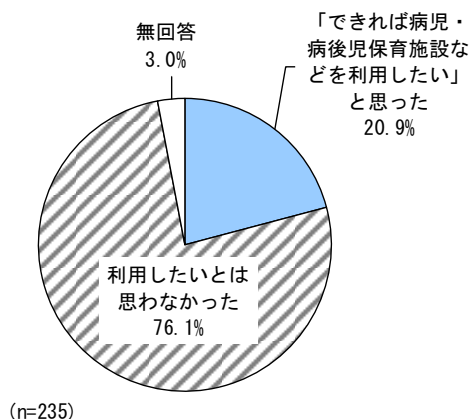
問12-1で、「1. 母親が休んだ」または「2. 父親が休んだ」に○をつけた方のみ

問13 母親または父親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思いましたか。(あてはまる番号1つに○)

病児・病後児保育施設の利用希望について、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った」が20.9%、「利用したいとは思わなかった」が76.1%となっている。

年齢別でみると、低学年では「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った」の割合が高学年と比べて高くなっている。

【図 病児・病後児保育施設の利用希望】



【表 病児・病後児保育施設の利用希望】

		合計	「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った	利用したいとは思わなかった	無回答
全体		235	49	179	7
		100.0	20.9	76.2	3.0
学年	低学年生（1～3年生）	145	37	102	6
		100.0	25.5	70.3	4.1
	高学年生（4～6年生）	89	12	76	1
		100.0	13.5	85.4	1.1
家庭類型	ひとり親家庭	35	9	25	1
		100.0	25.7	71.4	2.9
	フルタイム×フルタイム	133	29	100	4
		100.0	21.8	75.2	3.0
	フルタイム×パートタイム	52	7	45	—
		100.0	13.5	86.5	—
	フルタイム×専業主婦・夫	5	2	2	1
		100.0	40.0	40.0	20.0
	パートタイム×パートタイム	4	1	2	1
		100.0	25.0	50.0	25.0
	パートタイム×専業主婦・夫	—	—	—	—
		—	—	—	—
	無職×無職	—	—	—	—
		—	—	—	—

(4) 病児・病後児保育施設の希望利用日数

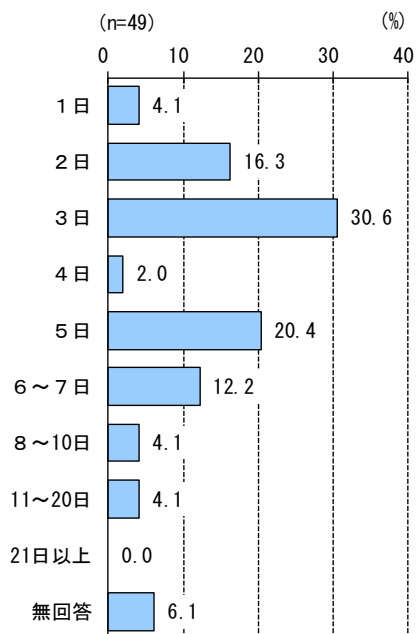
問13で、「1. 『できれば病児・病後児保育施設などを利用したい』と思った」に○をつけた方のみ

問13-1 病児・病後児のための保育施設などを何日間利用したいと思いましたか。

(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字)

病児・病後児のための保育施設の希望利用日数は、「3日」が30.6%と最も多く、次いで「5日」が20.4%、「2日」が16.3%となっている。

【図 病児・病後児のための保育施設の希望利用日数】



4. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

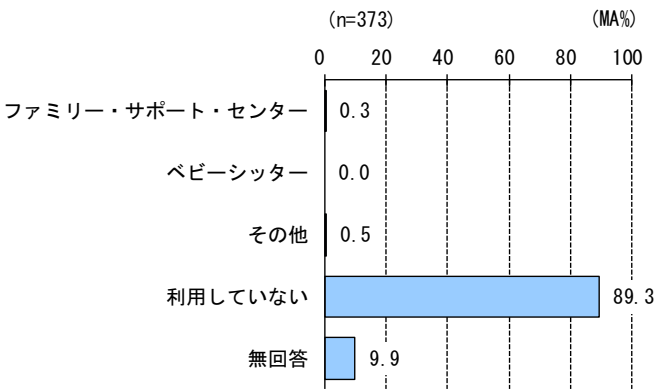
(1) 不定期に利用している教育・保育事業

問14 あて名のお子さんについて、この1年間で、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、①不定期に利用している事業と、②利用している日数(年間)をすべてご記入ください。

不定期に利用している教育・保育事業は、「ファミリー・サポート・センター」が0.3%、「利用していない」が89.3%と約9割をしめている。

ファミリー・サポート・センターの日数は、「5日」が100.0%となっている。

【図 不定期に利用している教育・保育事業】



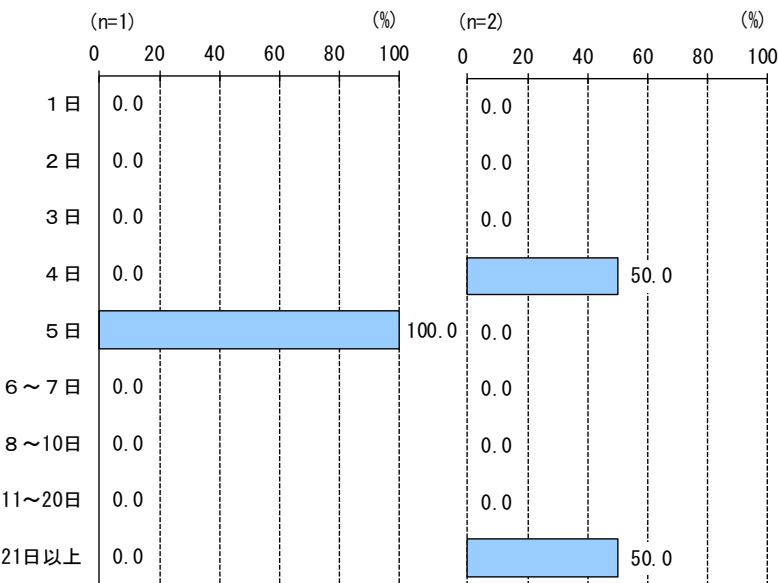
【その他】

子ども教室／あったかサポートセンターたけのこ／レスパイト事業

【図 不定期に利用している事業の利用日数】

<ファミリー・サポート・センター>

<その他>



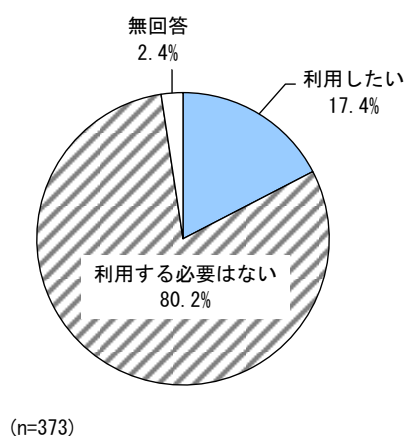
（２）利用したい不定期の教育・保育事業

問15 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、一時的に 事業を利用したいと思いますか。（あてはまる番号１つに○）

不定期の教育・保育事業の利用希望について、「利用したい」が 17.4%、「利用する必要はない」が 80.2%となっている。

「利用したい」の割合を学年別にみると、低学年生（１～３年生）が 22.1%、高学年生（４～６年生）が 9.1%となっている。家庭類型別では、パートタイム×専業主婦・夫、無職×無職がそれぞれ 50.0%と最も多く、次いでパートタイム×パートタイムが 20.0%、フルタイム×フルタイムが 18.4%となっている。居住地区別では影野小学校区が 23.8%と最も多く、次いで昭和小学校区が 21.7%、仁井田小学校区、七里小学校区がそれぞれ 21.4%となっている。

【図 不定期の教育・保育事業の利用希望】



【表 不定期の教育・保育事業の利用希望】

		合計	利用したい	利用する必要はない	無回答
全体		373	65	299	9
		100.0	17.4	80.2	2.4
学年	低学年生（１～３年生）	226	50	172	4
		100.0	22.1	76.1	1.8
学年	高学年生（４～６年生）	143	13	125	5
		100.0	9.1	87.4	3.5
家庭類型	ひとり親家庭	56	7	49	－
		100.0	12.5	87.5	－
	フルタイム×フルタイム	196	36	153	7
		100.0	18.4	78.1	3.6
	フルタイム×パートタイム	82	14	66	2
		100.0	17.1	80.5	2.4
	フルタイム×専業主婦・夫	16	1	15	－
家庭類型		100.0	6.3	93.8	－
	パートタイム×パートタイム	5	1	4	－
		100.0	20.0	80.0	－
	パートタイム×専業主婦・夫	2	1	1	－
		100.0	50.0	50.0	－
	無職×無職	2	1	1	－
		100.0	50.0	50.0	－
居住地区	仁井田小学校区	14	3	11	－
		100.0	21.4	78.6	－
	影野小学校区	21	5	15	1
		100.0	23.8	71.4	4.8
	七里小学校区	28	6	21	1
		100.0	21.4	75.0	3.6
	米奥小学校区	14	2	11	1
		100.0	14.3	78.6	7.1
	窪川小学校区	149	27	118	4
		100.0	18.1	79.2	2.7
	川口小学校区	13	1	11	1
		100.0	7.7	84.6	7.7
	東又小学校区	38	6	32	－
		100.0	15.8	84.2	－
居住地区	興津小学校区	11	1	10	－
		100.0	9.1	90.9	－
	田野々小学校区	22	3	19	－
		100.0	13.6	86.4	－
	北ノ川小学校区	10	1	9	－
		100.0	10.0	90.0	－
	十川小学校区	26	3	22	1
		100.0	11.5	84.6	3.8
居住地区	昭和小学校区	23	5	18	－
		100.0	21.7	78.3	－

問15で、「1. 利用したい」に○をつけた方のみ

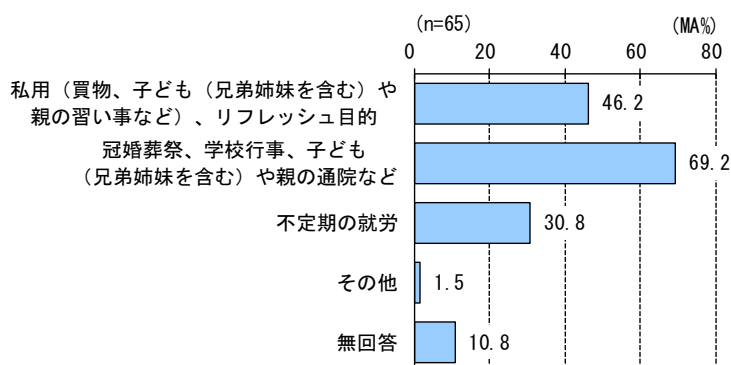
問15-1 ①一時的に事業を利用する目的と、②目的別に利用したい日数（年間）をすべてご記入ください。

不定期の教育・保育事業を必要とする目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」が 69.2%と最も多く、次いで、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」が 46.2%、「不定期の就労」が 30.8%となっている。

一時的に教育・保育事業を利用する合計日数は、「8～10 日」が 21.5%と最も多く、次いで、「2 日」「21 日以上」がそれぞれ 13.8%、「3 日」「6～7 日」がそれぞれ 10.8%となっている。

私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的の日数は、「1 日」「3 日」「5 日」がそれぞれ 20.0%と最も多く、次いで、「8～10 日」が 16.7%、「2 日」が 13.3%となっている。冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院などの日数は、「3 日」が 26.7%と最も多く、次いで、「1 日」が 17.8%、「2 日」「5 日」「8～10 日」がそれぞれ 15.6%となっている。不定期の就労の日数は、「8～10 日」が 25.0%と最も多く、次いで「5 日」「21 日以上」がそれぞれ 20.0%、「3 日」「11～20 日」がそれぞれ 10.0%となっている。

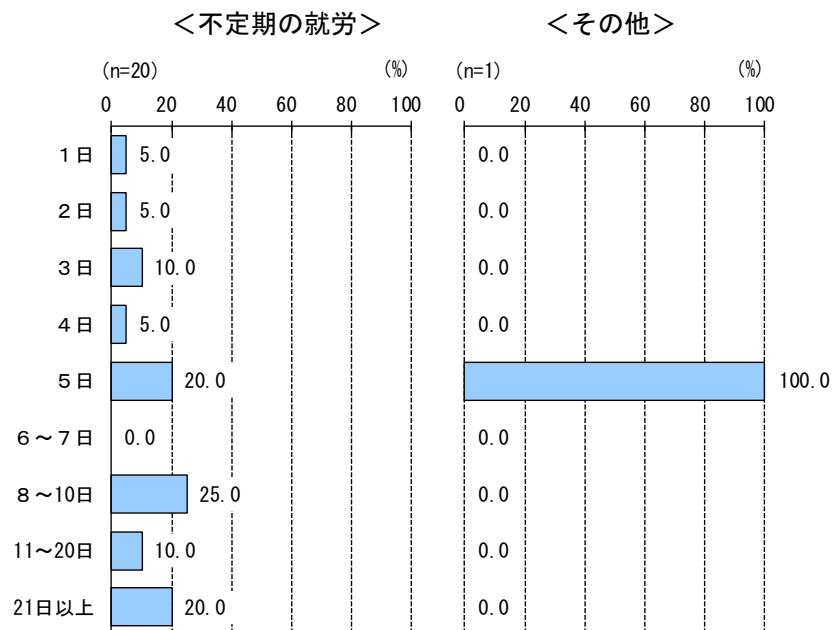
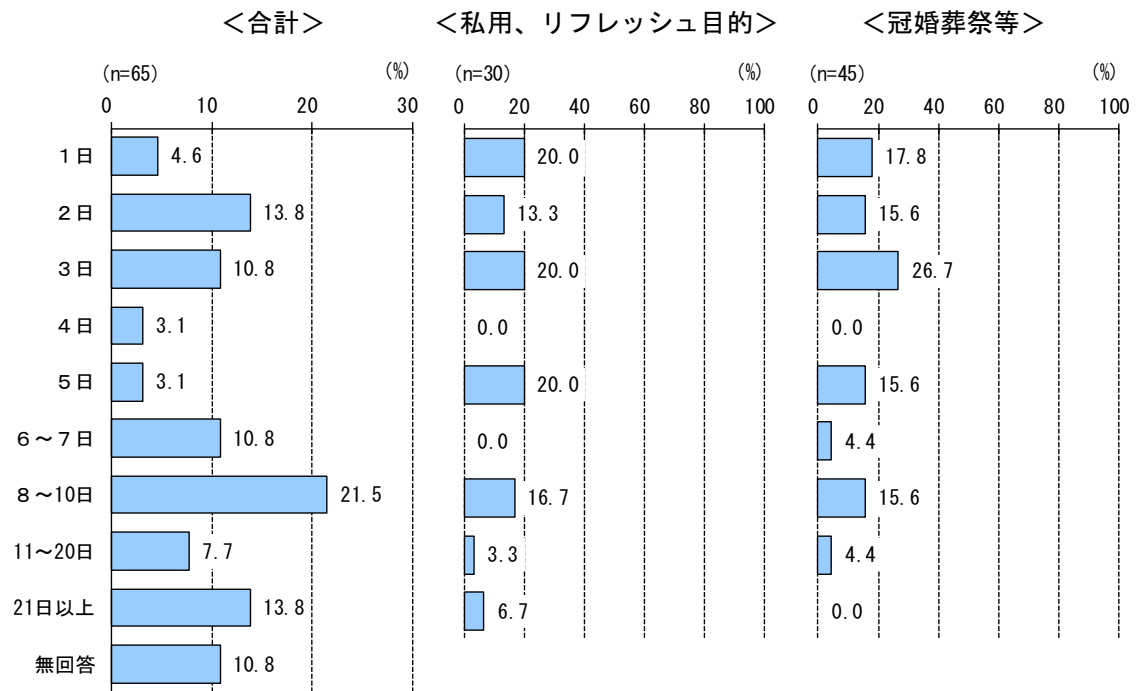
【図 一時的な教育・保育事業を利用する目的】



【その他】

自分が病気になった時

【図 一時的な教育・保育事業を利用する日数】



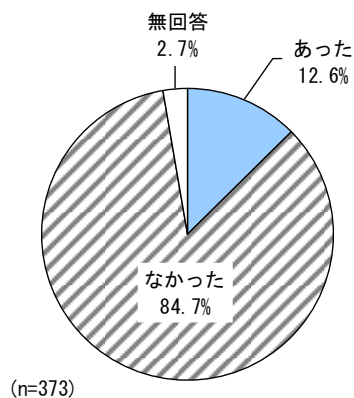
（３）子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったこと

問16 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを家族以外に泊りがけで見てもらわなければならなかったことはありましたか。（あてはまる番号１つに○）

子どもを泊りがけで家族以外に見てもらわなければならなかったことは、「あった」が 12.6%、「なかった」が 84.7%となっている。

学年別にみると、学年が高くなるほど「なかった」の割合が高くなっている。

【図 子どもを泊りがけで家族以外に見てもらわなければならなかったこと】



【表 子どもを泊りがけで家族以外に見てもらわなければならなかったこと】

			あった	なかった	無回答
		合計			
全体		373	47	316	10
		上段/実数	12.6	84.7	2.7
		下段/%			
学年	低学年生（１～３年生）	226	32	189	5
		100.0	14.2	83.6	2.2
学年	高学年生（４～６年生）	143	13	125	5
		100.0	9.1	87.4	3.5
家庭類型	ひとり親家庭	56	6	49	1
		100.0	10.7	87.5	1.8
	フルタイム×フルタイム	196	25	165	6
		100.0	12.8	84.2	3.1
	フルタイム×パートタイム	82	7	72	3
		100.0	8.5	87.8	3.7
	フルタイム×専業主婦・夫	16	4	12	—
		100.0	25.0	75.0	—
家庭類型	パートタイム×パートタイム	5	—	5	—
		100.0	—	100.0	—
	パートタイム×専業主婦・夫	2	2	—	—
		100.0	100.0	—	—
家庭類型	無職×無職	2	—	2	—
		100.0	—	100.0	—

問16で、「1. あった」に○をつけた方のみ

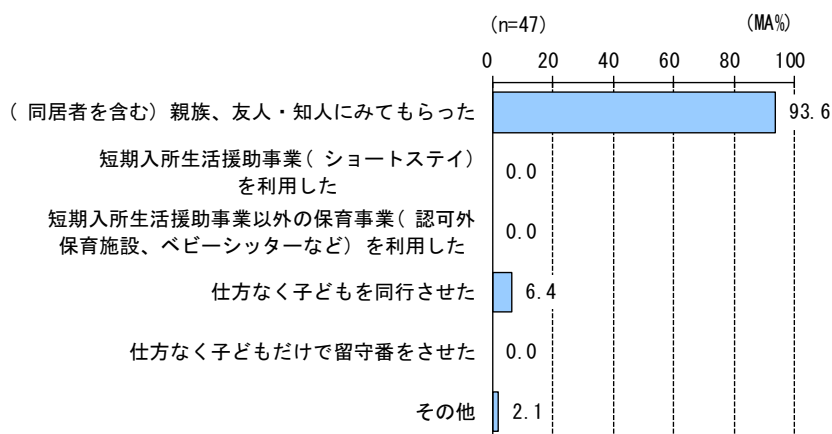
問17 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、①家族以外に泊りがけで見てもらわなければならない時の対処法と、②対処した際の泊数（年間）をすべてご記入ください。

泊りがけで家族以外に見てもらふ必要があった際の対処法は、「（同居者を含む）親族、友人・知人にみてもらった」が93.6%、「仕方なく子どもを同行させた」が6.4%となっている。

（同居者を含む）親族、友人・知人にみてもらった泊数は、「1泊」が40.9%と最も多く、次いで、「2泊」「5泊」がそれぞれ13.6%、「8～10泊」が11.4%となっている。

仕方なく子どもを同行させた泊数は、「1泊」が66.7%、「2泊」が33.3%となっている。

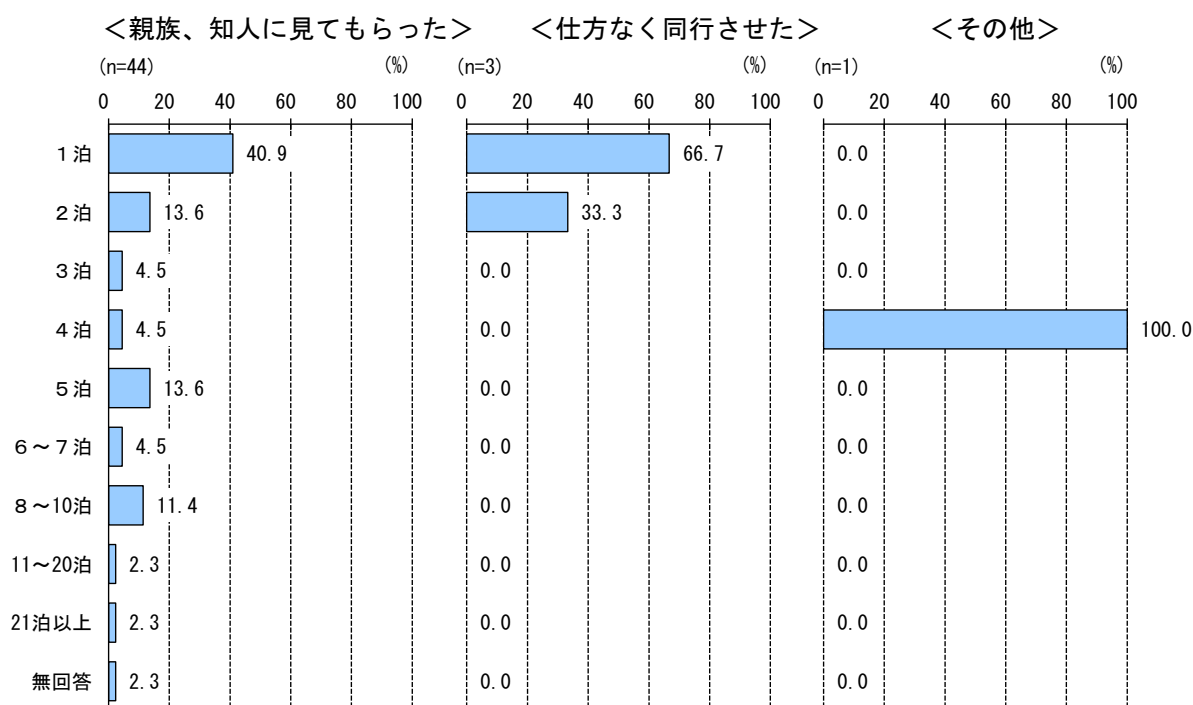
【図 泊りがけで家族以外に見てもらふ必要があった際の対処法】



【その他】

レスパイト事業

【図 泊りがけで家族以外に見てもらふ必要があった泊数】

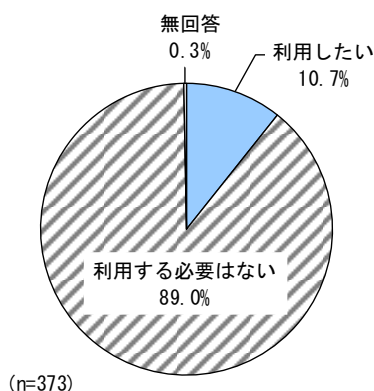


（４）短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望

問18 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを家族以外に泊りがけで見てもらう必要がある時に、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したいですか。（あてはまる番号 1 つに○）

短期入所生活援助事業の利用希望について、「利用したい」が 10.7%、「利用する必要はない」が 89.0%となっている。

【図 短期入所生活援助事業の利用希望】



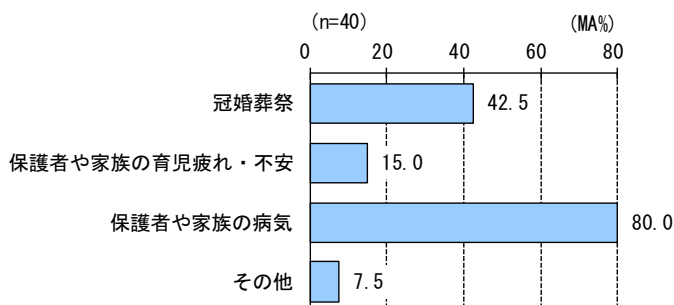
問18で、「1. 利用したい」に○をつけた方のみ

問18-1 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、①短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的と、②目的別に利用したい泊数（年間）をすべてご記入ください。

短期入所生活援助事業の利用目的は、「保護者や家族の病気」が 80.0%と最も多く、次いで、「冠婚葬祭」が 42.5%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 15.0%となっている。

冠婚葬祭の泊数は、「1泊」が 64.7%と最も多く、次いで「2泊」が 17.6%、「3泊」が 11.8%となっている。保護者や家族の育児疲れ・不安の泊数は、「1泊」が 50.0%と最も多く、次いで、「3泊」「8～10泊」「11～20泊」がそれぞれ 16.7%となっている。保護者や家族の病気の泊数は、「1泊」が 28.1%と最も多く、次いで「2泊」「3泊」がそれぞれ 18.8%、「5泊」「6～7泊」「8～10泊」がそれぞれ 9.4%となっている。

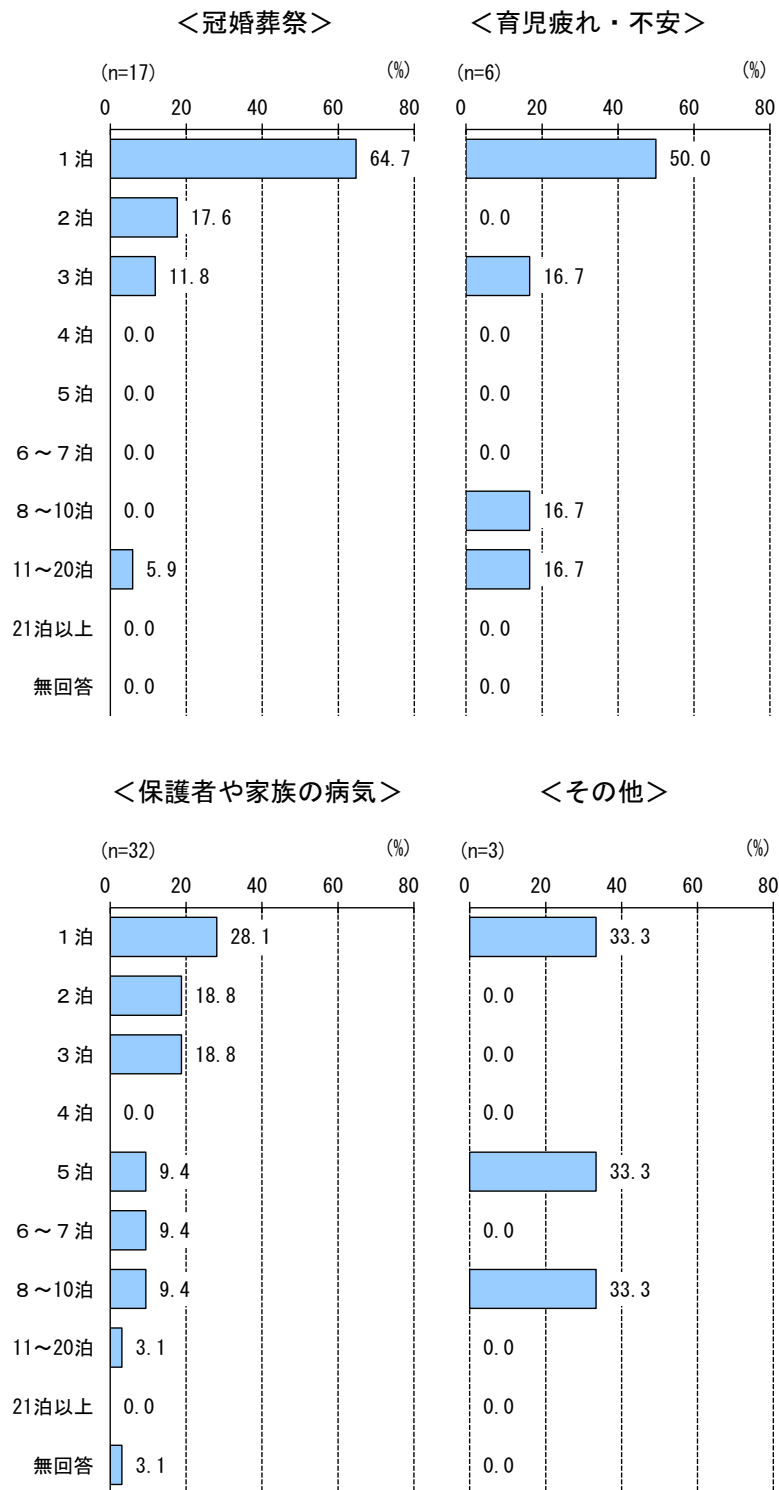
【図 短期入所生活援助事業利用目的】



【その他】

仕事／リフレッシュ／泊りを伴う仕事がある時に見てもらう人が見つからない場合

【図 短期入所生活援助事業の目的別利用泊数】



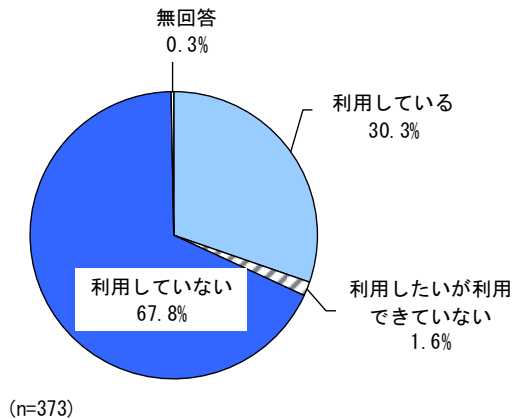
5. 放課後の過ごし方について

(1) 放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況

問19 あて名のお子さんは、窪川小学校うり坊クラブ【放課後児童クラブ（学童保育）】を利用していますか。（あてはまる番号1つに○）

放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況について、「利用していない」が 67.8%と最も多く、次いで「利用している」が 30.3%、「利用したいが利用できていない」が 1.6%となっている。

【図 放課後児童クラブの利用状況】



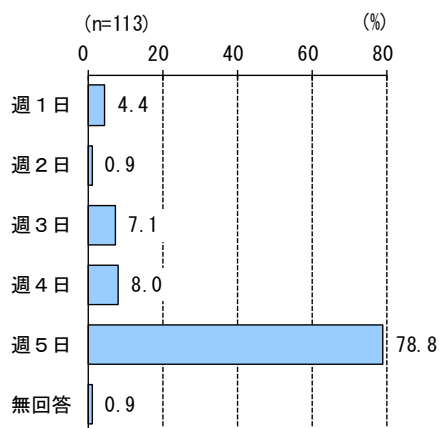
問19で、「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問19-1 放課後児童クラブ（学童保育）の利用日数と利用する時間帯をすべてご記入ください。
（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入）

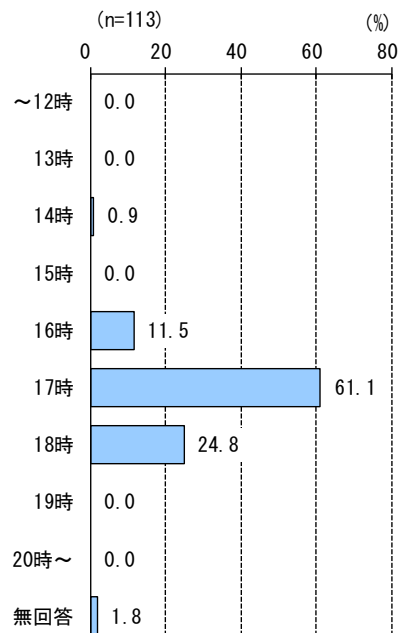
放課後児童クラブ（学童保育）の利用日数について、「週5日」が 78.8%と最も多く、次いで「週4日」が 8.0%、「週3日」が 7.1%となっている。

放課後児童クラブの利用終了時間について、「17時」が 61.1%と最も多く、次いで「18時」が 24.8%、「16時」が 11.5%となっている。

【図 放課後児童クラブの利用日数】



【図 放課後児童クラブの利用終了時間】



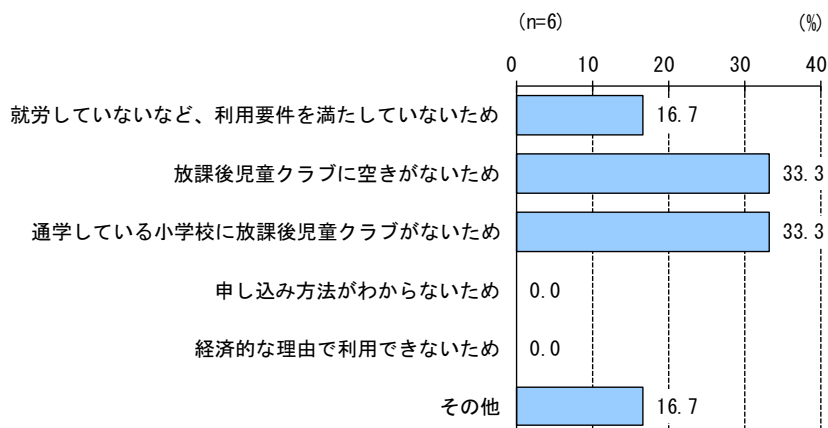
(2) 放課後児童クラブを利用できていない理由

問19で、「2. 利用したいが利用できていない」に○をつけた方のみ

問19-2 放課後児童クラブを利用できていない理由をご記入ください。（あてはまる番号1つに○）

放課後児童クラブを利用できていない理由について、「放課後児童クラブに空きがないため」「通学している小学校に放課後児童クラブがないため」がそれぞれ 33.3%、「就労していないなど、利用要件を満たしていないため」が 16.7%となっている。

【図 放課後児童クラブを利用できていない理由】



【その他】

断られた／窪小でない。19、質問が変では？

(3) 放課後の過ごし方

問19で、「2. 利用したいが利用できていない」または「3. 利用していない」に○をつけた方のみ

問20 あて名のお子さんについて、①放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方、②それぞれの過ごし方の日数（週あたり）をすべてご記入ください。また、「放課後子ども教室」については、下校時から何時まで利用しているかをご記入ください。

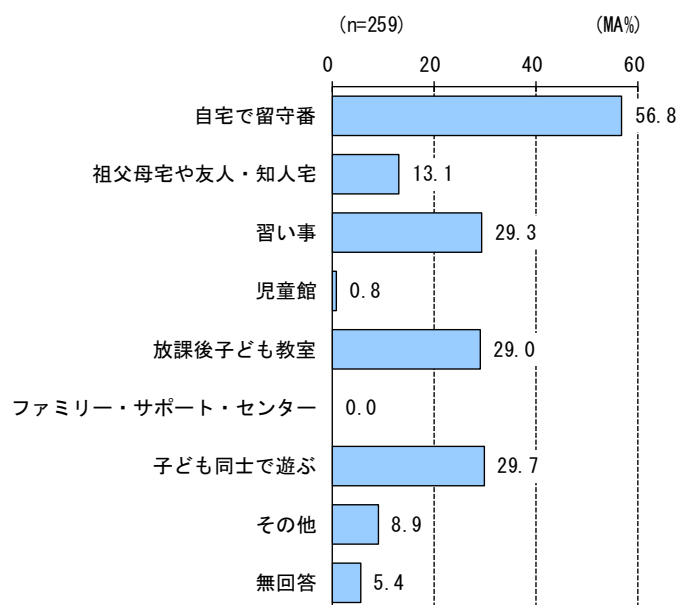
（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入）

放課後の過ごし方について、「自宅で留守番」が 56.8%と最も多く、次いで「子ども同士で遊ぶ」が 29.7%、「習い事」が 29.3%となっている。

週あたりの日数について、自宅で留守番では「週5日」が 49.7%と最も多く、次いで「週3日」が 13.6%、「週1日」が 12.9%となっている。祖父母宅や友人・知人宅では「週5日」が 26.5%と最も多く、次いで「週1日」「週2日」がそれぞれ 23.5%、「週3日」が 5.9%となっている。習い事では「週1日」「週2日」がそれぞれ 28.9%と最も多く、次いで「週3日」が 17.1%、「週4日」が 14.5%となっている。児童館では「週2日」「週3日」がそれぞれ 50.0%となっている。放課後子ども教室では「週5日」が 66.7%と最も多く、次いで「週1日」「週3日」がそれぞれ 8.0%、「週4日」が 6.7%となっている。子ども同士で遊ぶでは「週2日」が 31.2%と最も多く、次いで「週1日」が 26.0%、「週3日」が 14.3%となっている。

放課後子ども教室の利用終了時間について、「17時」が 52.0%と最も多く、次いで「18時」が 26.7%、「16時」が 12.0%となっている。

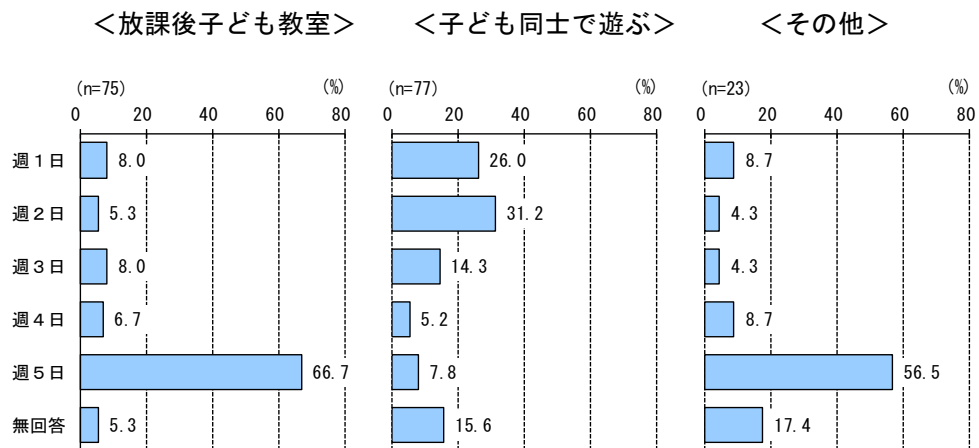
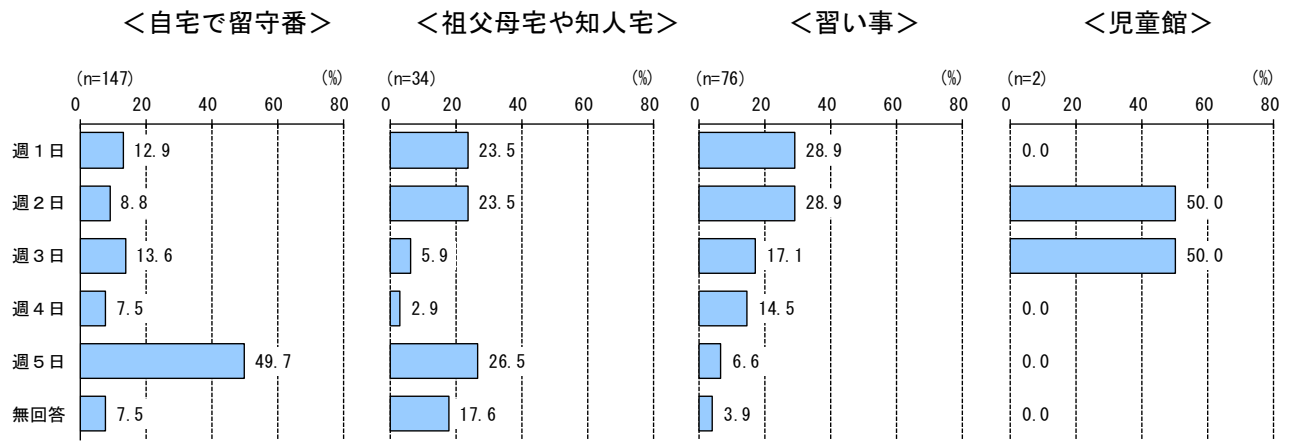
【図 放課後の過ごし方】



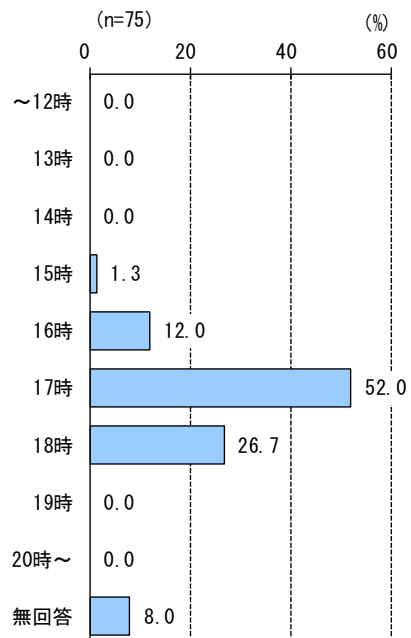
【その他】

自宅に保護者がいる／父母の職場／部活／不登校／たんぼぼ 等

【図 週あたりの日数】



【図 放課後子ども教室の利用終了時間】

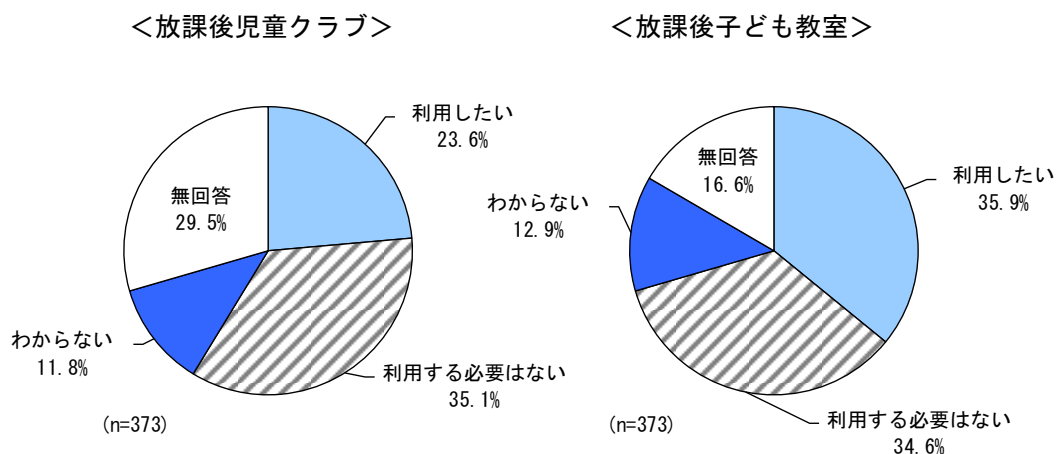


（４）放課後児童クラブや放課後子ども教室の利用希望

問21 あて名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブや放課後子ども教室を利用したいですか。
（あてはまる番号１つに○）

今後の利用希望について、放課後児童クラブでは「利用する必要はない」が 35.1%と最も多く、次いで「利用したい」が 23.6%、「わからない」が 11.8%となっている。放課後子ども教室では「利用したい」が 35.9%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が 34.6%、「わからない」が 12.9%となっている。

【図 今後の利用希望】



問21で、「1. 利用したい」に○をつけた方のみ

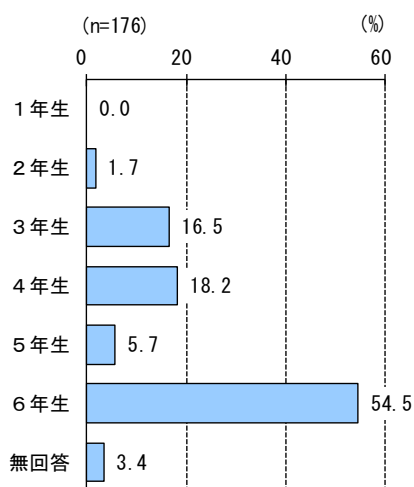
問21-1 放課後児童クラブや放課後子ども教室を何年生まで利用したいですか。また、利用希望日数と利用したい時間帯をすべてご記入ください。
(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

放課後児童クラブや放課後子ども教室を何年生まで利用したいかについて、「6年生」が54.5%と最も多く、次いで「4年生」が18.2%、「3年生」が16.5%となっている。

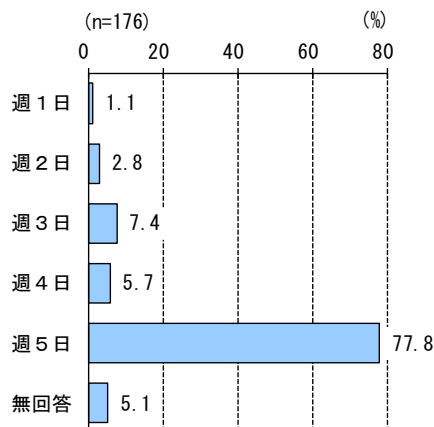
利用希望日数は、「週5日」が77.8%と最も多く、次いで「週3日」が7.4%、「週4日」が5.7%となっている。

利用希望終了時間は、「17時」が51.7%と最も多く、次いで「18時」が36.4%、「16時」が5.7%となっている。

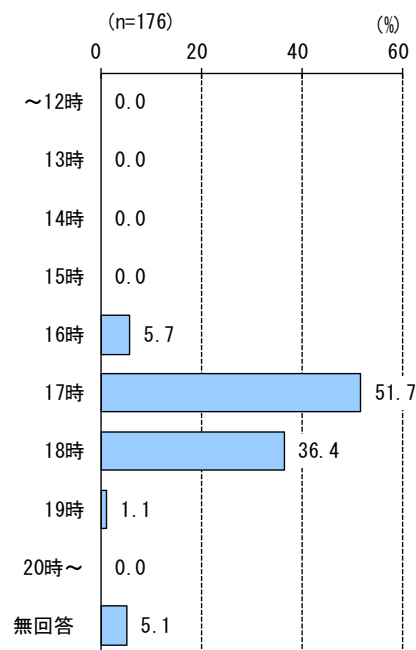
【図 利用希望】



【図 利用希望日数】



【図 利用希望終了時間】



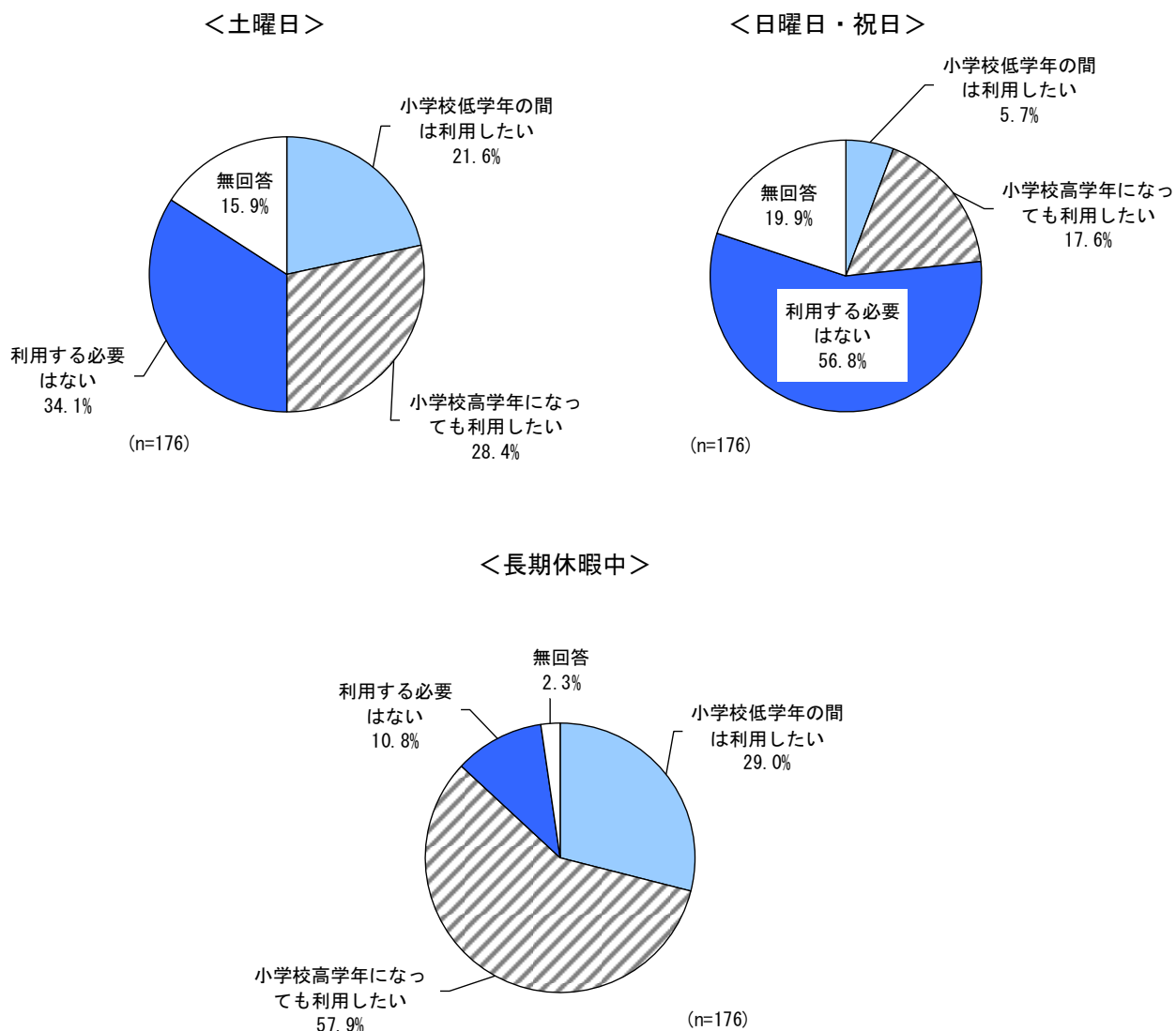
（５）土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中の放課後児童クラブや放課後子ども教室の利用希望

問21で、「１．利用したい」に○をつけた方のみ

問22 あて名のお子さんについて、（１）土曜日、（２）日曜日・祝日、（３）夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後児童クラブや放課後子ども教室を利用したいですか。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

放課後児童クラブ（学童保育）や放課後子ども教室の利用希望について、土曜日では「利用する必要はない」が34.1%と最も多く、次いで「小学校高学年になっても利用したい」が28.4%、「小学校低学年の間は利用したい」が21.6%となっている。日曜日・祝日では「利用する必要はない」が56.8%と最も多く、次いで「小学校高学年になっても利用したい」が17.6%、「小学校低学年の間は利用したい」が5.7%となっている。長期休暇中では「小学校高学年になっても利用したい」が57.9%と最も多く、次いで「小学校低学年の間は利用したい」が29.0%、「利用する必要はない」が10.8%となっている。

【図 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の利用希望】



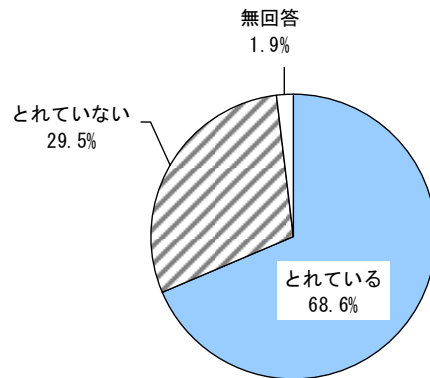
6. 職場の両立支援制度等について

(1) 仕事と生活の調和がとれているか

問23 あなたはご自身が「仕事と生活の調和がとれている」と思いますか。(あてはまる番号1つに○)

回答者が、仕事と生活の調和がとれているかについて、「とれている」が68.6%、「とれていない」が29.5%となっている。

【図 仕事と生活の調和がとれているか】



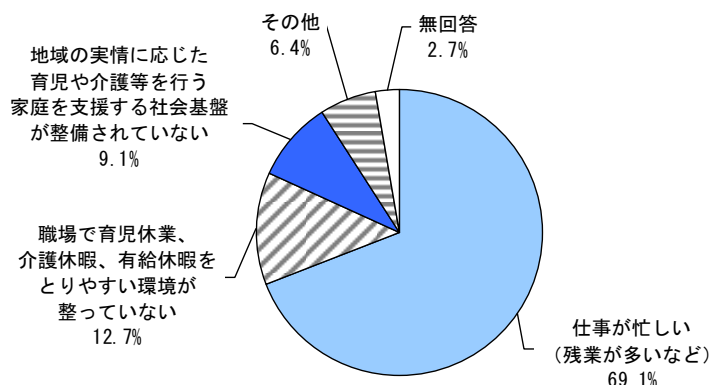
(n=373)

問23で、「2. とれていない」に○をつけた方のみ

問23-1 仕事と生活の調和がとれていないと思う理由として、最もあてはまるものはどれですか。(あてはまる番号1つに○)

仕事と生活の調和がとれていないと思う理由について、「仕事が忙しい(残業が多いなど)」が69.1%と最も多く、次いで、「職場で育児休業、介護休暇、有給休暇をとりやすい環境が整っていない」が12.7%、「地域の実情に応じた育児や介護等を行う家庭を支援する社会基盤が整備されていない」が9.1%となっている。

【図 仕事と生活の調和がとれていないと思う理由】



(n=110)

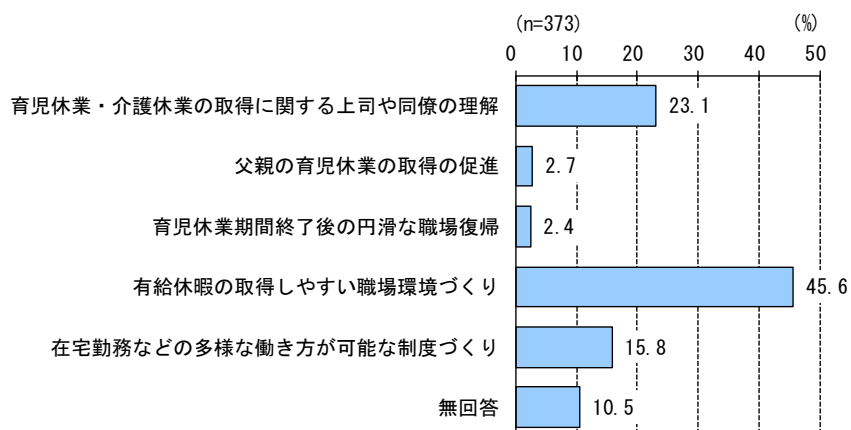
【その他】

子どもと過ごす時間がない／有休がない／学童の教員の質が悪い／フルタイムで働きたいのに働けない
／親の介護と自営業の手伝いに家事もあり余裕がない／子どもの為に休みたいが我慢するときもある

問24 あなたは仕事と子育てを両立していくために、職場で最も必要と思われることは何ですか。
(あてはまる番号1つに○)

仕事と子育ての両立のために職場で必要と思われることについて、「有給休暇の取得しやすい職場環境づくり」が45.6%と最も多く、次いで、「育児休業・介護休業の取得に関する上司や同僚の理解」が23.1%、「在宅勤務などの多様な働き方が可能な制度づくり」が15.8%となっている。

【図 仕事と子育ての両立に必要なこと】



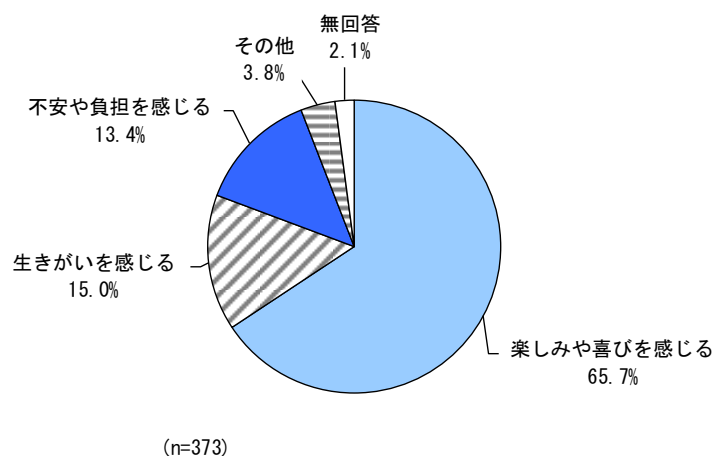
7. 子育て全般について

(1) 子育てについて感じる事

問25 あなたが子育てについて感じることで、最もあてはまることは何ですか。
(あてはまる番号1つに○)

子育てについて感じる事について、「楽しみや喜びを感じる」が 65.7%と最も多く、次いで「生きがいを感じる」が 15.0%、「不安や負担を感じる」が 13.4%となっている。

【図 子育てについて感じる事】



【その他】

楽しみ、生きがい、不安全感を感じる／学び／楽しいことも多いが、ひとり親なので不安も大きい／大変／責任

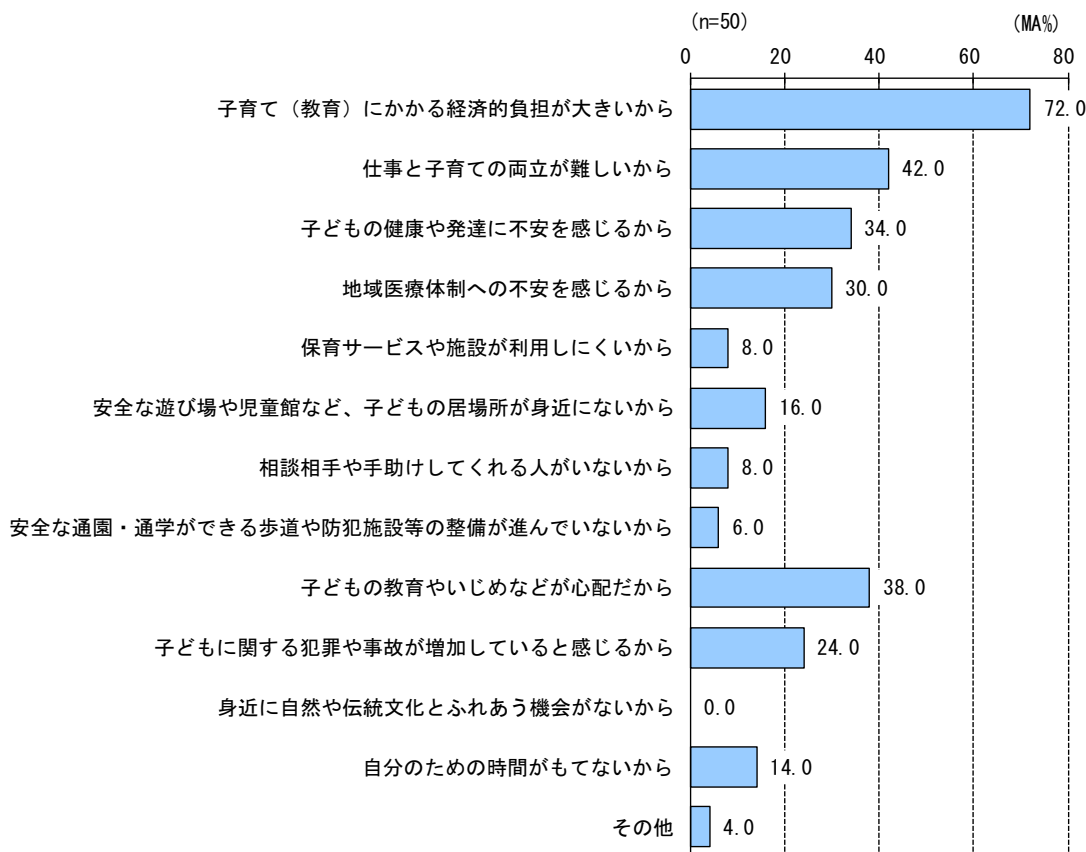
(2) 子育てについて不安や負担に感じること

問25で、「3. 不安や負担を感じる」に○をつけた方のみ

問25-1 どのような理由で不安や負担を感じますか。(あてはまる番号すべてに○)

子育てについて不安や負担に感じることにについて、「子育て（教育）にかかる経済的負担が大きいから」が 72.0%と最も多く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいから」が 42.0%、「子どもの教育やいじめなどが心配だから」が 38.0%となっている。

【図 不安や負担に感じること】



【その他】

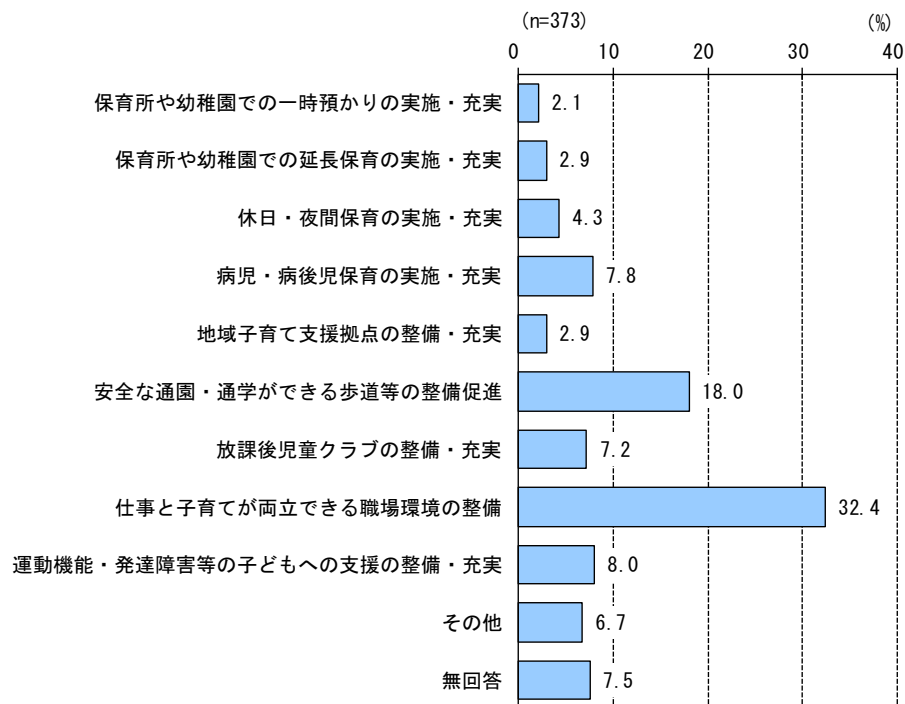
知らない土地での子育てだから／しつけについて／町がタブレットを与えたが、制限を掛けずタブレット漬けになっている

（３）子育て支援策について

問26 最も望んでいる子育て支援策はどれですか。（あてはまる番号１つに○）

最も望んでいる子育て支援策について、「仕事と子育てが両立できる職場環境の整備」が32.4%と最も多く、次いで「安全な通園・通学ができる歩道等の整備促進」が18.0%、「運動機能・発達障害等の子どもへの支援の整備・充実」が8.0%となっている。

【図 子育て支援策について】



【その他】

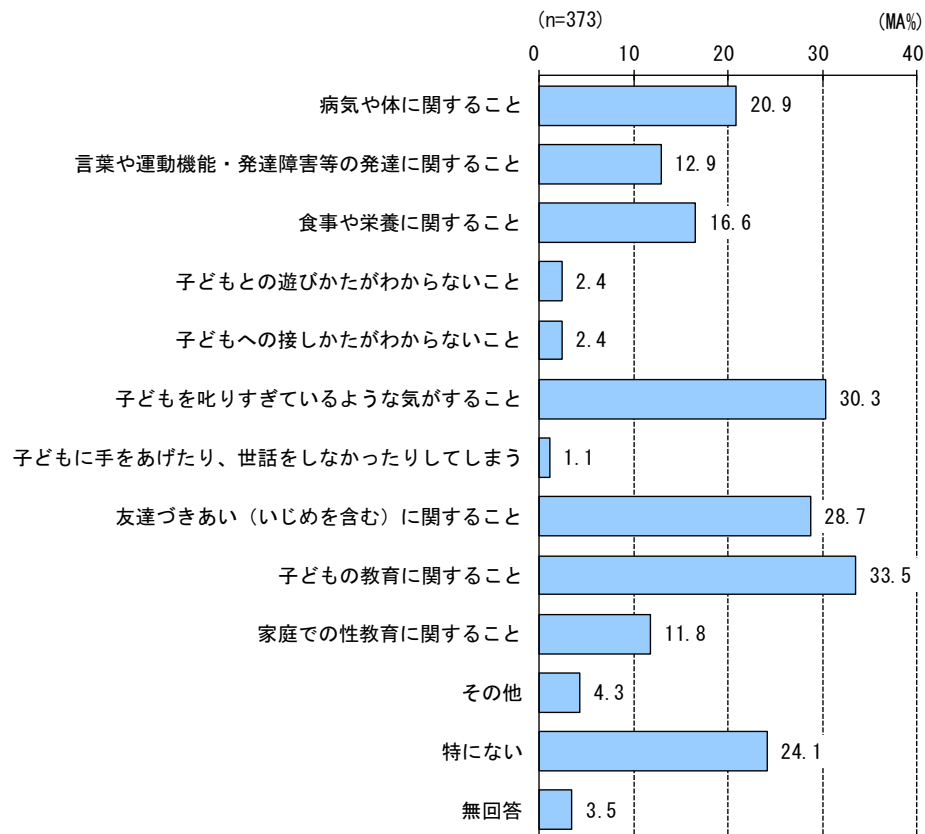
小児科がほしい／経済的支援／部活の充実／病休、看護休暇を有給にしてほしい／在宅介護の支援
／タブレットに制限をかけてほしい／スクールバスの運行 等

(4) 子育てに関して日頃悩んでいること

問27 お子さんに関して日常悩んでいることや気になることはどんなことですか。
(あてはまる番号すべてに○)

子育てに関して悩んでいることや気になることについて、「子どもの教育に関すること」が33.5%と最も多く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」が30.3%、「友達づきあい（いじめを含む）に関すること」が28.7%となっている。

【図 子どもに関して悩んでいること】



【その他】

子どもの性格に関すること／子どもと接する時間が少ない／タブレットやゲーム機器との付き合い方
／近所に子どもが少ない／子育て方針について 等

(5) 子育て支援事業の認知度

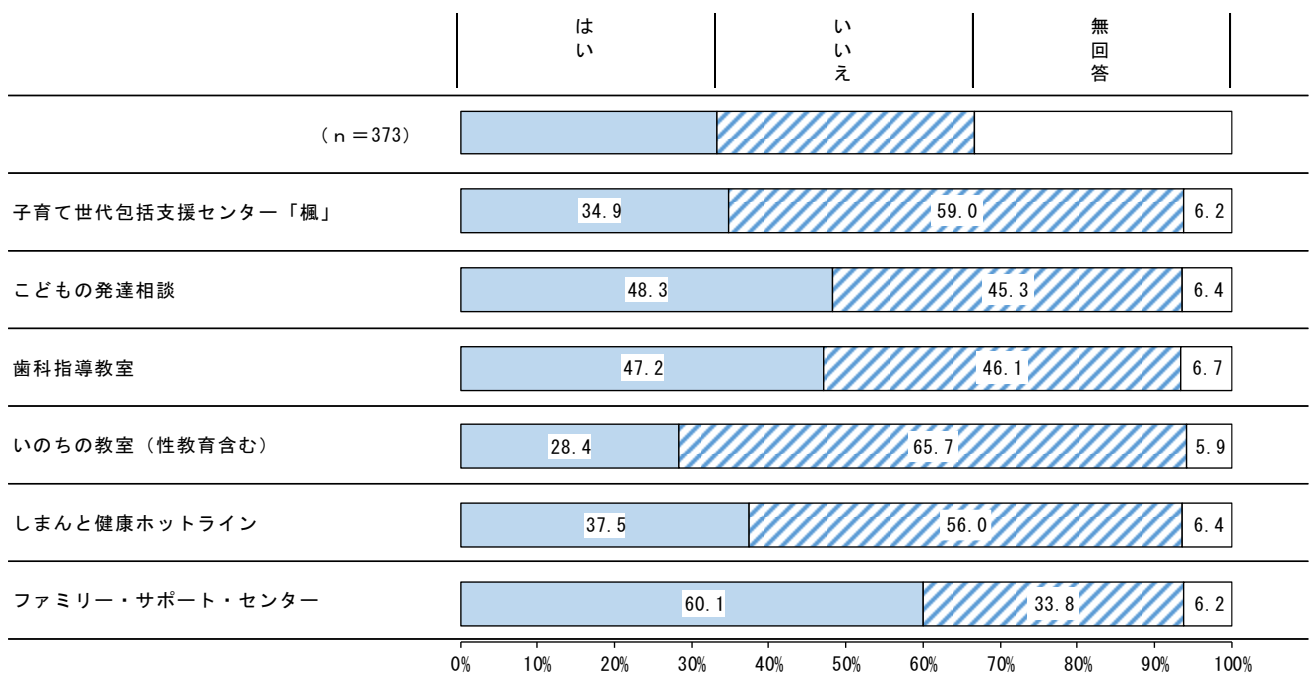
問28 以下の事業について、「A. 知っている」、「B. 利用したことがある」、「C. 今後、利用したい」ものをすべてご記入ください。（A～Cそれぞれ、あてはまるもの1つに○）

子育て支援事業の認知度について、「ファミリー・サポート・センター」が 60.1%と最も多く、次いで「こどもの発達相談」が 48.3%、「歯科指導教室」が 47.2%となっている。

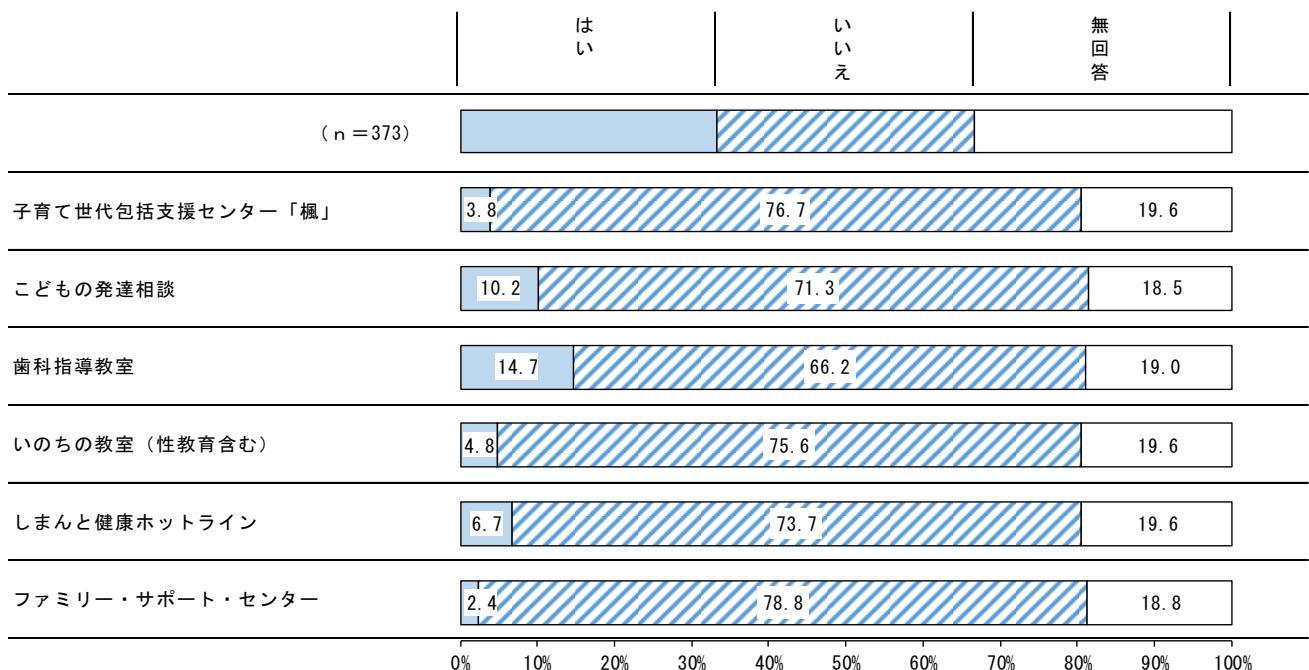
子育て支援事業の利用経験について、「歯科指導教室」が 14.7%と最も多く、次いで「こどもの発達相談」が 10.2%、「しまんと健康ホットライン」が 6.7%となっている。

子育て支援事業の今後の利用意向について、「歯科指導教室」が 35.4%と最も多く、次いで「いのちの教室（性教育含む）」が 33.5%、「しまんと健康ホットライン」が 26.0%となっている。

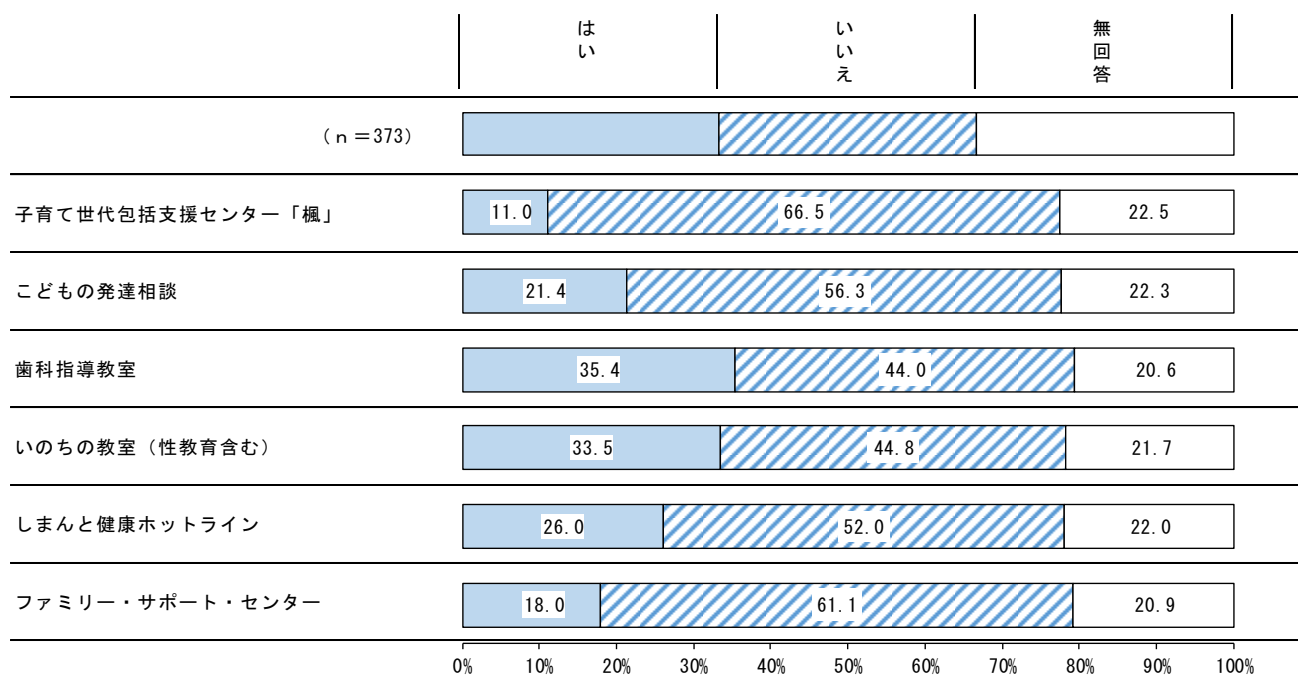
【図 子育て支援事業の認知度：知っている】



【図 子育て支援事業の利用経験：利用したことがある】



【図 今後の利用意向：利用したい】

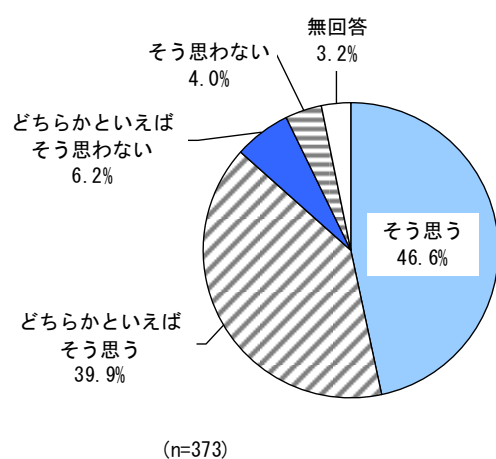


（６）お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度

問29 今後もお住いの地域で子育てをしていきたいですか。（あてはまる番号１つに○）

今後も四万十町で子育てをしていきたいかについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』が 86.5%と約８割を占めており、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『思わない』が 10.2%となっている。

【図 今後も四万十町で子育てをしていきたいか】



8. 自由意見

問30 最後に、子育て環境や子育て支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

●放課後児童クラブについて

内容	件数
応募しても入れない状況を改善してほしい	2 件
土日の開放や時間延長希望	2 件
学校の代休日や閉庁期間中に開いてほしい	1 件

●遊び環境・公共施設等について

内容	件数
文化的施設がほしい	2 件
子供向けの体験型イベントの開催	2 件
放課後の子どもの居場所を作してほしい	2 件
雨の日でも遊べる屋内施設が欲しい	1 件

●保健・医療について

内容	件数
小児科の充実	7 件
病児保育施設の充実	2 件
産婦人科・小児科オンラインを使えるようにしてほしい	1 件

●小学校について

内容	件数
教員の数を増やして質の向上をしてほしい	3 件
学校の統合に反対	2 件
参観日が多すぎる	2 件
タブレット教育の見直し（制限をかけてほしい）	2 件
その他	4 件

●子育て支援について ①子育て支援事業内容の改善

内容	件数
経済的支援の充実	3 件
住民票の有無にかかわらず支援センターを利用したい	1 件
妊娠期から支援センターを活用してほしい（母親学級など）	1 件
子どもに対する支援が少ない	1 件

●子育て支援について ②情報提供・相談支援

内容	件数
様々なサポートをもっと周知してほしい	1 件

●まちづくりについて

内容	件数
今の子供達を大切に育てていける町にしたい	1 件
Uターン、Iターンの人が増えるように頑張してほしい	1 件
歩道の整備	1 件
街灯を増やしてほしい	1 件

●中学校について

内容	件数
スクールバスの増便	1 件

●仕事との両立支援について

内容	件数
育児休業や子育てに対して理解や認知を促してほしい	3 件
子育ての心配（一番困ったのは病児保育）をどうにかできたら働きやすくなると思う	1 件

●その他

内容	件数
四万十町の支援は充実している	4 件
小規模校の親は特定されやすく、こういったアンケートに記入しづらい	1 件
その他	5 件